

一般社団法人
京都私立病院協会

50周年記念誌



一般社団法人
京都私立病院協会

50周年記念誌



会 員 憲 章

- われわれは患者さま中心の医療を行います
- われわれは社会の発展と健康増進に貢献します
- われわれは環境に配慮した医療活動を行います
- われわれは法律を順守し適正な経営を継続します
- われわれは医療人としてのモラルの向上に努めます

病 院 綱 領

- われわれ病院人は、人々の平等と権利を尊重し、個人のプライバシーを保護します
- われわれ病院人は、人々の生命にかかわる者として、医療の安全に最善の努力を払います
- われわれ病院人は、常に教養を高め、質の良い医療を提供するために研鑽に励みます
- われわれ病院人は、医療サービスの安定的提供のため、健全な病院経営に努めます
- われわれ病院人は、地域の医療連携システムの要となって、人々の健康増進を図ります
- われわれ病院人は、社会活動の実践者として、地域づくりに貢献します



一般社団法人 京都私立病院協会

| | |
|---|----|
| 病院綱領 | 2 |
| 創立50周年を迎えて(会長 清水 鴻一郎) | 5 |
| 祝辞(京都府知事 山田 啓二) | 6 |
| 祝辞(京都市長 門川 大作) | 7 |
| 祝辞(一般社団法人 京都府医師会 会長 森 洋一) | 8 |
| 50周年をお祝いして (一般社団法人 京都府病院協会 会長 依田 建吾) | 9 |
| 記念座談会「地域に根差した京都の医療と介護」 | 10 |

1. 協会組織の動き

| | |
|---------------|----|
| 京都私立病院協会 組織図 | 13 |
| 役員体制 | 14 |
| 総会 | 14 |
| 理事会 | 15 |
| 幹事会・政策委員会 | 15 |
| 会員のうごき | 15 |
| 京都私立病院協会事務所移転 | 16 |

2. 会員相互の連携と組織強化

| | |
|-------------|----|
| 表彰 | 18 |
| 事務長会 | 19 |
| 経営部会の主な活動 | 23 |
| 保険部会の主な活動 | 24 |
| 労務部会の主な活動 | 25 |
| 北部地区事務長会の活動 | 26 |
| 南部地区事務長会の活動 | 26 |
| 看護部長会 | 26 |
| 薬剤師部会 | 29 |
| 放射線技師部会 | 30 |
| 臨床検査部会 | 32 |
| 臨床工学技士部会 | 34 |
| 栄養士部会 | 35 |
| リハビリテーション部会 | 36 |
| 全体会議 | 37 |
| 創立記念式典 | 38 |
| 新春会員懇親会 | 39 |
| 創立50周年記念事業 | 39 |

3. 広報と情報提供

| | |
|-------------|----|
| 京都私立病院報 | 43 |
| 私病協ホームページ | 43 |
| ファックス・メール通信 | 44 |

4. 病院職員の確保対策

| | |
|--------------------|----|
| 医療従事者の養成 | 45 |
| 無料職業紹介ネットワークセンター事業 | 46 |
| 京都府医療勤務環境改善支援センター | 47 |
| 看護人材確保支援事業 | 48 |
| 京都市離職看護師能力再開発事業 | 52 |

5. 医療・介護関係団体との交流・連携

| | |
|-----------------|----|
| 近畿病院団体連合会 | 54 |
| 中央における病院団体 | 58 |
| 京都における医療・介護関係団体 | 58 |
| 京都私立病院協会関係団体 | 59 |

6. 行政・政党への対応

| | |
|--------|----|
| 行政への対応 | 60 |
| 政党への対応 | 61 |

7. 病院をめぐる医療制度の検討

| | |
|-------------|----|
| 病院医療制度検討委員会 | 62 |
|-------------|----|

8. 医療保険制度への対応

| | |
|---------------|----|
| 医療保険をとりまく情勢 | 63 |
| 医療保険をめぐる日常活動 | 64 |
| 診療報酬委員会 | 64 |
| 京都市傷病届等提出勧奨事業 | 65 |

9. 介護保険制度への対応

| | |
|---------------|----|
| 介護保険をとりまく情勢 | 66 |
| 介護保険をめぐる日常活動 | 67 |
| 介護保険委員会 | 68 |
| 介護サービス第三者評価事業 | 69 |
| 介護サービス情報の公表事業 | 70 |
| 京都市新規介護認定調査事業 | 71 |

10. 救急医療体制の確保と推進

| | |
|------------------|----|
| 京都府における二次病院群輪番体制 | 72 |
| 京都府小児救急医療電話相談事業 | 73 |
| 京都府内の救急医療システム | 74 |
| 救急医療をめぐる諸問題への対応 | 75 |
| 救急医療検討委員会 | 76 |
| 京都救急医療研究会 | 76 |

| | |
|-------------------------|-----|
| 11. 感染症対策への対応 | |
| 感染症対策委員会 | 78 |
| 院内感染対策推進事業 | 80 |
| 12. 医療安全対策への対応 | |
| 医療安全対策委員会 | 81 |
| 13. 京都式地域包括ケアシステムの推進 | |
| 在宅療養あんしん病院登録システム | 83 |
| 府民リハビリテーション啓発支援事業 | 84 |
| 病院医療従事者認知症対応力向上事業 | 87 |
| 14. 京都病院学会の開催 | |
| 京都病院学会 | 92 |
| 15. 教育・研修活動 | |
| 教育研修基礎コース | |
| (旧：教育訓練初級コース) | 94 |
| 中堅幹部職員研修 | 95 |
| 看護卒後教育 | 96 |
| 看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース） | 96 |
| 看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース） | 98 |
| 看護リーダーシップ研修 | 99 |
| 准看護師研修 | 99 |
| 看護補助者研修 | 100 |
| 看護新人研修（シミュレーション研修） | 100 |
| 看護過程研修 | 100 |
| 看護管理実践報告会（フォローアップ研修） | 100 |
| 保健医療管理者養成講座 | 101 |
| 医師臨床研修への取り組み | 102 |
| 16. 病院経営に関する取組み | |
| 民間病院に対する各種補助制度および | |
| 融資制度 | 105 |
| 未収金対策委員会 | 107 |
| 17. 病院管理に関する取組み | |
| 環境問題委員会 | 108 |
| 病院機能向上委員会 | 109 |
| 18. 税制問題への取組み | |
| 税制 | 110 |
| 19. 福利厚生活動 | |
| 京都府知事杯争奪病院対抗野球大会 | 111 |
| 京都府知事杯争奪 | |
| 病院対抗女子バレーボール大会 | 112 |
| 京都私立病院協会会長杯争奪 | |
| 病院対抗フットサル大会 | 112 |
| 京都私立病院協会会長杯争奪 | |
| 会員親睦ゴルフコンペ | 113 |
| 20. 事務局体制 | |
| 事務局体制 | 114 |
| 21. 東日本大震災及び大規模災害対策への対応 | |
| 東日本大震災への対応 | 116 |
| 大規模災害対策への対応 | 116 |
| 22. 公益法人制度改革への対応 | |
| 公益法人制度改革への対応 | 118 |
| 23. 会費検討委員会 | |
| 会費検討委員会 | 119 |
| ●関係団体の事業 | |
| 京都保健衛生専門学校 | 120 |
| (専)京都中央看護保健大学校 | 122 |
| 京都府病院協同組合 | 124 |
| 京都府病院厚生年金基金 | 126 |
| ●年表 | |
| (協会のあゆみ・医療界と社会の主なできごと) | 127 |
| ●京都私立病院協会 役員の変遷と業務分担 | 130 |
| ●関連諸機関・団体への推薦／派遣委員 | 132 |
| ●各委員会委員名簿 | 136 |
| ●協賛企業一覧 | 145 |

創立50周年を迎えて

会長 清水 鴻一郎

京都私立病院協会は平成26年10月16日に創立50周年を迎えました。京都の私立病院の向上発展と社会福祉の増進をめざして昭和39年10月に設立し、昭和49年4月には社団法人の法人格を取得、平成25年4月には一般社団法人への改組を経て今日に至っております。

44施設で発足しました当協会は、半世紀で153施設、2万5千人を超える構成員を擁する団体にまで成長しました。この間、社会情勢の急激な変革に伴い、医療を取り巻く環境も厳しい変革に晒されてきましたが、歴代の役員の方々の諸先輩方、会員の皆様が一致協力して幾多の難局を乗り越え、京都の医療を支えてこられました。

また、看護師・臨床検査技師・臨床工学技士を養成する京都保健衛生専門学校、保健師・看護師を養成する京都中央看護保健大学の2つの養成校と、医療機関に関わる購買事業や保険事業、福利厚生事業を行う京都府病院協同組合、老後の年金給付を豊かにするための京都府病院厚生年金基金も、協会活動の中から必然的に生まれた関係団体であり、各々も発展しながら今日に至っています。

これらの実績を受け継いで、京都を代表する病院団体としての使命と役割をしっかりと果たし、今後も京都の医療の充実と安心・安全に寄与する決意を新たにしております。

創立45周年記念誌発刊以降の5年間も様々な出来事がありました。中でも2011（平成23）年3月の「東日本大震災」では多くの尊い命が奪われ、地域医療にも大きな被害をもたらしたことは大きな傷跡として記憶から消えることはありません。当協会では、会員施設のご支援・ご協力により医療救護チームの派遣や患者の受入相談対応、民間病院の復興支援のための義援金の寄附などを行いました。フットワークが効く病院団体としての特徴を発揮し、有事への迅速な対応にも努めてまいりました。

また、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、社会保障制度改革に関連する多くの法整備が進められた5年間でもありました。これにより、病床の機能分化、医療・介護の連携強化、地域包括ケアシステムの構築、高齢者の費用負担の見直し等、我々医療を提供する側、医療・介護を受ける方々にとっても大変厳しい改革が実行されていくこととなります。

特に病院においては地域医療構想の策定により、病床の機能分化・病床転換が進められ、これを誘導するため医療費適正化という名の下でさらに厳しい社会保障費の締め付けが行われようとしています。私たちはかつて経験したことのない困難な情勢を迎えることは間違いありません。

我が国の社会保障制度を将来に亘って維持していくためには、現行の諸制度の見直しも必要ではありますが、超高齢社会に対応できる社会基盤が不十分なままでの行き過ぎた見直しは、我々の医療提供体制を崩壊させ、今までのようにいつでも、どこでも、誰もがが必要な医療を平等に受けることができなくなる可能性を含んでいることを忘れてはなりません。

当協会は、将来に亘って会員施設がそれぞれの地域で必要とされる機能を十分に果たし、人々のいのちと健康を守り続けることができるよう、会員施設の皆様方と一致団結し、激動の時代に適応できる力を蓄え、行政や医療・介護・福祉の関連団体とも連携し、力強く前進してまいります。

現に、こうした困難な時代だからこそ、医療・介護の専門職が集結する当協会への期待はますます大きくなっており、地域包括ケアシステムの構築や医療従事者の確保・定着に係る事業など、協会事業は増え続ける一方であります。その成果と実績を着実に積み重ね、会員施設の一層の機能向上と京都の人びとの健康増進に努めてまいります。

次の半世紀に向かって、今後も関係各位の変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



祝 辞

京都府知事 山田 啓二

一般社団法人京都私立病院協会が、創立50周年という記念すべき節目の年を迎えられ、この度「創立50周年記念誌」を発刊されるに当たりまして、心からお祝い申し上げます。

京都私立病院協会の皆様におかれましては、昭和39年の創立以来、高度経済成長期における人口の増加や、近年の高齢化の進展など、時代の変化とともに変わりゆく医療需要に対し、看護師等医療従事者の養成所の開設・運営等を通じ、常に時代が求める医療人材の育成を適格に行われ、また、院内感染対策や医療安全対策等の医療環境の改善にも御尽力いただくなど、半世紀もの永きにわたり、府民の皆様のご健康保持・増進に御貢献をいただいておりますことに厚く御礼申し上げますとともに、清水鴻一郎会長をはじめ歴代会長、関係者の皆様方の御尽力に対し、深く敬意を表する次第であります。



さて、皆様御承知のとおり、我が国は世界に類を見ない速度で高齢化が進展し、2025年には4人に1人が75歳以上となる、超高齢社会が到来するといわれております。このような時代の中、昨年6月には、いわゆる「医療介護総合確保推進法」が成立したところであり、国民の皆様が健やかに生活を送るため、各地域において医療・介護を総合的に確保することが全国的な課題となっております。

こうしたなか、貴協会の皆様におかれましては、「在宅療養あんしん病院」の登録事業や、通院困難地域における「府民リハビリテーション啓発支援事業」の取り組み、さらには「京都市オレンジプラン（京都認知症総合対策推進計画）」における医療従事者を対象とした研修の実施など、府民の皆様が住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられる体制構築に向けて、大変御尽力いただいているところであります。

また、退職後や未就業の看護職の方のサポートを行うウェブサイト「つながりネット」に加えて、本年1月から医療機関における医療従事者の離職防止や従事者確保のための「京都府医療勤務環境改善支援センター」を運営していただいているところであります。医療人材確保など様々な分野での今後の御活躍に大きな期待を寄せているところであります。

京都府といたしましても、超高齢社会の到来を見据え、平成23年6月に全国に先駆け、オール京都体制で「京都地域包括ケア推進機構」を設立し、府民の皆様一人ひとりが、夢と希望を抱き、生きがいを持って住み慣れた地域で安心して暮らせるような京都を実現するため、医療・介護・福祉が連携し一体的なサービスを提供できる体制の構築を目指しているところであります。引き続き尽力する所存でございますので、皆様方の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに当たりまして、創立50周年を迎えられ、次なる50年に向けて着実に歩みを進めておられます一般社団法人京都私立病院協会の今後ますますの御発展を心からお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

京都市長 門川 大作

京都私立病院協会御創立の年である昭和39年は、東京でオリンピック・パラリンピックが開催された年。高度経済成長によって人々の生活水準が向上する一方で、成人病や公害、交通事故などが大きな課題になった頃でした。

そうした時代から、一貫して医療の向上発展と市民の皆様の健やかな暮らしを力強く支えてこられた貴会の歩みが、50周年という大きな節目を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

国の医療制度の改善、病院職員の教育、看護師・ヘルパー等の養成事業、医療従事者無料職業紹介事業など、多岐にわたる御活動は本当にありがたく、心強い限りです。とりわけ病院群輪番制病院運営事業では、貴会に御加盟の病院を中心に、昼夜・休日を問わず救急患者さんを受け入れていただいています。おかげさまで、重症患者のたらい回し防止に大きな成果が挙げられ、救急車の現場到着時間と病院までの搬送時間も全国トップクラスの救急医療体制を敷くことができいております。

さらに本年2月の「京都マラソン2015」では、運営協力団体として救護所等へのスタッフ派遣など様々なお力添えをいただきました。過去最高となる6万人以上の方から参加申し込みをいただくなど、着実に人気が高まっているマラソン大会を大きな問題なく成功させることができましたのも、貴会の皆様の御支援があったからこそと存じております。

清水鴻一郎会長をはじめ歴代役員並びに会員の皆様の御尽力に、改めて深く敬意と感謝の意を表します。

147万人もの市民の皆様が暮らし、年間5,000万人を超えるお客様が国内外から訪れる、そんなたくさんの方々が集う京都のまちでは、かけがえのないのちと健康を守る医療をしっかりと確保することが極めて重要です。そうした安心安全なまちを目指す取組は、京都の暮らしやすさを更に増すと同時に、お客様に対して最高のおもてなしを提供することにもつながります。また、我が国が5年後に2度目のオリンピック・パラリンピック開催を控える中、一層多くのお客様が京都へお越しになるものと見込まれます。

このような中、高い倫理観と使命感を持って日々医療の現場で奮闘しておられます貴会の皆様果たされる役割は、ますます大きくなるものと存じます。私も引き続き皆様のお取組にお力をいただきながら、誰もが生き生きと健やかに過ごすことのできる「笑顔・健康都市」の実現に全力を尽くしてまいります。今後とも御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人京都私立病院協会が60周年、70周年、更にその先の未来へとますますの御発展を遂げられますこと、並びに会員の皆様の御健勝と御多幸を心から祈念いたします。



祝 辞

一般社団法人 京都府医師会 会長 森 洋 一

一般社団法人京都私立病院協会が、平成26年10月16日に創立50周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。

貴会は、昭和39年の創立以来、京都府内の地域医療の発展、協会所属の病院の発展のみならず、病院職員の資質向上、従業員の福利厚生、学術活動に力を注いでこられました。発足当時は44医療機関で構成されていた病院協会も、現在は151施設を擁する名実共に京都の病院団体をリードする組織に発展してこられましたのは、協会のリーダーとして会務に携わってこられました歴代の会長様を始めとする役員の皆様、諸先生方、関係各位の献身的なご尽力、ご労苦の賜であり、多大なるご尽力に深甚なる敬意を表する次第であります。



さて、安倍政権は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を根幹とするアベノミクスと称される経済対策を昨年末の総選挙の圧倒的な勝利により盤石の体制とし、より強力に推し進めようとしております。我が国の将来の課題として、確かに外交や防衛、経済は大きな問題であります。全国的には、また、京都ではまだまだ長引く不況から抜け出しているようには思われません。厳しい経済状況下、医療費削減を目指した施策が一方的に推し進められようとしておりますが、我々が取り組むべきは、国民の健康と福祉向上の見地から、次世代のための医療提供体制の構築でございます。これまで以上に質の高い医療サービスの提供が求められる中で、我々の医療連携が必ずや国民の健康増進・健康保持に大きな役割を果たすものと考えております。

また、病床機能報告制度や地域医療構想は、病院経営に直結するものであり、貴団体をはじめとする病院団体との協議を踏まえ、地域に必要な病床機能を確保できるようなシステムにしていかなければなりません。さらには、従来の病診連携をさらに発展させ、医療・介護・福祉そして保健との多職種協働による地域包括ケアシステムの構築が求められる中、病院に求められる役割はますます大きくなり、大きな期待が寄せられているところでもございます。

京都私立病院協会の会員の皆様方におかれましては、平素より、地域医療にご理解をいただき、勤務医の支援や府民の健康を支える様々な面において、多大なるご尽力をいただいているところですが、今後も一層、日本の医療・介護・福祉の未来の為に、京都私立病院協会と京都府医師会が、しっかりと力を合わせていく必要があると考えております。

結びにあたりまして、貴会の今後のますますのご発展と一層のご活躍をご期待申し上げご挨拶とさせていただきます。

50周年をお祝いして

一般社団法人 京都府病院協会 会長 依田 建吾

このたび、一般社団法人京都私立病院協会が創立50周年を迎えられ、これを記念して「創立50周年記念誌」を発刊されます事は誠に意義深いものがあり、衷心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

当協会は昭和39年、京都府病院協会から独立して、昭和39年に44病院で創設したと聞いております、爾来50年、今や会員数137施設の大きな組織に成長しております。記念すべき創設の年は、東京オリンピックの年、新幹線が開通した年です、私事で恐縮ですが、小生は翌年京都に参りましたので、その歴史の重みを肌で感じる次第です。

会員数のみならず事業の展開も常に時代を先取りし、医療界全体の事を考え、全てのメディカルスタッフの教育・育成等にも力を入れております。メディワークセンターに代表されるように、非営利組織として人材確保に取り組んでいる事は、京都府はじめ行政機関からの厚い信頼を得ております、これもひとえに歴代会長はじめ関係の皆様のご多大なご尽力の賜物だと深く敬意を表する次第であります。

特に看護師養成には京都保健衛生専門学校に加え、近年、雨後の筈状態で看護学部を設置する大学が増えていますが、学生確保の厳しい状況に対応すべく、平成25年から、京都中央看護保健大学校を全国でも数少ない4年生の専門学校として改組し、実践力のある人材の育成に努めている事は注目に値します。また看護師のみならず、京都保健衛生専門学校における臨床検査技師の養成、それに続きます、臨床工学技士専攻科における教育は、医用電気・電子機器が激増している今日、先見の明そのものだと思います。これらの集大成が本年50回目を迎えた京都病院学会であります、本学会は京都府病院協会と隔年の主催であります、実態は府病協開催の年も、場所もヒトも私病協のスタッフに全面的に協力して頂いて開催出来ておりますので、毎回とも私立病院協会開催と言っても過言ではありません、京都府病院協会の新米会長として厚く御礼申し上げます。

私共、京都府病院協会との連携は年を追うごとに緊密になり、初期は年2回近畿病院連合会の議題の調整が主で、どちらかというと懇親会の趣でしたが、近年は山積する重要案件に対応するため、懇親抜きの実務的討議が主となっています。平成26年度は医療法を含めた「医療介護総合確保推進法」が成立した年であり、ことにその中の地域医療構想に対し迅速かつ協調して対応すべく、4回の合同会議を持たせて頂きました、殊に両会員病院が国に提出した、病院機能報告の情報提供により、集計・分析した結果は大変貴重な資料となっています。これはほんの一例ですが公立・公的病院が多く、どちらかというと動きが遅い府病協は、皆様方、京都私立病院協会の見極めの確かさとスピード感を学ばなければならないと常々感じていました。

現在の医療界は来るべき2025年を控え混沌としています、少子高齢化は、今の状況から抜け出す事は、不可能な状態まで悪化して来ております、50周年記念誌の結びが暗い話題になってしまいましたが、こんな時こそ両協会が近年培って来た協調と、お互いを信頼する事により、困難を乗り越えていかねばならないと確信しています。

結びにあたり、京都私立病院協会の益々のご発展と会員各位のご健勝を祈念申し上げ、京都府病院協会としてのお祝いの言葉といたします。





地域に根差した京都の医療と

出席者 山田啓二氏（京都府知事）・門川大作氏（京都市長）・清水鴻一郎氏（京都私立病院協会会長／京都伏見しみず病院理事長）

司会 久野成人氏（京都私立病院協会副会長／久野病院理事長）

京都府内の155施設が加盟する一般社団法人京都私立病院協会は、ことし創立50周年を迎えます。協会が取り組む活動について広く府民の皆さまに知っていただくため、山田京都府知事と門川京都市長を迎えて座談会が行われました。

久野：本年創立50周年を迎える京都私立病院協会（以下、私病協と表記）は、京都府の民間病院による団体です。

清水：私病協は1964年に病院医療の向上と地域住民の方々の健康増進に寄与することを目的として創立されました。現在は154施設、京都府内のほぼ全ての民間病院が加盟し、急性期医療から高齢者の慢性期医療まで幅広い医療で京都の医療を支えています。

創立50周年を迎える本年は、京都府民の方々とのつながりをつくり、当協会をより身近なものと感じていただけるよう「つながろう！京都私立病院協会」をテーマとして、KBS京都ラジオで第1・第3日曜

日の午前10時45分から私病協や会員施設の役割、取り組みを発信しています。

久野：地域医療・地域包括ケアのために私病協と京都府・京都市が協調して取り組んでいる事業をご紹介します。



安心して暮らし続けられる仕組みをつくる

山田：京都府では京都市をはじめ府内の市町村と連携し、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりを進めています。「在宅療養あんしん病院登録システム」は、入院を希望する病院、かかりつけ医、かかりつけ薬局など必要な情報をあらかじめ登録することで、在宅療養中の高齢者が体調を崩され、在宅での対応が困難になったときでもスムーズに病院で受診したり必要に応じ



介護

て入院したりできるシステムです。在宅療養あんしん病院の8割以上は私病協の会員ですね。府では病院、かかりつけ医、ケアマネジャーなどの在宅チームが一体となって高齢者の皆さんの在宅療養生活をサポートできるよう取り組んでいます。

また、「京都式オレンジプラン（京都認知症総合対策推進計画）」では、一般病院などの認知症対応力の向上を目標に掲げています。医療従事者を対象とした集合研修や訪問研修を私病協に委託して実施



山田啓二 知事

し、一般病院でも認知症の方を受け入れられる体制づくりを図っています。

清水：通院してリハビリを行いたくても近くに病院がない場合もあります。府の京都地域包括ケア推進団体等交付金を活用した「府民リハビ

リテーション啓発支援事業」では、医療機関の少ない府北部・南部地域にリハビリ専門職のチームを派遣し、地域の方々に介護予防も兼ねた運動、認知症予防のために脳トレーニング、個別相談などを実施しています。



離職看護師の復帰支援対策事業を策定

門川：京都市では長岡京市、向日市、大山崎町も含めて、夜間・休日にも民間病院を中心とした協力病院が輪番制でベッドを確保し急患を受け入れてくださっています。宇治市、城陽市などでも日曜・祝日の輪番制がありますね。京都府では重症患者のたらい回しがほとんどなくなり、救急車の現場到着時間は平均7.1分（全国平均では8分以上）で、病院までの搬送時間も全国で上位です。



門川大作 市長

救急医療体制の充実は、府民・市民にとっての安心・安全の確保になるのはもちろん、京都を訪れる多くの観光客にとっても、いざという時の最高のおもてなしです。京都市は西日本でいち早く119番通報に5カ国語で24時間対応しましたが、旅先で急病に倒れて不安になるのは外国人も日本人も同じですからね。

久野：病院における医療従事者の確保が全国的に差し迫った課題になっています。

山田：団塊の世代が75歳以上になる2025年には、全国で今よりもさらに約100万人の介護職が必要になる見込みです。医師や看護師の確保も一層大切になります。京都府では、退職予定・未就業の看護職の方のための登録サイト「つながりネット」を開設し、現場の魅力の発信や施設見学の参加を募るとともに、私病協をはじめ関係団体とともに設立した「きょうと介護・福祉ジョブネット」の看護職確保プロジェクトチームが、復帰を決意した方が円滑に就職できるようサポートを行っています。

門川：看護師の資格を持ちながら就業されていない潜在看護師は全国で55万人から65万人です。復職できない理由の一つ、ブランクがあることによる不安を取り除いていただくにも、離職看護師への研修体制は施設間での格差が大きく、特に小規模施設では実施が困難であり、京都市では研修を実施した病院に対して経費の一部を補助する「離職看護師復帰支援対策事業」を設け、その事業を私病協にお願いしています。

清水：医療は日進月歩であることから、いったん現場を離れると復職するにも勇気が必要だという声は、女性医師からも聞きます。医師国家試験の合格者に占める女性の割合は約3分の1になりましたが、出産・育児を機に離職する人は少なくありません。いくら手術支援ロボットなどの医療機器が開発されても、それを扱うのは人間です。医療の高度化・専門化を支えているのは人間だということを、私たちは忘れてはいけないと思います。

久野：京都府は全国に先駆けて介護サービスの第三者評価事業に取り込んでこられました。

山田：2000年に介護保険制度が始まり、利用者がサービスや事業者を選べるようになりました。同時に、適切な選択をできるように、中立・公正な第三者が各事業者を調査し、その結果を公表してほしいという要望も寄せられました。サービスの内容や水準を客観的に明らかにすることは、事業者にとってもサービスの問題点を把握し改善するのに役立ちます。医療団体である私病協が調査機関に加わることで実態を反映した評価になり、京都全体のサービスの質の向上につながると考えています。

久野：介護保険における市町村の役割が拡大しています。

門川：地方分権を進め、国から府、府から市町村に権限を移すことで、住民に身近な自治体が地域の状況に合った行政をしていくという動きです。京都市内にある介護保険サービス事業者についても、指導監督権限が京都府から京都市へ移譲されました。医療、介護予防、



清水鴻一郎 会長

生活支援など地域に根差した取り組みの充実に現在全力を尽くしています。



京都府の地域医療の中心を担う

久野：私病協に今後どのような役割や取り組みを期待されますか。

山田：少子高齢化や医療の高度化により医療を取り巻く環境が激変した現在、病院も役割分担や協働が不可欠です。公立病院にはサービスの公平



久野成人 副会長

性が求められる上、高度先進医療、へき地医療、災害時医療など民間医療機関が採算面で提供しにくい医療を実施する使命もあります。地域にあって住民の暮らしに密着した切れ目のない医療・介護を提供できる私立病院には、柔軟性・機動性を生かして公立病院にはできない医療を担っていただけるものと信じています。今申し上げたように、すでに多くの分野で私病協と連携していますが、さらに連携を深めることで京都の医療が一層充実することを心から期待しています。

門川：私病協は創立45周年のとき環境キャンペーンとして温室効果ガスの削減・省エネを推進されました。印象的だったのは、病院内だけでなく住民として私生活の中でも職員一人一人が取り組むよう呼び掛けられていたことです。環境問題に限らず、人々の健康を守る立場にある医療従事者が自ら率先して地域で行動する意義は大きいですね。地域とつながり、優しさあふれるまちづくりを進める上でもリーダー的役割を果たしていただくことは心強いです。

清水：高齢化の進展に伴い、医療も従来のように病気の治療だけでなく、予防やリハビリテーションに重点が置かれるようになりました。超高齢化社会を「70歳現役社会」にできるかどうかは、健康管理にかかっています。私病協は京都府の地域医療の中心を担う民間病院の代表として、京都府、京都市をはじめ各関係団体、府民の皆さまとつながりながら、京都の医療をしっかり守っていきたいと考えております。

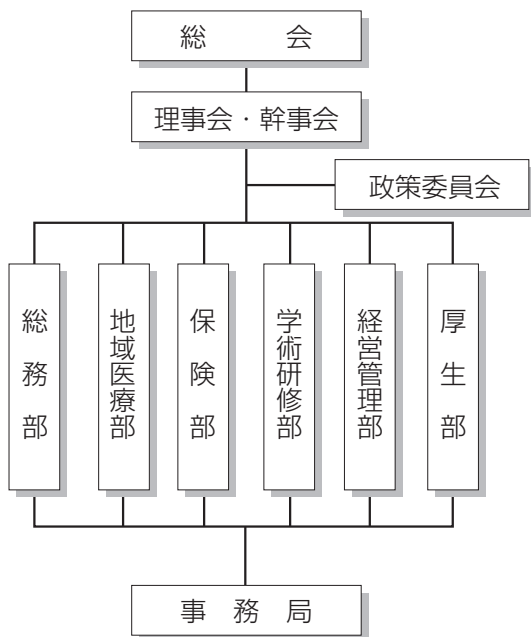
1 協会組織の動き

京都私立病院協会は、2014（平成26）年に創立50周年を迎えた。正会員数は137施設であり大きな変化はないが、特別会員が22から17施設に減少している。病床数は2015年3月末時点で、一般病床が13,459床、療養病床5,990床、精神科病床5,484床、結核病棟60床、老健200床となっている。

2010（平成22）年8月に現在の四条烏丸「COCON烏丸」に事務局が移設した。2013（平成25）年度は、「社団法人」から「一般社団法人」へ移行した。役員構成は理事・幹事・監事で構成され、25名体制となった。一般社団法人移行後の2013（平成25）年4月から幹事会は理事・幹事・監事で構成され毎月第1、第3水曜日に定例開催している。理事会は理事会の承認事項である法人の業務執行、事業報告および決算、事業計画・予算、その他協会の重要案件を審議する際に開催している。また、民間病院が局面している医療・介護制度の問題やその他の事案に対し、京都府・京都市、厚生労働省等に対し積極的に要望・意見・提言を行った。

（副会長 久野成人）

京都私立病院協会 組織図



総会・理事会・幹事会のもとにある6つの部会に所属する組織として、以下の委員会・事業を有している。（2015（平成27）年3月31日現在）

この他、公益法人制度改革への対応、創立50周年記念事業の実施等のための委員会も時限的に設置した。

〈総務部〉

理事長・院長会、事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、臨床工学技士部会、栄養士部会、リハビリテーション部会、全体会議、メデイワークセンター事業運営委員会、病院医療制度検討委員会、協会ホームページ、近畿病院団体連合会委員会、近畿病院団体連合会事務長会、四病院団体協議会

〈地域医療部〉

救急医療検討委員会、感染症対策委員会、医療安全対策委員会、在宅療養あんしん病院登録システム、府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会、看護人材確保支援事業検討委員会、きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム、病院認知症対応力向上事業検討委員会、京都府医療勤務環境改善支援センター、在宅医療・介護連携体制支援事業検討委員会

〈保険部〉

診療報酬委員会、京都市第三者行為傷病届等提出勧奨事業、介護保険委員会、介護サービス第三者評価審査委員会、京都市新規要介護認定調査事業

〈学術研修部〉

京都病院学会理事会、京都病院学会実行委員会、看護卒後教育、幹部教育（中堅幹部職員研修）、初級教育（教育研修基礎コース）、保健医療管理者養成講座運営委員会、医師臨床研修

〈経営管理部〉

環境問題委員会、病院機能向上委員会、税制・補助金

〈厚生部〉

私病報酬集委員会、野球大会実行委員会、バレーボール大会実行委員会、フットサル大会実行委員会、会員親睦ゴルフコンペ

〈創立50周年記念事業の実施〉

創立50周年記念事業検討委員会、ボウリング大会実行委員会

〈公益法人制度改革への対応〉

公益法人制度改革検討委員会（2009（平成21）年4月～2013（平成25）年3月）

〈会費検討〉

会費検討委員会（2009（平成21）年4月～2011（平成23）年3月）



総会

役員体制

2010（平成22）年度は、真鍋克次郎（八幡中央病院）会長体制の2年目に入り、理事は谷直介（北山病院）が退任し、新たに有馬成紀（醍醐病院）、岡田純（脳神経リハビリ北大路病院）が就任、監事のうち高松恵美（京都成蹊法律事務所）から高松晃司（同）に交代し、理事・監事合せて25名で協会の運営にあたった。

2011（平成23）年度、2012（平成24）年度は、真鍋会長体制の2期目であり、2011（平成23）年度は役員改選で理事のうち秋山仁（学研都市病院）から中井洋一（京都桂病院）に交代し、監事の大槻稔司（亀岡病院）が退任した。また、2012（平成24）年1月に副会長の出射靖生（京都回生病院）が退任した。2012（平成24）年度は前年度に改選された役員の残り1年の期間として、真鍋会長のもと役員23名が運営にあたった。2013（平成25）年3月には、副会長の吉川順介（吉川病院）、理事の相馬靖（相馬病院）が退任した。

2013（平成25）年度は、社団法人から「一般社団法人」へ移行し、定款変更を行い、理事・幹事・監事で構成する役員体制となり、役員改選で清水鴻一郎（京都伏見しみず病院）が会長に就任した。副会長は久野成人（久野病院）、富士原正人（京都ルネス病院）、武田隆久（医仁会武田総合病院）に加え、新たに岡本豊洋（第二岡本総合病院）、富田哲也（富田病院）、岡田純（脳神経リハビリ北大路病院）が就任した。幹事に石丸庸介（田辺中央病院）、菅知行（愛生会山科病院）、清水聰（京都南西病院）、藤澤明生（賀茂病院）、監事に大槻稔司（亀岡病院）、真鍋克次郎（八幡中央病院）が新しく就任した。副

会長の中野種樹（長岡病院）と幹事の滋岡嘉弘（宇治おうぼく病院）が退任し、25名の役員体制となった。

2014（平成26）年度は、前年度に改選された役員の残り1年の期間として、清水会長のもと役員25名が運営にあたった。

総会

総会は会員の総意に基づき、事業計画の決定、事業報告の承認、その他の運営に関する重要事項を議決する最高議決機関である。

2010（平成22）年度以降2014（平成26）年度まで計5回の通常総会を開催した。

2011（平成23）年度の第37回通常総会において、公益法人制度改革に伴う新法人（一般社団法人）への移行に関する件が可決され、2013（平成25）年度に一般社団法人京都私立病院協会として第1回通常総会を開催した。一般社団法人移行後、事業報告、事業計画・予算は報告事項となった。

〈社団法人京都私立病院協会〉

◆第36回通常総会 2010（平成22）年5月26日

京都全日空ホテル

事業報告・決算、事業計画・予算、役員の選出に関する件を審議し、可決した。

◆第37回通常総会 2011（平成23）年5月25日

京都ブライトンホテル

事業報告・決算、事業計画・予算、役員の選出、選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出、顧問の委嘱、会費改定、公益法人制度改革に伴う新法人への移行に関する件を審議、可決した。



理事会・幹事会

- ◆第38回通常総会 2012(平成24)年5月23日
京都全日空ホテル
事業報告・決算、事業計画・予算に関する件を
審議し、可決した。

〈一般社団法人京都私立病院協会〉

- ◆第1回通常総会 2013(平成25)年5月22日
ホテルグランヴィア京都
事業報告・決算、役員を選出、会長及び副会長
候補者の選出に関する件を審議し、可決した。事
業計画・予算について報告した。
- ◆第2回通常総会 2014(平成26)年5月23日
リーガロイヤルホテル京都
決算に関する件を審議し、可決した。
事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報
告、事業計画・予算の報告を行った。

理事会

理事会は、理事、監事で構成し、社団法人の2013(平成25)年3月までは毎月第1、第3水曜日に定例開催し、協会の執行機関として、定款及び理事会規程に則り、各種事業の実施状況の報告や、協会活動に関して審議を行った。一般社団法人移行後の2013(平成25)年4月からは、協会の定款に基づき、理事会の承認事項である法人の業務執行、事業報告及び決算、事業計画・予算、その他協会の重要案件を審議する際に開催した。

〈社団法人京都私立病院協会〉

- ◆第18期 第18回理事会(2010(平成22)年4月7日)
～第38回理事会(2011(平成23)年5月11日)

- ◆第19期 第1回理事会(2011(平成23)年6月1日)
～第37回理事会(2013(平成25)年3月27日)

〈一般社団法人京都私立病院協会〉

- ◆第1期 第1回理事会(2013(平成25)年4月3日)
～第11回理事会(2015(平成26)年3月18日)

幹事会・政策委員会

幹事会は理事、幹事、監事で構成し、一般社団法人移行後の2014(平成26)年4月から毎月第1、第3水曜日に定例開催している。協会の定款に基づき、協会の各委員会等が提案する意見・報告、日常会務に関する事項を審議した。また、民間病院が局面している医療・介護制度の問題や医療・介護制度に関わる京都府・京都市予算、その他関係する事案について要望書等についても幹事会で協議し、厚生労働省、京都府・京都市等に対して積極的に意見・提言を行った。

- ◆第1期 第1回幹事会(2013(平成25)年4月3日)
～第38回幹事会(2015(平成27)年3月18日)

政策委員会は、社団法人時は理事会終了後、一般社団法人移行後は幹事会終了後を基本に開催し、幹事会で一任された案件の審議や協会運営の重要案件について基本方針の検討などを行った。

会員のうごき

2010(平成22)年度末(2011(平成23)年3月31日)より2014(平成26)年度末(2015(平成27)年

3月31日)までの会員数および病床数の動きは以下の通りである。

| | | 2010(平成22)年度末 | 2011(平成23)年度末 | 2012(平成24)年度末 | 2013(平成25)年度末 | 2014(平成26)年度末 |
|-----|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 会員数 | 会 員 | 139 | 138 | 139 | 139 | 137 |
| | 特別会員 | 22 | 20 | 19 | 18 | 17 |
| | 計 | 161 | 158 | 158 | 158 | 154 |
| 病床数 | 会 員 | 25,478 | 25,465 | 25,626 | 25,512 | 25,193 |
| | 特別会員 | 84 | 84 | 65 | 37 | 37 |
| | 計 | 25,562 | 25,549 | 25,691 | 25,549 | 25,230 |

2010(平成22)年度末(2011(平成23)年3月31日)より2014(平成26)年度末(2015(平成27)年3月31日)までの種別病床数の動きは以下の通りである。

| | | 2010(平成22)年度末 | 2011(平成23)年度末 | 2012(平成24)年度末 | 2013(平成25)年度末 | 2014(平成26)年度末 |
|------|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 会 員 | 一 般 | 13,341 | 13,436 | 13,451 | 13,458 | 13,459 |
| | 療 養 | 6,032 | 5,933 | 5,994 | 6,006 | 5,990 |
| | 精 神 | 5,845 | 5,836 | 5,831 | 5,788 | 5,484 |
| | 結 核 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | 老 健 | 200 | 200 | 290 | 200 | 200 |
| 特別会員 | 一 般 | 59 | 59 | 40 | 12 | 12 |
| | 療 養 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 |
| 計 | | 25,562 | 25,549 | 25,691 | 25,549 | 25,230 |

京都私立病院協会事務所移転披露祝会

京都府医師会館内に置いていた当協会事務所は会館移転に伴い、2010(平成22)年8月に四条烏丸のCOCON烏丸の8階に移転した。

新事務所には各種会議・研修会、会員のコミュニティスペースの場として使用できるスペースも有しており、交通の利便性も良くなった。

同年9月1日、新事務所において京都私立病院協会事務所移転披露祝会を開催した。

真鍋克次郎会長の挨拶で開会し、続いて真鍋会長・出射靖生副会長・吉川順介副会長・久野成人副会長・富士原正人副会長・松井道宣副会長・武田隆久副会長・武田隆男顧問が代表し、テープカットが行われた。

武田顧問による乾杯発声により、ささやかな宴が開かれ、各役員が新事務所内を見学した後、移転先での第1回目となる理事会が開かれ、活発な議論が行われた。



新事務所開所式



事務局移転後初めての理事会



新事務所



会議・研修会・会員の
コミュニティスペースの場



お客様用、少人数でのミーティングの場

2 会員相互の連携と組織強化

京都私立病院協会は理事会・幹事会を中心に、事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、リハビリテーション部会、栄養士部会が活発に活動している。また、病院における臨床工学技士の役割も大きくなったことより、平成2014（平成26）年10月に臨床工学技士部会が発足された。

病院におけるより安全・安心な医療の提供が求められ、病院職員の質の向上を図るべく研修や情報交換が重要となる。私立病院協会としては情報提供や有用な研修や情報交換の場を提供すべく努めることで会員相互の連携と組織の強化を図ってきた。

（副会長 久野成人）

表彰

国や地方自治体では、医療の分野で顕著な功績のあった者に対し表彰の場を設けているが、その表彰事業の被表彰者の選出にあたり当協会から推薦を行っている。この間、会員関係では以下の方々が表彰された。（所属・職名は表彰日現在、当協会からの推薦者のみ掲載）

〈叙勲・瑞宝双光章〉

2013(平成25)年 清水 紘（一般財団法人仁風会
嵯峨野病院理事長）

〈救急医療功労者・厚生労働大臣表彰〉

※京都府医師会、京都府病院協会との合同推薦
2010(平成22)年 明石 朗（明石病院名誉院長）
2012(平成24)年 吉川順介（医療法人貴順会吉川
病院）

〈公衆衛生事業功労者・厚生労働大臣表彰〉

2010(平成22)年 近藤泰正（社会医療法人堀川健
康会理事長）
2011(平成23)年 岡本豊洋（社会医療法人岡本病
院(財団)理事長）
2012(平成24)年 久野成人（医療法人社団育生会
理事長）
2013(平成25)年 富士原正人（医療法人福富士会
理事長）
2014(平成26)年 藤澤明生（医療法人明生会賀茂

病院理事長）

〈病院事業発展功労者・厚生労働大臣表彰〉

2010(平成22)年 清水 紘（嵯峨野病院理事長）

〈産科医療功労者・厚生労働大臣表彰〉

2012(平成24)年 堀江克行（三菱京都病院院長
補佐）

〈精神科看護業務功労者・厚生労働大臣表彰〉

※京都精神病院協会との合同推薦
2010(平成22)年 加藤きみ子（医療法人三幸会看
護介護部顧問）

〈京都府救急医療功労者表彰〉

2010(平成22)年 相川一郎（蘇生会総合病院院長）
洛和会音羽病院
2011(平成23)年 久野成人（久野病院理事長）
武田病院
2012(平成24)年 河端一也（新河端病院理事長）
宇治徳洲会病院
2013(平成25)年 中野博美（京都きづ川病院理
事長）
田辺中央病院
2014(平成26)年 松井道宣（京都九条病院理事長）
洛西シミズ病院
〈京都府保健医療功労者表彰〉
2010(平成22)年 地域保健医療部門／藤澤明生
（賀茂病院理事長）
地域保健医療部門／京都南西



京都府保健医療功労者表彰



清水敏先生瑞宝双光章受章祝賀会

- 病院
- 2011(平成23)年 地域保健医療部門／岸本良博
(岸本病院理事長)
- 地域保健医療部門／愛生会山科
病院
- 2012(平成24)年 地域保健医療部門／富士原正人
(京都ルネス病院理事長)
- 地域保健医療部門／木津屋橋武
田病院
- 2013(平成25)年 地域保健医療部門／都倉 隆
(都倉病院理事長)
- 地域保健医療部門／脳神経リハ
ビリ北大路病院
- 2014(平成26)年 地域保健医療部門／富田哲也
(富田病院理事長)
- 地域保健医療部門／第二久野
病院

〈京都府看護功労者表彰〉

- 2010(平成22)年 大瀧久枝 (第一岡本病院看護
部長)
- 2010(平成22)年 大歳みさを (丹波笠次病院看護
師長)
- 2011(平成23)年 海老成子 (金井病院看護部長)
- 2011(平成23)年 中川美代子 (元西京都病院看護
部長)
- 2011(平成23)年 永友シマ子 (洛西シミズ病院看
護部長)
- 2012(平成24)年 森 洋子(長岡京病院看護部長)
- 2013(平成25)年 大山清美 (大島病院看護部長)

〈公衆衛生事業功労者・厚生労働大臣表彰〉

- 2010(平成22)年 近藤泰正 (社会医療法人西陣健
康会理事長)

- 2011(平成23)年 岡本豊洋 (社会医療法人岡本病
院 (財団) 理事長)
- 2012(平成24)年 久野成人 (医療法人社団育生会
理事長)
- 2013(平成25)年 富士原正人 (医療法人福富士会
理事長)
- 2014(平成26)年 藤澤明生 (医療法人明生会理事
長)

〈公衆衛生事業功労者・一般財団法人日本公衆衛生
協会会長表彰〉

- 2010(平成22)年 谷 直介 (北山病院院長)
- 2011(平成23)年 清水幸夫 (医療法人清仁会理
事長)
- 2012(平成24)年 清水 聡 (医療法人健康会理
事長)
- 2013(平成25)年 有馬成紀 (医療法人財団桜花
会醍醐病院院長)
- 2014(平成26)年 菅 知行 (一般社団法人愛生
会理事長・院長)

事務長会

事務長会では常任委員会を中心に、事務長会独自の事業展開はもとより、理事会方針に基づいた各種事業にも積極的に参画し、また協会内各部会・委員会からの要請事項に対応するなど活発な活動をおこなっている。

病院医療を取り巻く状況が厳しさを増すなか、事務長会では医療情勢の動向把握とそのための情報収集に努めるとともに、会員が直面する諸問題を事務的側面から捉え、その解決に尽力してきた。さらに、私病協の各委員会への事務長会代表委員派遣を通し



事務長会総会



事務長会全体会議

て各種事業に参画し、協会の基本方針に対し全面的な協力体制をとっている。

常任委員会では、全委員が経営・保険・労務の3部会を構成し、それぞれの専門能力を活かしながら、有機的な連携のもと数多くの事業を企画している。

2010(平成22)年は、京都が近畿2府4県の病院団体によって組織される近畿病院団体連合会事務長会の主催となり、同会での次回診療報酬改定の見直しを求める要望書内容の決議を取りまとめた。

事務長会活動に求められる役割と期待は大きく、激動の医療情勢のもと、病院経営の安定化と効率化をめざす事務長会の取り組みは、今後益々多岐にわたるものと思われる。

5年間の主な事務長会活動を以下に記す。

※以降、開催場所の記載のないものは私病協議室での開催。

◆歴代常任委員長

中谷泰幸 2003(平成15)年6月～2012(平成24)年5月(なぎ辻病院)

中井洋一 2012(平成24)年6月～現在(京都桂病院)

◆事務長会総会(各年5月)

2010(平成22)年 5月14日 京都ホテルオークラ
副委員長選出、平成22年度事業計画の採択、診療報酬改定について研修会を開催

2011(平成23)年 5月13日 ホテルモントレ京都
第19期役員選出、平成23年度事業計画の採択

2012(平成24)年 5月11日
京都ブライトンホテル
平成24年度の事業計画の採択、診療報酬改定に

ついて研修会を開催

2013(平成25)年 5月10日 京都ホテルオークラ
第1期役員選出、平成25年度の事業計画の採択、事務長会内規の改訂

2014(平成26)年 5月9日
ホテル日航プリンセス京都
平成26年度の事業計画の採択、研修会を開催

◆事務長会全体会議(各年12月に上半期の事業報告と経営管理講演会を開催した。テーマについては後述)

2010(平成22)年 12月10日
ホテル日航プリンセス京都

2011(平成23)年 12月9日 京都全日空ホテル

2012(平成24)年 12月14日
京都ブライトンホテル

2013(平成25)年 12月13日
ANAクラウンプラザホテル京都

2014(平成26)年 12月12日
ホテルグランヴィア京都

◆研修会・拡大常任委員会

2010(平成22)年

- ・4月9日(拡大常任委員会)
「短時間正職員制度に関する研修会」
講師/橋本美穂(日本看護協会専門職支援・中央NC事業部)

- ・5月14日 京都ホテルオークラ(総会)
「今回の診療報酬のポイントと今後の課題」
講師/東山和富(愛生会山科病院事務次長)
乾 均(第二岡本総合病院医事部次長)



事務長会研修会



事務長会拡大常任委員会

- ・ 11月12日（拡大常任委員会）
「新調理システムについて」
講師／仲田雅博（学校法人大和学園理事・ラ・
キャリエールクッキングスクール校長）
「新調理システムを導入して」
講師／清水英都子（武田病院栄養科課長代理）
 - ・ 12月10日 ホテル日航プリンセス京都（全体
会議）
「医療の未来を読む～地域密着型の病院経営
のあり方について～」
講師／星 北斗（財団法人星総合病院理事長）
 - ・ 12月15日（購買担当者会議）
「医療施設における防災対策について」（耐震
診断後の防災計画および備品・機器の対策等
や緊急地震速報サービスの詳細について）
講師／京屋智也（株式会社コストトレード）
高柳宣治（株式会社シーファイブ）
 - ・ 2月18日 京都ホテルオークラ
「介護療養病床等の介護保険の動向について」
講師／宇都宮啓（厚生労働省老健局老人保険
課長）
- 2011(平成23)年
- ・ 11月11日 パルホール（拡大常任委員会）
「最近のエネルギー事情と病院及び施設の省
エネルギーの推進について～病院経営に役立つ
省エネルギー推進事例について～」
解説／久米辰雄（大阪ガス株式会社エネ
ルギー技術部エグゼクティブエン
ニジア）
 - ・ 12月9日 京都全日空ホテル（全体会議）
「私的病院を取り巻く税務上の諸問題～消費
税・事業承継を中心に～」（経営部企画）
講師／伊藤伸一（医療法人大雄会理事長）
- ・ 3月17日 京都国際ホテル
「平成24年度診療報酬改定について」
講師／鈴木康裕（厚生労働保険局医療課長）
「平成24年度介護報酬改定について」
講師／宇都宮啓（厚生労働省老健局老人保健
課長）
- 2012(平成24)年
- ・ 4月13日 キャンパスプラザ京都（拡大常任
委員会）
「看護協会が取り組む【看護職の夜勤・交代
勤務に関するガイドライン】の求めるものは。」
① 7対1入院基本料見直しの是非と看護必要
度についての見解
② 「夜勤72時間以内ルール」6年の経過と協
会としての感想
講師／小川忍（公益社団法人日本看護協会常
任理事）
 - ・ 5月11日 京都ブライトンホテル（総会）
「平成24年度診療報酬改定について」
講師／安達秀樹（中央社会保険医療協議会
委員）
 - ・ 10月26日 京都アスニー（労務研修会）
「管理職のための病院人事・労務管理」
講師／佐合茂樹（社会医療法人厚生会木沢記
念病院事務長兼病院長補佐）
 - ・ 11月9日(拡大常任委員会)
「労働時間管理等について」
講師／笠井徹也（京都労働局地方労働時間設
定改善指導官）
「両立支援等に取り組む事業主向けの支援策
について」



事務長会労務研修会



事務長会研修旅行

- 講師／高橋秀寿（京都労働局雇用均等室長）
- ・12月14日 京都ブライトンホテル（全体会議）
「今後の医療計画について」
- 講師／久保木隆（厚生労働省医政局指導課医師確保等地域医療対策室室長補佐）
- ・2月23日 ホテル日航プリンセス京都
「医療機関の適切な管理・運用について～医療法に基づく立入検査の観点から～」
- 講師／加藤浩二（厚生労働省医政局指導課医療監視専門官）

2013(平成25)年

- ・10月11日（拡大常任委員会）
「三菱自動車のコンプライアンスの推進について～信頼回復に向けて～」
- 講師／池田章彦（三菱自動車工業株式会社CSR推進本部コンプライアンス部）
- ・11月26日 キャンパスプラザ（労務研修会）
「未払賃金請求訴訟の経験から得たものは～40年にわたる人事管理・労務管理の実践を通して～」
- 講師／滋岡嘉弘（医療法人栄仁会宇治おうばく病院理事・相談役）
- ・12月13日 ANAクラウンプラザホテル京都（全体会議）
「病院経営上の諸問題について」
- 講師／高松晃司（京都成蹊法律事務所弁護士・京都私立病院協会監事）
- ・3月1日 グランドプリンスホテル京都
「平成26年度診療報酬改定について」
- 講師／宇都宮啓（厚生労働省保険局医療課長）

2014(平成26)年

- ・4月11日（拡大常任委員会）

「障害者雇用に係る各種助成金制度等について」

講師／岩崎修（京都労働局職業安定部職業対策課地域障害者雇用担当官）

- ・5月9日 ホテル日航プリンセス京都（総会）
「東日本大震災をのりこえて」

講師／星北斗（公益財団法人星総合病院理事長）

- ・10月10日（拡大常任委員会）
「従業員定着のための今日的、病院人事労務～入り口・出口戦略で大きく変わる～」

講師／石原智香子（石原事務所特定社会保険労務士）

- ・10月22日（労務研修会）
「決算書がよくわからない人のための決算書解説講座－決算書を理解することが、病院職員にはなぜ重要なのか－」

講師／鈴木喜六（ヘルスケアマーケティング研究所所長）

- ・12月12日 ホテルグランヴィア京都（事務長会全体会議）

「なすびの花－親の教えとなすびの花は千に一つの無駄がない－」

講師／玉置半兵衛（株式会社半兵衛代表取締役【11代目当主】）

- ・2月14日 京都ホテルオークラ（事務長会研修会）

「平成27年度介護報酬改定について」

講師／迫井正深（厚生労働省老健局老人保健課長）



事務長会研修旅行



近畿病院団体連合会事務長会

◆研修旅行

先進的な施設見学を通しての研修と、会員事務長間の親睦を図ることを目的に実施している

2010(平成22)年／福井県済生会病院（福井県福井市）

2011(平成23)年／社会医療法人財団慈泉会相澤病院（長野県松本市）

2012(平成24)年／社会福祉法人聖隷事業団聖隷三方原病院（静岡県浜松市）

2013(平成25)年／日本赤十字社伊勢赤十字病院（三重県伊勢市）

2014(平成26)年／公立豊岡病院（兵庫県豊岡市）

◆他府県病院協会事務長会との交流

1) 近畿病院団体連合会との交流

・2010(平成22)年

7月9日 京都ホテルオークラ（京都府）

「平成22年度診療報酬改定の見直しに関する要望事項について」をテーマに各府県の病院団体から出された要望事項をまとめ、近病連事務長会の見解として決議した。

3月11日 京都ブライトンホテル（京都府）

「社会保障としての医療」をテーマに厚生労働省保険局の鈴木康裕医療課長が講演。

・2011(平成23)年

9月2日 ANAクラウンプラザホテル神戸（兵庫県）

3月9日 ANAクラウンプラザホテル神戸（兵庫県）

・2012(平成24)年

9月7日 ANAクラウンプラザホテル神戸（兵庫県）

3月8日 ANAクラウンプラザホテル神戸（兵庫県）

・2013(平成25)年

9月6日 ベルアンサンプル（大阪府）

3月6日 大阪新阪急ホテル（大阪府）

・2014(平成26)年

9月9日 多根総合病院（大阪府）

3月13日 大阪新阪急ホテル（大阪府）

◆経営部会の主な活動

・2010(平成22)年

1) 平成21年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。

2) 光熱水費等の節減に向けた取り組みに関する調査の実施とその集計。

3) 拡大常任委員会での研修会「新調理システムについて」、「新調理システムを導入して」の企画を行った。

4) 事務長会全体会議での経営管理講演会「医療の未来を読む～地域密着型の病院経営のあり方について～」の企画を行った。

・2011(平成23)年

1) 平成22年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。

2) 省エネセミナーにおいて光熱水費等の節減に向けた取り組みに関する調査結果の報告を行った。

3) 拡大常任委員会での研修会「最近のエネルギー事情と病院及び施設の省エネルギーの推進について～病院経営に役立つ省エネルギー推進事例について～」の企画を行った。

4) 事務長会全体会議での経営管理講演会「私



経営分析調査集計結果

的病院を取り巻く税務上の諸問題～消費税・事業承継を中心に～」の企画を行った。

・2012(平成24)年

- 1) 平成23年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
- 2) 拡大常任委員会での研修「労働時間管理等について」、「両立支援等に取り組む事業主向けの支援策について」の企画を行った。
- 3) 事務長会全体会議での経営管理講演会「今後の医療計画について」の企画を行った。

・2013(平成25)年

- 1) 平成24年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
- 2) 事務長会全体会議での経営管理講演会「院内で発生する諸問題への法的対応のヒント」の企画を行った。

・2014(平成26)年

- 1) 平成25年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
- 2) 病院経営に資する研修会の開催に向けて検討を行った。
- 3) 事務長会全体会議での経営管理講演会「なすびの花－親の教えとなすびの花は千に一つの無駄がない－」の企画を行った。

◆保険部会の主な活動

・2010(平成22)年

- 1) 事務長会研修会を企画。「平成22年度介護報酬改定について」のテーマで講演会を企画した。
- 2) 会員からの診療報酬や施設基準に関する照会に対し、診療報酬委員との連携により適

切な情報提供に努めた。

- 3) 診療報酬委員会に委員を派遣し、会の運営に協力した。

・2011(平成23)年

- 1) 事務長会研修会を企画。「介護療養病床等の介護保険の動向について」のテーマで講演会を企画した。
- 2) 会員からの診療報酬や施設基準に関する照会に対し、診療報酬委員との連携により適切な情報提供に努めた。

- 3) 診療報酬委員会に委員を派遣し、会の運営に協力した。

・2012(平成24)年

- 1) 事務長会研修会を企画。今年度は6年に1度の同時改定であることから「平成24年度診療報酬改定について、平成24年度介護報酬改定について」のテーマで講演会を企画した。

- 2) 会員からの診療報酬や施設基準に関する照会に対し、診療報酬委員との連携により適切な情報提供に努めた。

- 3) 診療報酬委員会に委員を派遣し、会の運営に協力した。

・2013(平成25)年

- 1) 事務長会研修会を企画。「医療機関の適切な管理・運用について－医療法に基づく立入検査の観点から－」のテーマで講演会を企画した。

- 2) 会員からの診療報酬や施設基準に関する照会に対し、診療報酬委員との連携により適切な情報提供に努めた。

- 3) 診療報酬委員会に委員を派遣し、会の運営



賃金・労働条件等実態調査集計表

に協力した。

・2014(平成26)年

- 1) 事務長会研修会を企画。「平成27年度介護報酬改定について」のテーマで講演会を企画した。
- 2) 会員からの診療報酬や施設基準に関する照会に対し、診療報酬委員との連携により適切な情報提供に努めた。
- 3) 診療報酬委員会に委員を派遣し、会の運営に協力した。

◆労務部会の主な活動

・2010(平成22)年

- 1) 2010年度分賃金・労働条件等実態調査の実施とその集計
- 2) 看護師確保及び勤務の定着に係る実態調査の実施
- 3) 2010年夏期一時金および春の賃金改定、2010年冬期一時金に関する情報収集を行った。

・2011(平成23)年

- 1) 2011年度分賃金・労働条件等実態調査の実施とその集計
- 2) 中堅幹部職員研修会の企画及び運営
- 3) 看護師確保及び勤務の定着に係る実態調査の結果について分析とまとめを行った。
- 4) 2011年夏期一時金および春の賃金改定、2011年冬期一時金に関する情報収集を行った。

・2012(平成24)年

- 1) 2012年度分賃金・労働条件等実態調査の実施とその集計

- 2) 労務研修会として「管理職のための病院人事・労務管理」を企画した。
- 3) 認定看護師制度の処遇・手当等に関する調査、人材紹介業者（エージェント）の実態調査を実施し、その集計結果について分析を行った。
- 4) 2012年夏期一時金および春の賃金改定、2012年冬期一時金に関する情報収集を行った。

・2013(平成25)年

- 1) 2013年度分賃金・労働条件等実態調査の実施とその集計
- 2) 中堅幹部職員研修会の企画と当日の運営を行った。
- 3) 労務研修会として「未払賃金請求訴訟の経験から得たものは～40年にわたる人事管理・労務管理の実践を通して～」を企画した。
- 4) 2013年夏期一時金および春の賃金改定、2013年冬期一時金に関する情報収集を行った。

・2014(平成26)年

- 1) 2014年度賃金・労働条件等実態調査を実施とその集計。
- 2) 看護師免許取得のための奨学金制度に関する調査を実施し、会員施設の状況把握に努めた。
- 3) 2014年夏期一時金および春の賃金改定、2014年冬期一時金に関する情報収集を行った。
- 4) 労務研修会として「決算表がよくわからない人のための決算書解説講座－決算書を理解することが、病院職員にはなぜ重要なのか－」



北部地区事務長会



看護部長会総会

◆地区活動

◆北部地区事務長会の活動

丹後・中央医療圏の会員を対象とする北部地区事務長会が、経営管理に関する情報交換や北部地区固有の問題について協議・情報交換を行った。

- ・2010(平成22)年
 - 9月28日 ホテルロイヤルヒル福知山(福知山市)
- ・2011(平成23)年
 - 2月25日 かねみつ(京丹後市)
 - 9月27日 ホテルロイヤルヒル福知山(福知山市)
- ・2012(平成24)年
 - 2月3日 佳松苑(京丹後市)
 - 9月25日 ホテルロイヤルヒル福知山(福知山市)
- ・2013(平成25)年
 - 3月1日 炭平(京丹後市)
 - 9月24日 ホテルロイヤルヒル福知山(福知山市)
- ・2014(平成26)年
 - 2月14日 文珠荘(宮津市)
 - 9月26日 ホテルロイヤルヒル福知山(福知山市)
- ・2015(平成27)年
 - 2月20日 とと屋(京丹後市)

◆南部地区事務長会の活動

山城北・山城南医療圏の会員を対象とする南部地区事務長会が地域固有の話題をはじめ、病院経営に関わる様々な問題について協議・情報交換を行った。

- ・2010(平成22)年
 - 4月28日 宇治市産業会館
 - 11月24日 宇治市産業会館
- ・2011(平成23)年
 - 5月18日 宇治市産業会館
 - 11月30日 宇治市産業会館

- ・2012(平成24)年
 - 4月25日 宇治市産業会館
 - 11月28日 宇治市産業会館
- ・2013(平成25)年
 - 4月24日 宇治市産業会館
 - 11月27日 宇治市産業会館
- ・2014(平成26)年
 - 5月28日 宇治市産業会館
 - 11月26日 宇治市産業会館

看護部長会

当部会では原則、毎月1回定例会を開催している。会員病院の看護管理者であれば誰でも参加出来るオープン参加形式をとり、毎回平均50名前後の参加を得ている。

定例会では、各委員会および研修会、関連事業所からの報告と日常業務などの疑問に即対応できるよう情報交換を行っている。また定例会後に実施する相互研修では、議題に基づいての全体情報交換やグループ討議、各方面から講師を招いての講義と様々な形式を取り入れ実施している。

◆総会

看護部長会の総会は毎年5月に開催し、前年度の事業報告と次年度の事業方針、役員・委員の選出などを決定している。

- 2010(平成22)年度 グランドプリンスホテル京都
- 2011(平成23)年度 京都ロイヤルホテル&スパ
- 2012(平成24)年度 京都ロイヤルホテル&スパ
- 2013(平成25)年度 京都ロイヤルホテル&スパ
- 2014(平成26)年度 ホテル日航プリンセス京都



看護部長会相互研修



看護部長会研修旅行

◆相互研修

2010(平成22)年度

4月「診療報酬改定について看護部長としてどう関わるか」

講師／東山和富（愛生会山科病院事務次長・京都私立病院協会診療報酬委員会委員）

6月「看護部長が抱える諸問題」（グループワーク）

7月「メンタルサポートの取り組み」（グループワーク）

9月「看護職員定着に向けた取り組み」（グループワーク）

10月「結核管理の実際」

講師／谷口文代（京都桂病院看護係長）

2月「昇格の基準について」（グループワーク）

3月「医療安全について」

講師／塚田紀子（京都きづ川病院医療安全管理室マネージャー）

2011(平成23)年度

4月「なぜインシデントは減らないのか」（グループワーク）

6月「災害支援について」

講師／今井真由美（蘇生会総合病院看護師）

下西恵子（京都南病院保健師）

江藤涼子（京都きづ川病院看護師）

7月「医療メディエーションについて」

講師／出森智子（京都桂病院TQMセンター主任）

9月「看護部長が抱える諸問題」（グループワーク）

10月「看護師の人材確保」（事例発表とグループワーク）

発表者／佐治 香（原田病院看護部長）

高橋鈴子（相馬病院看護部長）

川上智子（第二岡本総合病院看護部長）

2月「ワークライフバランス（働き続ける職場づくり）」（事例発表とグループワーク）

発表者／須川裕子（西京病院看護部長）

井川玲子（京都大原記念病院看護部長）

永友シマ子（洛西シミズ病院看護部長）

3月「中間管理者の養成」（事例発表とグループワーク）

発表者／小松美幸（医仁会武田総合病院看護部長）

蛭原桂子（三菱京都病院看護部長）

橋本節子（京都民医連中央病院看護部長）

2012(平成24)年度

4月「診療報酬について」

講師／東山和富（愛生会山科病院事務次長・私病協診療報酬委員）

6月「診療報酬に伴う戦略的取り組み」（事例発表）

7月「適時調査への対応のポイント」（事例発表）

9月「職場の労働問題を解決するために～知っておきたい法律とトラブルへの対処法～」

講師／伊藤健（伊藤経営労務管理事務所）

10月「管理者としての倫理」

講師／真継和子（大阪医科大学看護学准教授）

2月「高齢者雇用安定法と労働契約法の改定に



看護部長会研修旅行

ついて」

講師／伊藤健（伊藤経営労務管理事務所）

3月「労務管理のQ&A～お寄せいただいたご質問を中心に～」

講師／伊藤健（伊藤経営労務管理事務所）

2013(平成25)年度

4月「適時調査への対応のポイント」（事例発表）

6月「看護部長が抱える諸問題」（グループワーク）

7月「院内暴力、パワハラ及びセクハラの防止」
講師／伊藤健（伊藤経営労務管理事務所）

9月「看護部長のナラティブ」（会員施設の看護部長5名による語り）

発表者／原田聡美（京都八幡病院）

西岡和子（京都武田病院）

寺口純子（京都南病院）

長谷川寿子（京都博愛会病院）

永友シマ子（洛西シミズ病院）

10月「看護部長のマネジメント」

講師／大島敏子（NPO法人看護職キャリアサポート顧問）

2月「適時調査を受けて」（事例発表）

3月「採用面接時におけるスキル」（事例発表・グループワーク）

発表者／須川裕子（西京病院看護部長）

林千鶴子（京都桂病院看護部長）

矢田貴子（堀川病院看護部長）

2014(平成26)年度

4月「診療報酬改定について」

講師／谷澤正明（一般社団法人 日本血液製剤機構）

6月「看護部長が抱える諸問題」（グループワーク）

7月「管理者に知っておいて欲しい 出産と育児に関する法律」ほか（講演）」

講師／伊藤健（伊藤経営労務管理事務所）

9月「看護補助者の教育についての取組み」（事例発表）

発表者／松本旗江（愛生会山科病院看護部長）

小林淳子（洛西シミズ病院看護部長）

中島美代子（西陣病院看護部長）

10月「看護部長のマネジメント～管理者育成の手法～」

講師／大島敏子氏（NPO法人看護職キャリアサポート顧問）

2月「適時調査を受けて」（事例発表）

3月「看護部長のナラティブ」

発表者／小野看護部長（三菱京都病院）

小河看護部長（京都きづ川病院）

大山看護部長（大島病院）

田中看護部長（川越病院）

◆総務委員会

看護部長会運営の全般企画、調整を行い部会長と副部会長などで構成されている。主な活動としては定例会での相互研修の企画・運営を行い、グループワーク、全体情報交換、講演会など研修形式についても検討している。その他、当委員は教育委員会・福利厚生委員会の委員も兼ねており、各委員会の企画・運営に関しても当委員会で検討している。

◆教育委員会

看護職員の教育の役割を担っており、看護主任や



看護部長会定例会・新春懇親会



薬剤師部会講演会

師長などを対象とした看護卒後教育に関する研修を中心に看護職員を対象とする様々な研修会の企画・運営を行っている。

◆福利厚生委員会

看護部長相互の親睦を深めることを目的とし、活動している。毎年1月に開催する新春懇親会や5月開催の総会での懇親会などの企画を担当している。また、毎年1度開催する一泊研修旅行の企画も行っている。

〈研修旅行〉

- 2010(平成22)年11月 加賀屋(石川県七尾市)
- 2011(平成23)年11月 飛騨千光寺(岐阜県高山市)
- 2012(平成24)年11月 野の花診療所(鳥取県鳥取市)
- 2013(平成25)年11月 社会医療法人財団慈泉会相澤病院(長野県松本市)
- 2014(平成26)年10月 福知山市民病院(京都府福知山市)

〈新春懇親会〉(毎年1月開催)

- 2010(平成22)年 ホテル日航プリンセス京都
- 2011(平成23)年 ホテルモンテレ京都
- 2012(平成24)年 ホテルモンテレ京都
- 2013(平成25)年 リーガロイヤルホテル京都
- 2014(平成26)年 京都ホテルオークラ

薬剤師部会

当部会は、医薬品の品質や薬剤師の日常業務改善のための情報交換、学術研修活動、医療制度の検討

を目的として1982(昭和57)年に薬局長会として発足し、2002(平成14)年10月からは薬局長のみならず薬剤師も委員会に参加するようになり、薬剤師部会と名称を改めて現在に至っている。

この5年間に関しては、各種研修会を開催し、薬剤師の技能向上を図るための取り組みの一環として日頃の日常業務に役立つ研修をはじめ、2012(平成24)年度の診療報酬改定により新設された病棟薬剤業務に関する研修会も開催し、チーム医療の中で薬剤師の役割がますます重要になっていることを認識する機会となった。

また、医療安全対策委員会からの依頼により、医療安全対策マニュアルの薬剤部門の内容について検討を行い、事例やデータ、行政からの通達を収集して取りまとめ、提供を行った。

◆講演会

※全て京都私立病院協会会議室で開催

第85回 2011(平成23)年2月12日

テーマ/「フィジカルアセスメントに役立つバイタルサインの基礎知識」

講師/沖野良枝(滋賀県立大学人間看護学部教授・京都精華女子大学看護学科教授)

第86回 2011(平成23)年11月6日

テーマ/「明日から役立つフィジカルアセスメント」

講師/白川晶一(神戸学院大学薬学部臨床薬学部部門教授)

第87回 2012(平成24)年3月28日

テーマ/①「平成24年診療報酬改定の概要～DPC等急性期医療はどう評価されるか」

講師/谷澤正明(田辺三菱製薬(株)営業本部営業企画部 主席)



薬剤師部会施設見学

テーマ／②「平成24年診療報酬改定と病院薬剤師
－病棟薬剤業務の拡充に向けてどう行
動すべきか－」

講 師／小野達也（IHI播磨病院 薬剤科課長／日
本病院薬剤師会代議員・医療政策部会所
属）

第88回 2012(平成24)年7月9日

テーマ／「病院内の法的医薬品の適正管理につ
いて」

講 師／五十嵐真由美（京都府健康福祉部薬務課
指導・啓発担当副課長）

第89回 2013(平成25)年2月13日

テーマ／「病棟薬剤業務における輸液ルートの選
定と活用法」

講 師／野崎歩（京都桂病院医務部薬剤科係長）

第90回 2013(平成25)年7月18日

テーマ／「急性期病棟における薬剤師の役割につ
いて」

講 師／野崎歩（京都桂病院医務部薬剤科係長）

第91回 2014(平成26)年4月18日

テーマ／「病院業務に活かす退院支援業務の実際」

講 師／①南田喜久美（京都九条病院看護部副部
長）

②船戸一晴（丹後大宮ゆう薬局薬剤師）

③黄前尚樹（洛和会丸太町病院薬剤部課
長）

第92回 2014(平成26)年11月26日

テーマ／「危険ドラッグを含む薬物中毒医療の現
状」

①法制度の観点から

講 師／細井允貴（京都府健康福祉部薬務課指導・
啓発担当）

②精神科救急医療の現場から

講 師／宮原佳希（七山病院薬局主任）

◆施設見学

2011(平成23)年3月 大塚製薬株式会社
(徳島県鳴門工場・松茂工場)

2011(平成23)年10月 武田薬品工業株式会社
京都薬用植物園

2012(平成24)年8月 KSK物流センター

2013(平成25)年11月 東和薬品株式会社
京都分析科学センター

2014(平成26)年12月 富士製薬工業株式会社
富山工場・研究所

放射線技師部会

1989（平成元）年にそれまで当協会の事業のひとつであったが活動を休止していた放射線技術研究会が名称変更を行い、放射線技師部会として発足した。従来からの活動を継承し、主に会員施設における放射線部門の業務の効率化を図るとともに、会員間で相互に親睦・交流を深めることを目的に活動を続けている。

当委員会の活動は講演会の企画・開催を主としており、講演会では広範囲のテーマを扱い、対象者を放射線技師に限定せず幅広い内容で開催している。その他、必要に応じて各種アンケート調査を実施するとともに、講演会の内容やアンケート結果、会員施設からの研究発表などを取りまとめた「放射線技師部会誌」を発行し、現在までに第9号の発行に至っている。

画像診断部門の技術は日進月歩であり、放射線技



放射線技師部会講演会



放射線技師部会施設見学



放射線技師部会誌

師には日々技術向上のための努力が求められている。そうした放射線技師のスキルアップを助力するべく、当部会では今後も活発に活動を行う予定であり、また期待される役割も大きいと感じている。

◆講演会

第64回 2010(平成22)年7月16日

京都府医師会館

テーマ/「MRI各社の特徴」

講師/①鈴木利治(東芝メディカルシステムズ株式会社)

②池田浩太郎(GEヘルスケアジャパン株式会社)

③渡辺建彦(シーメンス旭メディテック株式会社)

④松本淳也(株式会社フィリップススピロニクスジャパン)

第65回 2011(平成23)年2月4日

島津製作所研修センター

テーマ/「胸部画像診断～受け継ぐべきもの～」

①「トモシンセシスによる胸部健診」

②「胸部画像診断～受け継ぐべきもの～」

講師/①田中修二(株式会社島津製作所医用機器事業部マーケティング部部長)

②山岡利成(京都桂病院放射線診断部部長)

第66回 2011(平成23)年7月22日

京都私立病院協会会議室

テーマ/「救急医療における放射線技術」

講師/坂下恵治(日本救急撮影技師認定機構代表理事・大阪府立泉州救命救急センター放射線科技師長)

第67回 2012(平成24)年2月3日

京都私立病院協会会議室

テーマ/「放射線腫瘍医から見た放射線の影響」

講師/小野公二(京都大学原子炉実験所粒子線腫瘍学研究センター長)

第68回 2012(平成24)年8月3日

島津製作所研修センター

テーマ/「知っておきたい診療報酬改定と医療制度」

①「FPD搭載X線TV装置の紹介」

②「知っておきたい診療報酬改定と医療制度」

講師/①中村昌典(株式会社島津製作所医用機器事業部グローバルマーケティング部XTVグループ課長)

②井上博志(洛和会音羽記念病院経営管理部長)

第69回 2013(平成25)年3月8日

島津製作所研修センター

テーマ/「一般撮影の実践的紹介とトモシンセシスの臨床応用」

①「X線装置の現在(いま)」

②「一般撮影の実践的紹介とトモシンセシスの臨床応用」

講師/①田中修二(株式会社島津製作所医用機器事業部マーケティング部部長)

②谷口正成(住友病院放射線技術科診療放射線技師)

第70回 2013(平成25)年9月6日

京都私立病院協会会議室

テーマ/「CT colonography ～前処置から画像解析まで～」



臨床検査部会講演会

講師／岩野晃明（徳島健生病院 診療放射線技師）

第71回 2014(平成26)年2月7日
島津製作所研修センター

テーマ／「緊急検査時にどのような所見を見た時、画像診断医は立ち止まるのか。」

- ①「島津製作所 新たな展望」
- ②「緊急検査時にどのような所見を見た時、画像診断医は立ち止まるのか。」

講師／①田中修二（株式会社島津製作所医用機器事業部マーケティング部部长）

②磯田裕義（京都大学医学部附属病院放射線診断科准教授）

第72回 2014(平成26)年9月26日
京都私立病院協会会議室

テーマ／「3テスラMRIについて」

- ①「3テスラMRIの最新トピックス」
- ②「MR専門技術者取得に向けての傾向と対策」

講師／①廣瀬加世子（株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン）

②今井修一（宇治徳洲会病院放射線科副主任・MR専門技術者）

第73回 2015(平成27)年2月6日
島津製作所研修センター

テーマ／「救急放射線技術と読影補助の必要性」

- ①「FPD搭載一体型回診車の救急現場での有用性」
- ②「救急放射線技術と読影補助の必要性」

講師／①柴田眞明（株式会社島津製作所医用機器事業部グローバルマーケ

ティング部診断用X線システムグループ）

②坂下恵治（地方独立行政法人りんくう総合医療センター放射線技術科参事・日本救急撮影技師認定機構代表理事）

◆施設見学

2010(平成22)年11月 宇治徳洲会病院
2011(平成23)年11月 洛和会音羽病院
2013(平成25)年11月 蘇生会クリニックサイバーナイフセンター

◆アンケート調査

2012(平成24)年7月 放射線部門運営に関する動向調査

◆その他

2013(平成25)年3月 「放射線技師部会誌第9号」発行

臨床検査部会

臨床検査技師として幅広い知識・技術を習得することにより、病院で働く一人の医療従事者として、更なる資質の向上を図るための活動を行っている。

これまでに、数多くの講演会や研修会を開催し、日常の検査業務に求められる専門知識の習得や検査室運営において重要な情報交換を行ってきた。また、会員病院検査室の交流にとどまらず、京都府臨床検査技師会の情報システム研究班とも連携しながら、全職種を対象にパソコン講習会等の企画も行ってい



臨床検査部会パソコン講習会

る。近年では、医療保険からの経済的な締め付けが一段と厳しくなりつつあり、将来を見据えた検査室の管理運営やシステム化の推進などをテーマにした取り組みを中心に運営している。その他、感染症、血液製剤、検体の取り扱いなど、他職種との連携を必要とする問題についても積極的に取り組んでいる。

運営委員会は隔月で開催し、ますます厳しさを増す医療環境や検査室運営等について討議し、業務の改善に向けた啓発活動を行いつつ、京都府臨床検査技師会との連携に努めている。また、委員会で検討した議事については、その内容を「臨床検査部会FAX通信」として取りまとめ、会員病院の検査室宛に送信している。

◆講演会

※全て京都私立病院協会会議室で開催

第44回 2011(平成23)年2月3日

テーマ／「幹細胞について」

講師／小林妙子(京都大学ウイルス研究所助教)

第45回 2012(平成24)年2月16日

テーマ／「今日の肺結核診療」

講師／中西雅樹(京都府立医科大学先端検査機器開発講座助教)

第46回 2013(平成25)年2月28日

テーマ／「iPS細胞の臨床応用」

講師／高橋淳(京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門教授)

第47回 2014(平成26)年1月26日

テーマ／「iPS細胞の臨床応用」

講師／江藤浩之(京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門教授)

第48回 2015(平成27)年1月22日

テーマ／「iPS細胞の臨床応用」

講師／川口義弥(京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門教授)

◆パソコン講座

※全て京都保健衛生専門学校で開催

2010(平成22)年7月22日

テーマ／「Excel(初級)講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部(社団法人京都府臨床検査技師会情報システム分野)

2010(平成22)年10月21日

テーマ／「Power Point(初級)講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部(社団法人京都府臨床検査技師会情報システム分野)

2011(平成23)年7月7日

テーマ／「Excel(初級)講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田健太(社団法人京都府臨床検査技師会情報システム分野)

2011(平成23)年10月20日

テーマ／「Power Point(初級)講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田健太(社団法人京都府臨床検査技師会情報システム分野)

2012(平成24)年7月19日

テーマ／「Power Point(初級)講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田健太(一般社団法人京都府臨床検査技師会情報システム分野)

2012(平成24)年11月15日



臨床検査部会施設見学



臨床工学技士部会発足記念講演会

テーマ／「Excel（初級）講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田
健太（一般社団法人京都府臨床検査技
師会情報システム分野）

2013(平成25)年7月18日

テーマ／「Power Point（初級）講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田
健太（一般社団法人京都府臨床検査技
師会情報システム分野）

2013(平成25)年10月17日

テーマ／「Excel（初級）講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田
健太（一般社団法人京都府臨床検査技
師会情報システム分野）

2014(平成26)年7月17日

テーマ／「Excel（初級）講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田
健太（一般社団法人京都府臨床検査技
師会情報システム分野）

2014(平成26)年10月23日

テーマ／「Power Point（初級）講習会」

講師／京都大学医学部附属病院検査部 増田
健太（一般社団法人京都府臨床検査技
師会情報システム分野）

◆施設見学

2011(平成23)年3月

ファルコバイオシステムズ総合研究所

2012(平成24)年3月

京都大学医学部附属病院検査部

2013(平成25)年3月

アークレイ京都研究所

2014(平成26)年2月

株式会社島津製作所本社三条工場

2014(平成26)年11月

オムロン株式会社コミュニケーションプラザ

◆FAX通信

2010(平成22)年度 No.95～No.99

2011(平成23)年度 No.100～No.106

2012(平成24)年度 No.107～No.111

2013(平成25)年度 No.112～No.118

2014(平成26)年度 No.119～No.125

◆アンケート調査

2013(平成25)年12月

「臨床検査に係る実態調査」

◆その他

会員施設からの検査室業務に関する問い合わせに
随時対応

臨床工学技士部会

昨今、医療機器の適切かつ安全な使用・管理等が重要視される中で、病院における臨床工学技士の果たす役割も大きくなっており、臨床工学技士の質の向上等に資する部門を設置する必要から2014（平成26）年10月に当部会が発足した。臨床工学技士の知識・技術向上に資する活動に加え、会員施設の全ての職種が、適切かつ安全な医療機器の使用・管理を行えるよう、研修会等により啓発・支援に取り組んでいる。



栄養管理帳票マニュアル
2011年度版



栄養士部会全体会議



栄養士部会全体会議（グループワーク）

◆講演会

第1回 2015(平成27)年5月16日

YIC京都工科大学校

テーマ／①「モニターのアラームと安全管理」
「薬事法等の一部を改正する法律の概要」

②「医療機器の安全管理について」

講師／①山岸廣志氏（日本光電工業株式会社
品質管理統括部安全管理 安全管理
情報担当）

②松村由美氏（京都大学医学部附属病
院 医療安全管理室 室長）

れる役割と求められるスキルはますます大きくなっているといえる。

こうした病院栄養士業務の捉え方の変化を踏まえ、当部会では運営委員会の活動の中で、研修会の開催に加え、栄養管理帳票マニュアルの改訂・発行や平成24年度診療報酬改定に伴う栄養士・管理栄養士の配置・就労実態および満足度調査を実施した。さらに委員同士の相互学習会や情報交換を行うほか、2011年度からは年1回の施設見学を実施するなど、栄養部門を取り巻く状況を的確に把握し、会員に有用な情報提供ができるよう研鑽に努めている。

栄養士部会

当部会は1986年（昭和61年）に設置された。病院入院中の食事療養が疾病治療の直接的手段の一部であることを常に意識しながら、管理栄養士・栄養士・調理師の質的向上と安全かつ良質な食事の提供、栄養管理業務のさらなる効率化と改善に向けた活動を展開している。

食中毒の予防についての研修を定期的に開催しているほか、臨床栄養に関するさまざまな内容を取り上げ、実践的でスキルアップを図っており、毎回多くの参加を得ている。また、研修会ではグループワークを積極的に行うことで、会員職員間での情報交換の場としても機能するよう心がけている。

近年の動向として、平成22年度診療報酬改定での栄養サポートチーム加算（NST加算）の新設や、平成24年度改定で栄養管理に関する項目が入院基本料に追加されるなど、病院栄養士の専門性が評価されてきているとともに、医療の場で栄養士に期待さ

◆講演会

※全て京都私立病院協会会議室で開催

第61回 2010(平成22)年6月10日

テーマ／「クックチルと実践的な衛生管理」

講師／楠見五郎（エレクトラー株式会社コンサルタント室室長）

第62回 2010(平成22)年11月10日

テーマ／「栄養治療についてのケースカンファレンス～高齢者・周術期～」

講師／平石宏行（京都桂病院・NST事務局・管理栄養士）

第63回 2011(平成23)年5月19日

テーマ／「手に優しい手指衛生管理とは？～食中毒予防と手荒れ対策の両立～」

講師／藤沢 暖（ディバーシー株式会社フードセーフティー研究所コンサルタント）

第64回 2011(平成23)年10月20日

テーマ／「嚥下の症例検討」

講師／安江友世（京都府立医科大学附属病院摂食・嚥下障害看護分野認定看護師）



リハビリテーション部会講演会



リハビリテーション部会施設見学



リハビリテーション
帳票マニュアル

第65回 2012(平成24)年6月21日

テーマ／「食中毒予防対策について」

講師／中木恵造(京都市右京区役所衛生課課長)

第66回 2012(平成24)年11月15日

テーマ／「経腸栄養法について～胃ろうを中心に～」

講師／松田美由紀(テルモ株式会社京都支店学術チーム)

第67回 2013(平成25)年9月19日

テーマ／「災害時における給食施設等の危機管理体制について～おにぎりどみそ汁があれば、栄養は問題ないんだいが?～」

講師／下浦佳之(兵庫県立がんセンター総務部次長兼栄養指導課課長)

第68回 2014(平成26)年3月20日

テーマ／「NST・栄養管理に求められる水分・電解質に関する知識・内容について」

講師／西本好児(第二岡本総合病院薬剤部主任)

第69回 2014(平成26)年7月18日

テーマ／「患者様のための給食管理」

講師／大久保郁子(京都光華女子大学健康科学部教授)

第70回 2014(平成26)年3月2日

全体テーマ：「食事の工夫を話し合おう」

講演テーマ：「当院における緩和ケアの取り組みについて」

講師／梅岡成啓(京都民医連中央病院栄養課調理師)

◆施設見学

2012(平成24)年3月

タケダメディカルフーズサプライセンター

2012(平成24)年12月

日清医療食品株式会社関西物流センター
(名糖運輸株式会社)

2014(平成26)年1月

キューピー株式会社伊丹工場

2015(平成27)年1月

大津栄養製品研究所・スキンケア研究所

リハビリテーション部会

当部会は2004(平成16)年11月に発足し、2014(平成26)年で10年目を迎える。会員施設に勤務する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリテーション従事者が専門職としての資質の向上を図ること及びリハビリテーション関連の医療保険・介護保険等に関する情報を迅速に収集・分析し、会員へ提供することを目的に現在まで活発な活動を展開している。

活動内容としては日頃の業務の充実を図るための講演会と施設見学を毎年企画・開催している。

また、2005(平成17)年に作成された「リハビリテーション帳票マニュアル」を診療報酬改定に対応するため、2010年(平成22)年、2012(平成24)年、2014(平成26)年に改訂を行い、会員施設の日常業務において当マニュアルを参考にしてもらうように当協会のホームページに掲載する等してその周知を行った。

さらに2011(平成23)年度より始まった京都地域包括ケア推進団体等交付金事業で当協会が実施している府民リハビリテーション啓発支援事業(別記)に全面的な協力を行っている。

リハビリテーションは医療施設だけでなく介護・



全体会議



全体会議（講演会）

福祉分野においてもその重要性は高く、会員施設のリハビリテーションの向上に努めている。

◆講演会

第7回 2010(平成22)年11月23日

テーマ／「脳画像からみる脳機能とリハビリテーションPart 2」

講師／吉尾雅春（千里リハビリテーション病院 副院長・理学療法士）

第8回 2012(平成24)年1月28日

テーマ／「動作と行為の障害へのアプローチ～認知症と失行症について～」

講師／種村留美（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域運動器障害学分野教授）

第9回 2013(平成25)年1月26日

テーマ／「脳梗塞に伴う嚥下障害への取り組み」

講師／巨島文子（京都第一赤十字病院リハビリテーション科部長）

第10回 2014(平成26)年1月25日

テーマ／「iPS細胞を用いた神経疾患の研究について」

講師／井上治久（京都大学iPS細胞研究所臨床応用部門准教授）

第11回 2014(平成26)年12月13日

テーマ／「CI療法から考えるニューロリハビリテーションの展望について」

講師／道免和久（兵庫医科大学リハビリテーション医学教室准教授）

◆施設見学

2011(平成23)年2月

京都障害者就業・生活センター

2011(平成23)年11月

滋賀県福祉用具センター

2012(平成24)年10月

医療法人吉栄会吉川病院（大阪府岸和田市）

2014(平成26)年2月

一般財団法人京都地域医療学際研究所がくさい病院

2014(平成26)年10月

大和ハウス工業株式会社総合技術研究所

全体会議

医療・介護に関する国の政策や動向等を会員に説明するとともに、協会の取り組みを報告し、執行部と会員、会員相互での情報交換や連帯を深める目的で年1回開催している。

全体会議には理事長、院長、事務長などの管理者が出席し、執行部から当協会の取組状況を説明・報告するとともに、直近の医療・介護情報から地域固有の問題や課題も取り上げ、意見交換をおこなった。全体会議終了後は病院運営に重要な事項や医療・介護に関する動向をテーマに講演会を開催した。

2010(平成22)年度

開催／9月11日 京都・烟河（亀岡市）

全体会議テーマ／

平成22年度診療報酬改定、療養病床再編問題、京都私立病院協会の事務局移転、日本医療法人協会京都支部及び全日本病院協会京都府支部の移転、京都病院学会、救急医療、京都市国保における第三者行為に係る



創立記念式典



創立記念祝賀会



特別功労者（役員歴任者）

傷病届等提出勧奨事業、院内感染対策、介護保険、医療従事者確保対策、京都府内の各地域における諸問題

講演会テーマ／

「生命輝かそう京都私立病院協会～低医療費政策を乗り越えて～」

講師／邊見公雄（赤穂市民病院名誉院長）

2011(平成23)年度

開催／10月22日 京都・烟河（亀岡市）

全体会議テーマ／

平成24年度診療報酬・介護報酬同時改定、療養病床再編の動向、東日本大震災への対応、京都式地域包括ケア、救急医療、医療安全対策・院内感染対策、医療従事者確保対策、介護保険、京都病院学会、近畿病院団体連合会、京都府内の各地域における諸問題

講演会テーマ／

「待つことの意味」

講師／鷺田清一（哲学者・元大阪大学総長）

2012(平成24)年度

開催／9月8日 京都・烟河（亀岡市）

全体会議テーマ／

平成24年度診療報酬・介護報酬同時改定、一般社団法人の認可申請、節電対策及び計画停電への対応、控除対象外消費税問題、京都式地域包括ケア、救急医療、院内感染対策、医療従事者確保対策、介護保険、京都府内の各地域における諸問題

講演会テーマ／

「文明か文盲かーかぎは老人にあり」

講師／横山俊夫（京都大学名誉教授、滋賀大学理

事・副学長）

2013(平成25)年度

開催／10月26日 京都・烟河（亀岡市）

全体会議テーマ／

医療情勢、京都式地域包括ケア、救急医療、医療従事者確保対策、介護保険

講演会テーマ／

「医療をめぐる最近の動き」

講師／大島一博（厚生労働省保険局総務課長）

2014(平成26)年度

開催／10月4日 メルパルク京都（京都市）

全体会議テーマ／

平成26年度上半期事業の報告（医療・介護情勢、創立50周年記念事業を含めて）

講演会テーマ／

「2025年に向けた医療提供体制の改革について」

講師／福島靖正（厚生労働省大臣官房審議官）

創立記念式典

1964（昭和39）年10月16日に京都府内44病院が参加して京都私立病院協会が設立されたことを記念し、毎年11月に式典を開催している。

式典には京都府知事、京都市長をはじめ府市行政、議員、医療関係団体の臨席のもと、会員とともに協会の活動を振り返りながら、今後のさらなる発展を祈念している。式典では、会員施設で功績のあった優良職員・永年勤続の職員の表彰を行うとともに、当協会が養成している保健医療管理士の認定式を行っている。創立50周年記念式典では、例年の内容に加え、歴代会長をはじめ役員歴任者、当協会の各種



特別功労者（会員施設職員）



新春公演会



新春会員懇親会

委員会で長年の間功労のあった会員施設職員を特別功労者として表彰するとともに、創立50周年記念事業の中間報告を行った。

創立46周年記念式典 2010(平成22)年11月19日

リーガロイヤルホテル京都

優良職員・永年勤続職員表彰 200名

創立47周年記念式典 2011(平成23)年11月18日

京都ホテルオークラ

優良職員・永年勤続職員表彰 205名

創立48周年記念式典 2012(平成24)年11月17日

京都ホテルオークラ

優良職員・永年勤続職員表彰 200名

創立49周年記念式典 2013(平成25)年11月15日

ホテルグランヴィア京都

優良職員・永年勤続職員表彰 173名

創立50周年記念式典 2014(平成26)年11月21日

京都ホテルオークラ

特別功労者表彰 28名

優良職員・永年勤続職員表彰 215名

第28回 2011(平成23)年1月15日

京都ブライトンホテル

①講演「おどりについて」 坂東温子（坂東流幹部師範・財団法人京都市芸術文化協会理事）

②日本舞踊披露 坂東温子、坂東温その、坂東龍延、坂東温幸乃、坂東温友嘉

③三味線演奏 常盤津都史、常盤津小都路

第29回 2012(平成24)年1月21日

京都ブライトンホテル

地歌三絃・箏曲演奏会「新春箏のしらべ」

小池典子(宮城会大師範)、飛山百合子、長谷川慎

第30回 2013(平成25)年1月19日

京都ブライトンホテル

Nabeshima Quartetによるジャズ演奏

鍋島直昶（ビブラフォン奏者）、星山啓一、中嶋明彦、橋本真悠子

第31回 2014(平成26)年1月18日

京都ブライトンホテル

シャンソンコンサート

渋谷文太郎（シャンソン歌手）、藤井晴世

第32回 2015(平成27)年1月17日

京都ブライトンホテル

狂言 安東伸元、安東元、木田昌秀（狂言師）

新春会員懇親会

1984（昭和59）年に「名刺交換会」として始まった年頭行事も今では「新春会員懇親会」として定着し、会員病院と関係団体、または医療と特に関係の深い行政担当者と新年の挨拶を交わすことで、さらに親睦を深める場となっている。また、懇親会の前には幅広いテーマで専門家や著名人を招いて講演会や演奏会も開催しており、趣向を凝らした内容として毎年多数の参加を得ている。

創立50周年記念事業

1964（昭和39）年10月16日に発足した当協会は2014（平成26）年に創立50周年を迎え、同年に創立50周年記念事業として、当協会が京都の人びとの健康増進や地域医療の充実のために取り組んでいる諸活動を広く発信するなど、「つながろう！京都私立病院協会」をテーマに各種記念事業を実施した。



「私たちの京都、つながりの医療」
ラジオ放送



「私たちの京都、
つながりの医療」
ポスター

(1) 創立50周年記念事業検討委員会

当協会会長・副会長により構成し、政策委員会と
同時開催し、各種記念事業の企画・立案を行った。

委員：清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、

武田隆久、岡本豊洋、富田哲也、岡田 純

(2) KBS京都ラジオ「私たちの京都、つながりの
医療」の放送

KBS京都ラジオで「私たちの京都、つながりの医療」
の番組に当協会役員が出演し、当協会や会員施設が
京都の人びとの健康増進や地域医療の充実のため
に取り組んでいる諸活動を発信した。

期 間：

2014(平成26)年4月6日～

2015(平成27)年3月15日〈全24回〉

放送時間：

第1・第3日曜日 午前10時45分～11時(15分間)

周波数：

京都 1143kHz／彦根・舞鶴 1215kHz／福知山
1485kHz

実 績：

第1回：2014(平成26)年4月6日

「一般社団法人京都私立病院協会の取り組みに
ついて」 会長 清水鴻一郎

第2回：2014(平成26)年4月20日

「在宅療養あんしん病院登録システムについ
て」 副会長 久野成人

第3回：2014(平成26)年5月4日

「第49回京都病院学会について」
副会長 富士原正人

第4回：2014(平成26)年5月18日

「京都府内の救急医療体制について」
副会長 武田隆久

第5回：2014(平成26)年6月1日

「心あたたまる医療を目指して」

副会長 岡本豊洋

第6回：2014(平成26)年6月15日

「病院認知症対応力向上事業について」

副会長 富田哲也

第7回：2014(平成26)年7月6日

「府民リハビリテーション啓発支援事業につ
いて」 副会長 岡田 純

第8回：2014(平成26)年7月20日

「看護人材確保支援事業 つながりネットにつ
いて」

看護人材確保支援事業検討委員 吉田乃里子

第9回：2014(平成26)年8月3日

「京都私立病院協会加盟病院のがん診療への取
組について」 副会長 富士原正人

第10回：2014(平成26)年8月17日

「介護療養病床(慢性期医療も含めて)」

副会長 久野成人

第11回：2014(平成26)年9月7日

「病院の機能について」 副会長 武田隆久

第12回：2014(平成26)年9月21日

「地域医療ビジョンについて」

会長 清水鴻一郎

第13回：2014(平成26)年10月5日

「心あたたまる医療を目指して PART II」

副会長 岡本豊洋

第14回：2014(平成26)年10月19日

「地域医療ビジョンについて PART II」

会長 清水鴻一郎

第15回：2014(平成26)年11月2日

「欧州スペイン、フランスの医療・介護事情を



欧州医療・介護事情視察旅行



欧州医療・介護事情視察旅行

視察して」 副会長 富田哲也

第16回：2014(平成26)年11月16日

「地域連携パスについて」 副会長 岡田 純

第17回：2014(平成26)年12月7日

「人口減少社会への対応～最重要課題としての
少子化対策」 幹事 石丸庸介

第18回：2014(平成26)年12月21日

「感染対策について」 幹事 清水 聡

第19回：2015(平成27)年1月4日

「精神科医療への私病協の取り組み」
理事 有馬成紀

第20回：2015(平成27)年1月18日

「人材育成としての保健医療管理士養成講座の
意義」 理事 中井洋一

第21回：2015(平成27)年2月1日

「平成26年度の京都私立病院協会の活動の総
括」 会長 清水鴻一郎

第22回：2015(平成27)年2月15日

「在宅療養あんしん病院登録システムについて
PARTⅡ」 副会長 久野成人

第23回：2015(平成27)年3月1日

「京都の民間病院による府民・地域に密着した
取り組み」 副会長 富士原正人

第24回：2015(平成27)年3月15日

「リスナーからのご質問・ご要望にお答えしま
す」 会長 清水鴻一郎

(3) 欧州医療・介護事情視察旅行

当協会の会員施設職員が欧州の医療介護制度
ならびに医療機関、介護施設を見聞して、提供
する医療、介護の質の向上を図るべく、欧州視
察を行った。

期 間：2014(平成26)年9月14日～21日全8日間

参加者：23名

視察先：スペイン SER QUAVITAE（高齢者施
設）、SANT PAU病院

フランス LES ABONDANCE（高齢者
専門総合医療施設）、赤十字 HENRI
DUNANT病院

(4) 創立50周年記念座談会

創立50周年を迎える当協会と京都府・京都市と
の「つながり」を主な内容として、当協会が京都
府・京都市と連携して取り組んでいる地域医療・
地域包括ケアの内容等を紹介し、京都の人びとに
医療への安心・安全を発信した。

開 催：2014(平成26)年9月30日

場 所：京都ブライトンホテル

内 容：「京都私立病院協会創立50周年を迎えて」
座談会出席者：

山田啓二（京都府知事）

門川大作（京都市長）

清水鴻一郎（京都私立病院協会会長）

久野成人（京都私立病院協会副会長／司会）

座談会内容の掲載：

京都新聞特集紙面（2014（平成26）年11月16
日）及び京都私立病院協会創立50周年記念誌

(5) 創立50周年記念式典

開 催：2014(平成26)年11月21日

記念式典 15：45～17：10

祝 賀 会 17：15～19：15

場 所：京都ホテルオークラ

内 容：特別功労者表彰28名、優良・永年勤続職
員表彰215名、保健医療管理士認定21名、
創立50周年記念事業中間報告



病院対抗ボウリング大会（京都市域・南部）



病院対抗ボウリング大会（北部）



あすKyoフェスタ

(6) 創立50周年記念 病院対抗ボウリング大会

[京都市域・南部地区対象]

開催：2014(平成26)年10月5日

場所：しょうざんボウル（京都市）

参加チーム：40チーム（159名）

団体の部：優勝 共和病院A

準優勝 北山病院A

第3位 醍醐病院

個人の部：優勝 河本光子

準優勝 柳生裕幸

第3位 吉川伸一

[北部地区対象]

日時：2014(平成26)年11月16日

場所：サンケイボウル（福知山市）

参加チーム：15チーム

団体の部：優勝 宮津武田病院B

準優勝：宮津武田病院A

第3位：もみじヶ丘病院A

個人の部／優勝：梶恵満寿美

準優勝：上山古登美

第3位：岸本 真

・協賛：京都府病院協同組合

*その他の創立50周年記念各種スポーツ大会は厚生部に詳記。

(7) 創立50周年記念誌

創立46周年から50周年まで、病院医療の向上と地域医療の充実のために当協会が取り組んできた各種事業をまとめた記念誌を編さんし、発行した。

発行数：500冊

(8) 府民の元気づくり事業「平成26年度 あすKyoフェスタ」への参加

京都の未来を担う青少年が目輝かせ、体感でき

る空間を府民会議の構成団体やNPO等と一緒に作り出し、交流を深めることを目的としたイベントで、「人のからだはどうなっているの?」と題したブースを出展し、聴診器や血圧測定等の体験や体の様々な働きを紹介し、病院医療や健康増進を啓発した。

開催：2014(平成26)年11月23日

場所：京都府立植物園

内容：「知ろう」交流体験ブース「人のからだはどうなっているの?」の出展

ブース訪問者：約300名

3 広報と情報提供

IT他、情報化時代と言われて久しい。
世の中に、あらゆる情報があふれている。
(私には、氾濫しているように思えるが…)

電子媒体、紙媒体などで簡単に色んな情報が得られる便利な時代となった。
京都私立病院協会会報は創立以来毎月発行されており、当協会も50周年を迎える。
今迄、協会事業の紹介、会員施設の情報、医療情報等の広報を行ってきた。
今後、ますます多岐にわたる協会事業などを的確に広報していきたい。

(幹事 近藤泰正)

京都私立病院報

『京都私立病院報』（私病報）は1964（昭和39）年11月15日に第1号が創刊されて以来、当協会の基幹広報誌として役割を果たしている。定期号は毎月1回、1日付で発行しているほか、新年特別号、総会号などを臨時に増刊しており、2015（平成27）年3月31日現在で発行回数は633号を数える。

内容は当協会の活動を中心に、医療・介護に関するニュース、私的病院をとりまく重要事項、各種講演会・委員会の報告、会員職員からの投稿記事・絵画作品・写真、会員の消息などを掲載しており、会員間のコミュニケーションを図る場にもなっている。

2010（平成22）年～2014（平成26）年は多くの新規事業の詳細や報告を掲載したほか、2011（平成23）年は東日本大震災に関する当協会の取り組みとご協力のお願ひ、経過を誌面で報告した。また、2013（平成25）年には一般社団法人への移行について周知した。

編集には、担当副会長のほか、事務長会・看護部長会からの委員で構成される「私病報編集委員会」があたり、編集会議を毎月開催している。

現在の発行部数は2,350部であり、会員施設には病床規模に応じた冊数を送付している（購読料は会費に含まれている）ほか、行政、関係諸団体、購読希望者に販売している。

毎月1日発行 2,350部

A4版 約40～70頁 第三種郵便物認可
(1983年9月5日～2011年1月1日)

私病協ホームページ

当協会の活動や会員の情報を広く紹介するとともに、会員に医療・介護に関する通知や情報などをタイムリーに提供するとともに、当協会や会員の活動を広く紹介するため、1999（平成11）年12月にホームページを開設している。

ホームページは、協会の事業紹介・催しの案内、会員施設の紹介、医療・介護に関する新着情報や行政からの通知、診療報酬・介護報酬改定情報、求職・求人情報等、多岐にわたる内容で構成している。

2007（平成19）年11月に全面リニューアルを行った後、更なる内容の充実を図り、スマートフォンやタブレット端末にも対応したホームページを実現すべく、2014（平成26）年9月に全面リニューアルを行った。協会事業をより分かりやすく詳しく紹介し、府民向けのページも新たに加え、協会と会員の認知度の向上を図っている。協会のFacebookページも同時に開設した。

京都私立病院協会ホームページ

<http://khosp.or.jp>



京都私立病院報



京都私立病院協会Facebookページ



京都私立病院協会ホームページ

ファックス・メール通信

当協会では、ファクシミリの専用回線を有しており、全会員に同報送信できるファックス通信網を敷いている。2010（平成22）年度からは、より迅速に情報発信するため、各種研修会や調査、行政からの通知文書、緊急の案件等の伝達を郵送からファックス送信に切り替え、より迅速な伝達と情報発信を図っている。なお、ファックス番号は協会事務局移転時に変更している。

協会専用のメールアドレスも有しており、会員施設との連絡調整やデータ提出が必要な調査票等はE-mailを活用している。

京都私立病院協会事務局ファックス番号
075-354-8802

京都私立病院協会事務局メールアドレス
info@khosp.or.jp

4 病院職員の確保対策

医療費抑制政策によって医療制度は次々に変更され、それに伴って看護師を中心とした医療従事者の確保が困難な状況が深刻になってきている今日であるが、当協会に於いては関係団体の京都保健衛生専門学校と京都中央看護保健大学校で質の高い人材の育成に努めている。特に看護師のみならず臨床検査技師や臨床工学技士の養成は会員病院の医療の質の向上に寄与しているものと確信している。

無料職業紹介メディワークセンター事業では年間10人前後の就職者を確保しているが十分に機能しているとは言いがたい状況が続いている。2012（平成24）年度からは京都府の看護人材確保支援事業及び「きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム」の運営事務を請けもち、「つながりネット」を退職看護師の登録制度として立ち上げ看護師の再就業をバックアップしている。2015年3月31日時点で登録者数は456人でそのうち127人が再就業を果たした。

2015（平成27）年1月には京都府によって「京都府医療勤務環境改善支援センター」が設置され、当協会が運営を受託した。近年私立病院の勤務環境は大きく改善されつつあるがさらによくなるのが離職の防止に繋がり安定した職員確保が得られるようになることが期待される。

（副会長 富士原正人）

医療従事者の養成

1) 看護師の養成

昭和44年に堀川高等看護学院（現京都保健衛生専門学校の前身）の運営を開始し、昭和58年に京都中央看護専門学校を開校した。この間、両学校を卒業した数多くの看護師は、現在、会員施設の第一線で活躍しており、会員施設の看護の充実、技術の向上に寄与している。

京都保健衛生専門学校は従来より看護学科3年課程1クラス40名の定員で養成を行ってきた。京都中央看護保健専門学校は、平成23年度より運営法人を財団法人から学校法人に変更するとともに、平成24年4月より学校名を（専）京都中央看護保健大学校に改めた。平成19年度生から看護保健学科4年課程2クラス80名の定員で、四年制専門学校の特徴を活

かした教育を行ってきたが、保健師教育課程の教育機関延長による臨地実習単位増や保健センターでの実習受け入れの制限により現状の看護保健学科の教育の維持が困難となり、平成25年度より看護保健学科の定員を40名に半減し、新たに定員40名の4年課程の看護学科を設置し養成を行ってきた。

少子化と併せて高学歴を求める社会環境において、看護学部を設置する大学が増加したことで学校運営はさらに厳しい状況が続いている。両学校ともに看護専門学校の特徴を活かした質の高い教育の実践が求められている。

2) 臨床検査技師・臨床工学技士の養成

昭和48年4月、京都保健衛生学院として出発した臨床検査技師の養成は、夜間課程の第1期生31名の



メディワークセンター
イメージキャラクター

メディワークセンターホームページ (<http://khosp.or.jp/mwc/>)

入学でスタートしたが、昭和61年9月に昼間部を新設し、現在は昼間・夜間を併せて80名の定員で養成を行ってきた。

近年、経済不況により資格取得を目的とした受験生が増えつつあるが、夜間課程の受験生が減少するなど学生確保が課題となっている。働きながら国家資格取得が目指せることをアピールし、企業の学生奨学金制度も活用するなどの工夫をし学生確保を行ってきた。

臨床工学技士専攻科は定員24名と少数であるが、医用電気機器の保守点検、安全管理についての基礎知識、生命維持管理装置の操作、保守管理の基礎などの習得に重点をおいた教育を実践してきた。

両学科ともに、診療情報管理士、第2種ME技術者、健康食品管理士等の資格も取得できる特徴を活かしながら今後も質の高い教育が求められる。

無料職業紹介メディワークセンター事業

会員を中心に京都府内の医療機関の人材確保に寄

与することを目的に、1988（昭和63）年1月に厚生労働大臣の認可を受けて、医療従事者・社会福祉の職種を取扱う無料職業紹介所として求人者と求職者を繋ぐ役割を担っている。2010（平成22）年9月には「医療従事者無料職業紹介所」から「無料職業紹介メディワークセンター（以下、センター）」に名称を改めた。2012（平成24）年3月にはセンターのホームページの全面リニューアルを行った結果、求人者はWeb上で求人情報を公開でき、求職者はセンターへの登録により、Web上で求人情報の詳細の閲覧が可能となり、利便性の向上を図った。

センターは有料の人材紹介会社とは異なり、求人者にも紹介手数料は一切不要であることから、会員の期待は大きい。紹介事業の活性化にはセンターがさらに広く認知される必要があり、就職フェアでのブース設置や交通機関への広告等の広報活動にも取り組んでいる。

2012（平成24）年からは京都府からの看護人材確保支援事業の委託を受け、退職看護職の登録制度「つながりネット」（詳細別記）を構築し、介護・福祉



京都府医療勤務環境改善
支援センター開所式



京都府医療勤務環境改善支援センター内



京都府医療勤務環境改善
支援センターパンフレット



京都医療労務管理
相談コーナーパンフレット

の人材確保・定着に取り組む「きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム」(運営事務：当協会・2012(平成24)年～)の参画団体の協力を得て登録を推進しており、再就業を希望する看護職はセンターが引き継いで紹介するなど、各種事業との関連性を持ってセンターを運営している。

◆2010(平成22)年度～

2014(平成26)年度(5年間)の実績

| | | |
|--------------|---------|---------|
| 2010(平成22)年度 | 紹介件数36件 | 就職者数14件 |
| 2011(平成23)年度 | 紹介件数9件 | 就職者数7件 |
| 2012(平成24)年度 | 紹介件数8件 | 就職者数5件 |
| 2013(平成25)年度 | 紹介件数18件 | 就職者数10件 |
| 2014(平成26)年度 | 紹介件数16件 | 就職者数12件 |

◆メディワークセンター事業運営委員会

担当役員及び事務長会、看護部長会からの委員、事務局紹介責任者で運営委員会を構成している。また、当協会の職能別組織からは運営協力委員として協力を得て、職種別の需給状況や確保対策を意見交換しながらセンターの事業展開を企画・検討している。

◆医療職・介護職の人材確保のための連携

オムロンパーソネル(株)との合同求職登録会及び看護職復職支援セミナーの開催

2010(平成22)年10月7日 私病協会議室

2011(平成23)年10月7日 同上

きょうと介護・福祉ジョブネットへの役員派遣(2009(平成21)年度～)

京都府介護福祉士資格取得支援講座受講者の推

薦(2011(平成23)年度～2013(平成25)年度)(会員及び会員関連事業所)累計110名推薦、104名受験、70名合格(合格率67.3%)

京都労働局等主催「福祉職場就職フェア」での求職登録受付・就職相談対応(同フェアの看護職及び介護職セミナーへの講師派遣も一部含む)

| | |
|----------------|--------|
| 2010(平成22)年6月 | みやこめっせ |
| 2011(平成23)年5月 | 同上 |
| 2011(平成23)年11月 | 同上 |
| 2012(平成24)年2月 | 同上 |
| 2012(平成24)年5月 | 同上 |
| 2012(平成24)年11月 | 同上 |
| 2013(平成25)年2月 | 同上 |
| 2013(平成25)年6月 | 同上 |
| 2014(平成26)年2月 | 同上 |
| 2014(平成26)年11月 | 京都産業会館 |

京都府医療勤務環境改善支援センター

2014(平成26)年6月に成立した医療法改正により、医療機関の管理者が勤務環境改善の措置を講じることが求められ、都道府県でこれを促進するための拠点機能をもつ医療勤務環境改善支援センターの設置が義務付けられた。

これに伴い、京都府は平成27年1月に「京都府医療勤務環境改善支援センター」(以下、「センター」)を設置し、当協会がセンターの運営を受託した。センターは京都私立病院協会事務局の向かい側に設置し、同月に京都府及びセンター長である当協会長が記者発表を行って府内医療機関に広報した。センターの業務内容は、勤務環境改善に取り組む医療機関



看護職つながりネットホームページ (<http://khosp.or.jp/t-net/>)

への個別支援・相談対応、研修会の実施、普及啓発活動等である。

2014（平成26）年度は、病院事務長経験者を個別支援・相談対応を行う勤務改善推進員に任命し、平成27年度の本格実施に向けて府内病院を個別訪問し、勤務環境改善に取り組んでいる現状や課題、センターへの要望等の聞き取り調査を実施した。

また、2014（平成26）年4月より京都労働局の委託により京都府社会保険労務士会が行っていた医療労務管理相談コーナーが、センター開設とともにセンター内に移設され、社会保険労務士資格者による相談業務が行われているが、2015（平成27）年度からは上記医療労務管理相談コーナーがセンターの運営主体である当協会に委託され、これも引き継いで京都府内の医療機関の勤務改善をサポートしていくこととしている。

◆主な活動

- ・京都府医療勤務改善支援センターの開設(場所：京都私立病院協会事務局向かい側)

- ・清水鴻一郎会長及び山口寛士京都府健康福祉部長による記者発表 1月29日
- ・病院への個別訪問による勤務環境改善の現状・課題等の聞き取り調査 3件

看護人材確保支援事業

看護職不足のひとつの要因となっている看護職員の潜在化に対し、京都府では現場を退職した看護職員の早期復帰を推進することにより就業看護職員を確保すべく、2012（平成24）年度に「看護人材確保支援事業」が策定され、当協会が事業運営を受託した。

看護現場を退職する看護職員及び未就業の看護職員に対する登録制度の構築・普及、登録看護職員に対する支援、支援により就業意欲が高まった看護職を無料職業紹介機関に繋げるなど、看護職へのサポートをしながら早期復職を支援する「京都府看護職復職支援・キャリアサポート つながりネット（以下、つながりネット）」を推進している。



看護職つながりネットセミナー



看護職つながりネット交流会

また、2009（平成21）年度より介護・福祉の関係機関・団体が介護・福祉人材の確保・定着に取り組んでいる「きょうと介護・福祉ジョブネット」の看護職確保プロジェクトチームの運営事務も2012（平成24）年度より京都府から受託しており、ジョブネットに参画する医療・介護・福祉の各団体、行政が協働してつながりネットの登録推進・再就業支援に取り組み、オール京都体制での看護職確保に取り組んでいる。

その結果、2015（平成27）年3月31日時点で456名の看護職が登録し、そのうち127名が再就業を果たした。

◆主な活動

2012(平成24)年度

- ・専従の就業支援コーディネーターを配置し、関係団体、関係施設へのつながりネットの周知活動、登録看護職の現状把握、相談対応、就業支援等を行った。（各年度同様）
- ・退職看護職の登録、再就業支援のための各種情報発信を行う携帯端末版ポータルサイトの開設・運用
- ・登録推進リーフレット・ポスター・ステッカーの作成
- ・登録看護職の再就業に係るアンケート調査の実施及び課題分析（各年度同様）
- ・登録看護職へのメルマガ配信（各年度同様）
- ・医療・介護・福祉の見学機会の提供（各年度同様）
- ・医療・介護・福祉現場への訪問取材、サイト上での魅力発信
- ・医療・介護・福祉関係団体・事業者が実施する

再就業支援研修の情報提供

- ・看護職再就業支援講習標準プログラムの作成（病院、高齢者施設、障害者施設）
- ・無料職業紹介機関（メディワークセンター・京都府ナースセンター・福祉人材研修センター）との連携（各年度同様）
- ・登録看護職に対するセミナー・交流会の開催

第1回 2012(平成24)年9月21日

テーマ／「看護職のためのスキンケア」

講師／川戸美智子（嵯峨野病院 教育・研修担当師長）

第2回 2012(平成24)年10月25日

テーマ／「同僚、上司、気になるあの人がわかる～自分を知り他人を知る カラーコミュニケーション～」

講師／川口洋美（色彩コンサルタント）

第3回 2012(平成24)年11月8日

テーマ／第1部「日常生活で生きる看護のスキル」

第2部「看護現場からのメッセージ」

第3部「ナースのおしゃべり広場～現役ナースから聞く働き方のコツ～」

講師／第1部 川戸美智子（嵯峨野病院教育・研修担当師長）

発表者／第2部 相坂利香（特別養護老人ホーム 修道洛東園看護師）

江藤美佐子（総合ケアステーションわかば（訪問看護）看護師）

森田友子（障害者支援施設かしのき看護師）

※「福祉職場就職フェア京都2012」の併催イベント「医療職フェア京都2012」の看護職対象イベントとして実施。

第4回 2012(平成24)年12月11日

テーマ／「季節の羊毛フェルト～クリスマス編～」

講師／後藤多佳子(羊毛フェルト講師)

第5回 2013(平成25)年1月28日

テーマ／「アロマセラピーの楽しみ方」

講師／齋藤国子(稻荷山病院看護師長)

第6回 2013(平成25)年2月28日

テーマ／「笑顔を磨く表情筋レッスン」

講師／山本春美(表情筋トレーナー)

第7回 2013(平成25)年3月13日

テーマ／「ストレスとうまくつきあっていますか?～こころのセルフケアを考えましょう～」

講師／片桐陽子(栄仁会京都駅前メンタルクリニック復職トレーニング専門デイケアバックアップセンター・きょうとセンター長・臨床心理士)

2013(平成25)年度

- ・退職看護職の登録、再就業支援のための各種情報発信を行うパソコン版サイトの構築・運用
- ・退職後子育て中の未就業看護職を主とした登録推進チラシの作成・戸別配布
- ・登録看護職対象セミナー・交流会、職場見学の開催

第8回 2013(平成25)年4月25日

テーマ／「若々しいBODYを保つための秘訣」

講師／弓戸貴子(株式会社ワコール総合企画室広報・宣伝部 宣伝企画課)

第9回 2013(平成25)年5月16日

テーマ／「色づかいでわかる、楽しいカラー読心術」

講師／川口洋美(中小企業診断士・色彩コンサルタント)

第10回 2013(平成25)年6月12日

テーマ／「コーチング～あなたを変える魔法の授業～」

講師／栗栖佳子(株式会社宙 代表取締役・ビジネスコーチ・キャリアカウンセラー)

第11回 2013(平成25)年7月19日

テーマ／「ヨガ～心のやすらぎ・体の気づき…心と体のバランスを調べよう～」

講師／藤本めぐみ(ライフヨガFujimoto 代表)

第12回 2013(平成25)年8月22日

テーマ／「看護現場見学ツアー」

見学先／①医仁会武田総合病院
②白寿(介護老人保健施設・通所リハビリテーション・おもいやり訪問看護ステーション)

第13回 2013(平成25)年9月25日

テーマ／「看護職のためのスキンケア～それって本当?!～」

講師／川戸美智子(一般財団法人仁風会財団本部 教育・研修師長)

第14回 2013(平成25)年10月17日

テーマ／「看護現場見学ツアー」

見学先／特別養護老人ホーム西陣憩いの郷

第15回 2013(平成25)年10月22日

テーマ／「手芸を楽しむ～かわいいハンドタオル～」

講師／吉田乃里子（武田病院グループ本部看護部人材センター看護職確保対策室長）

第16回 2013(平成25)年11月21日

テーマ／「朗読の魅力…声をだして文章を読んでみよう」

講師／三好 仁（元KBS 京都アナウンサー）

第17回 2013(平成25)年12月12日

テーマ／「ストレスとリラクゼーション～心と体はつながっています～」

講師／長南由香（桃仁会病院看護部副部長・ストレスカウンセラー）

第18回 2014(平成26)年1月14日

テーマ／「アロマセラピー～冬の美容と健康に活用しましょう！～」

講師／齋藤国子（稲荷山武田病院看護部長）

第19回 2014(平成26)年2月11日

テーマ／第1部「日常生活で生きる看護のスキル～難しく考えない認知症～」
第2部「看護現場からのメッセージ」
第3部「ナースのおしゃべり広場～現役ナースから聞く働き方のコツ～」

講師／第1部 川戸美智子（一般財団法人仁風会 財団本部 教育・研修師長）

発表者／第2部

小規模多機能型居宅介護

安藤由美子（医療法人啓信会介護事業部部長・看護師）

グループホーム

平尾智子（医療法人栄仁会栄仁会グループホームおおわだの郷看護師）

訪問看護から

坂本まさみ（医療法人稲門会稲門会

訪問看護ステーションいなほ訪問看護師）

障害者施設から

三野久美子（社会福祉法人乙訓福祉会障害者地域活動センター乙訓楽苑看護師）

※「福祉職場就職フェア京都2013」の併催イベント「医療職フェア京都2013」の看護職対象イベントとして実施。

第20回 2014(平成26)年3月27日

テーマ／「家計簿診断～これからの生活設計～」

講師／山下 弓（ライフプランニング・DUO ファイナンシャルプランナー）

2014(平成26)年度

・登録看護職対象セミナー・交流会、職場見学の開催

第21回 2014(平成26)年4月22日

テーマ／「アトピー性皮膚炎のスキンケアと生活指導」

講師／田原弘子（高雄病院療養病棟看護師長）

第22回 2014(平成26)年5月21日

テーマ／「美人になる色のマジック・自分に似合う色を見つける」

講師／岩崎裕美子（セルフイメージコンサルタント 色&香りインストラクター）

第23回 2014(平成26)年6月11日

テーマ／「職場見学ツアー・介護老人保健施設」

講師／松本よしえ（介護老人保健施設醍醐の里看護部長）

第24回 2014(平成26)年7月3日

テーマ／「子育てや職場で活かせるコーチングを学ぶ」

- 講師／栗栖佳子（株式会社宙 代表取締役・ビジネスコーチ）
- 第25回 2014(平成26)年8月28日
 テーマ／「医療をめぐる変化と看護の動向」
 講師／諫山富恵（京都府健康福祉部医療課 医務・看護担当課長）
- 第26回 2014(平成26)年9月18日
 テーマ／「職場見学ツアー・障がい者施設」
 講師／赤井和子（京都市大原野の杜 施設長）
- 第27回 2014(平成26)年10月24日
 テーマ／「職場見学ツアー・病院／緩和ケア病棟」
 講師／齋藤国子（稲荷山武田病院 看護部長）
- 第28回 2014(平成26)年11月9日
 全体テーマ／「看護職の活躍の場の広がり・やりがい～ずっとつながる看護のココロ～」
- 第1部「看護の魅力は果てしない～教育の現場から～」
 講師／奥田のり美（洛和会京都厚生学校 副学校長）
- 第2部「看護現場からのメッセージ」
 発表者／小石園代（介護老人福祉施設にしがも 舟山庵）
 山口恵三子（介護老人保健施設醍醐の里）
 石川美登子（洛和会介護事業部訪問看護統括）
- 第3部「ナースのおしゃべり広場」
- ※「福祉職場就職フェア京都2014」の併催イベント「医療職フェア京都2014」の看護職対象イベントとして実施。

- 第29回 2014(平成26)年12月2日
 テーマ／「睡眠学・睡眠と脳の関係」
 講師／片山由美（宇治川病院看護部長）
- 第30回 2015(平成27)年1月19日
 テーマ／「看護と日常生活に活かせる感染管理の基本」
 講師／大西尚子（男山病院副看護部長・感染管理認定看護師）
- 第31回 2015(平成27)年2月10日
 テーマ／「褥そう対策の変化とスキンケアの重要性」
 講師／中本深雪（医仁会武田総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）
- 第32回 2015(平成27)年3月9日
 テーマ／「腰痛予防対策について」
 講師／加納莊市郎（京都大原記念病院理学療法士）

京都市離職看護師能力再開発事業

離職看護師の再就業を支援して京都市内の医療機関の看護師確保に資するため、京都市は2011（平成23）年度に病院が実施した研修に要する経費の一部を補助する「離職看護師能力再開発事業」を策定した。

実施にあたり、当協会看護部長会総務委員会にて、医療機関の選定基準、助成対象とする研修内容・報告書の様式について検討し意見を述べた。

また、初年度には各会員病院における離職看護師の復帰支援のための研修の取組状況を把握するために市内会員施設に調査を実施し、結果を京都市に提出した。

こうして2011（平成23）年度から事業実施を当協会が受託し、離職看護師能力再開発研修を実施した市内会員施設における離職看護師の再就業への取り組みの支援に努めた。

看護職員の資格を持ちながら仕事に就いていない離職看護師の数は、厚生労働省によると全国で約60万人以上いると予想されている。子育てや家事との両立が難しい、ブランクがあり不安、看護内容や労働時間への不満など、看護師として働いていない理由はさまざまだと予想されるが、近年ワークライフバランスの充実に取り組む病院もあり、離職看護師の再就業が期待されている。

◆事業実績

| | |
|------------------|-----|
| 2011(平成23)年度対象施設 | 9施設 |
| 2012(平成24)年度対象施設 | 5施設 |
| 2013(平成25)年度対象施設 | 5施設 |
| 2014(平成26)年度対象施設 | 6施設 |

5 医療・介護関係団体との交流・連携

少子高齢化に伴う医療費抑制政策のもと、消費税増税による負担増、原発停止による光熱費の負担増加など、病院経営は年々厳しくなっている。京都私立病院協会は、民間病院の抱える問題点を提言や改善するために、中央の病院団体（四病院団体協議会、日本病院団体協議会、日本慢性期医療協会など）への役員派遣、近畿病院団体連合会での委員会参加などを行ってきた。また、全日本病院協会と日本医療法人協会においては、当協会の事務局が京都支部となって中央の情報・動向を迅速に会員病院に提供している。

京都府、京都市をはじめとする行政とも密に連携をはかり、各種委員会に委員を派遣して民間病院としての意見や提言を行い、地域医療や公衆衛生の向上に取り組んできた。

また、医療介護総合確保法によって2025年に向けて目指すべき医療提供体制を地域医療ビジョンとして策定するために、京都府、京都府医師会、京都府病院協会など、関係団体と情報交換を行って行く必要がある。このため、京都府病院協会と定期的な懇談会の回数を増やして開催してきており、今後、京都府内における病院の医療提供体制について、京都府や京都府医師会に提言・要望を行っていく。

(副会長 武田隆久)

近畿病院団体連合会

近畿病院団体連合会は近畿2府4県の病院団体で構成しており、1977（昭和52）年10月22日に第1回目が開催されて以降、今日に至っている。

近畿の病院団体が一堂に会して社会保障制度改革や消費税問題をはじめ病院に関わる諸問題を協議し、とりわけ改善・見直しが必要な課題は団結して要望等の行動を展開している。また、各々の団体での取組や各府県での状況について提供される情報を各々の活動に活用している。

近畿病院団体連合会は中核となる委員会とこれをサポートする事務長会からなり、委員会は年1回、事務長会は2年を1期とし、各府県が持ち回りで運営している。

◆委員会の主な活動

- ◆2010(平成22)年度 主務/滋賀県病院協会
第1回 7月2日 琵琶湖ホテル

主な議題：

- ・平成22年度診療報酬改定の影響について
- ・診療報酬改定に係る施設基準取得の問題点について
- ・地域医療再生交付金に関し、近畿の各府県における交付金の使途
- ・「傷病者の搬送及び受け入れの実施に関する基準」の各府県の策定状況について
- ・「保険診療に係る消費税非課税制度の是正を求める訴訟の提起」に係る支援について
- ・「社会保険診療報酬に係る消費税の損税制度を正常課税制度に改めることを求める要望」の提出について
- ・各府県医師会と病院協会の連携状況について
- ・レセプトオンライン請求における振込額明細データ提供について

講演：「超高齢化社会の到来と医療政策の展望について」



近畿病院団体連合会委員会



近畿病院団体連合会委員会

辻 哲夫（東京大学高齢社会総合研究機構教授）

第2回 2月18日 大津プリンスホテル

主な議題：

- ・地域包括ケアに対する各府県の対応について
- ・医療従事者の資格免許証の交付に関する要望について
- ・地域医療支援センターの各府県の状況
- ・公益法人化移行についての各協会の取り組みについて
- ・消費税是正訴訟について
- ・和歌山県における民間病院への支援について
- ・「看護師の「雇用の質」の向上に関する省内プロジェクトチーム」設置への反対について

講演：「数奇な運命をたくましく生きた浅井三姉妹の歴史上果たした役割」

畑 裕子（小説家）

◆2011(平成23)年度 主務／京都私立病院協会

第1回 7月9日 ホテルグランヴィア京都

主な議題：

- ・看護基準の月平均夜勤72時間規制について
- ・看護要員を算出する際の勤務時間の取扱いについて
- ・療養病床の看護職員・介護職員の人員配置標準について
- ・保険診療に係る消費税非課税制度の是正について
- ・看護師等の「雇用の質」の向上のための取

り組みについて

- ・EPAによるインドネシア人・フィリピン人看護師候補生の日本国国家試験について
- ・私的二次救急医療機関への助成に係る特別交付税について

講演：「放射線の健康影響と安全管理について－福島原子力発電所の事故を中心に－」

高橋千太郎（京都大学原子炉実験所副所長兼 安全管理本部長）

第2回 2月24日 ホテルグランヴィア京都

主な議題：

- ・社会保険診療報酬に係る消費税問題について
- ・特定看護師の法制化について
- ・大規模災害における各府県の医療対策について
- ・地域医療支援センターの各府県の取り組み状況について
- ・二次救急医療機関への助成に係わる特別交付税措置の行方について

講演：「文明論と宇宙太陽発電所」

松本 紘（京都大学総長）

◆2012(平成24)年度 主務／大阪府私立病院協会

第1回 7月31日 ホテルグランヴィア大阪

主な議題：

- ・今夏における節電対策及び計画停電への対応について
- ・災害時等における相互支援について
- ・看護人材確保支援事業について－退職看護職登録制度－
- ・消費税訴訟の経過報告について
- ・平成24年度診療報酬改定影響度調査につ



近畿病院団体連合会委員会

いて

講演：「社会保障と税の一体改革」

梅村 聡（参議院議員）

第2回 3月19日 大阪新阪急ホテル

主な議題：

- ・滋賀県における死亡時画像診断（Ai）に関する実態調査結果をふまえて
- ・TPP と医療について
- ・入院基本料の見直しについて
- ・社会保障・税の一体改革に関する検討ポイント
- ・看護人材確保支援事業について－退職看護職登録制度－
- ・消費税訴訟の経過報告について
- ・奈良県立奈良病院産科時間外勤務手当等請求事件について

講演：「これからの時代を見据えた相澤病院の経営戦略」

相澤孝夫（社会医療法人慈泉会相澤病院理事長）

◆2013(平成25)年度 主務／大阪府私立病院協会

第1回 7月30日 ホテルオークラ神戸

主な議題：

- ・医療の国際化について
- ・主治医制と勤務医の労働環境について
- ・医療事故に係る調査の仕組み等に関する基本的なあり方について
- ・電気料金の値上げについて
- ・医療消費税訴訟の経緯について

講演：「メディカル・イノベーションと神戸クラスター」

井村裕夫（公益財団法人先端医療振興財団

理事長）

第2回 3月11日 ホテルオークラ神戸

主な議題：

- ・平成26年度診療報酬改定の総括について
- ・各府県における「在宅医療・介護の連携体制」の状況について
- ・福知山市花火大会事故における医療連携について
- ・民間病院における医師確保対策について
- ・ペーパーレス会議の実施について
- ・医師・看護師の斡旋業に対するの意見について

講演：「2014年度診療報酬改定の概要と中央社会保険医療協議会での取り組み」

西澤寛俊（公益社団法人全日本病院協会会長）

◆2014(平成26)年度 主務／和歌山県病院協会

第1回 7月25日 ダイワロイネットホテル和歌山

主な議題：

- ・控除対象外消費税問題への対応について
- ・病床機能報告制度と地域医療ビジョンへの対応について
- ・医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度（基金）について

講演：「医療法改正をふまえて」

奈倉道明（厚生労働省医政局地域医療計画課在宅医療推進室及び地域医療構想策定支援室室長補佐）

第2回 2月27日 ホテルアバローム紀の国

主な議題：

- ・病床機能報告と地域医療構想について
- ・医療勤務環境改善支援センターの設置状況



近畿病院団体連合会事務長会（会議） 近畿病院団体連合会事務長会（施設見学）

等について

- ・新基金への取組状況について

◆事務長会の主な活動

◆2010(平成22)年度 主務／京都私立病院協会

第1回 7月9日 京都ホテルオークラ

主な議題：

- ・平成22年度診療報酬改定による各府県の影響度について

講演：「医療政策の底流と政治」

信友浩一（福岡市医師会成人病センター院長）

第2回 3月11日 京都プライトンホテル

主な議題：

- ・コメディカル（分けても看護師）のアルバイトの現況について
- ・府県の二次救急医療体制の整備状況について
- ・身体合併症を有する精神疾患患者に対する救急対応について

講演：「社会保障としての医療」

鈴木康裕（厚生労働省保険局医療課長）

◆2011(平成23)年度 主務／兵庫県民間病院協会

第1回 9月2日 ANAクラウンプラザホテル神戸

主な議題：

- ・医療施設における今夏の節電対策について

講演：「松下幸之助…成功の発想と危機克服心得」

川越森雄（松下資料館顧問）

第2回 3月9日 ANAクラウンプラザホテル神戸

主な議題：

- ・診療報酬改定への取り組み状況について
- ・看護師の確保対策及び離職防止に係る各種

施策について

講演：「同時改定後の民間病院経営」

小山秀夫（兵庫県立大学大学院経営研究科教授）

◆2012(平成24)年度 主務／兵庫県民間病院協会

第1回 9月7日 ANAクラウンプラザホテル神戸

主な議題：

- ・平成24年度診療報酬改定による各府県の影響度について

講演：「医療政策の課題と社会保障制度のあり方」

梅村 聡（参議院議員）

第2回 3月8日 ANAクラウンプラザホテル神戸

主な議題：

- ・実費徴収の実態について
- ・医療のIT化の現状と今後の課題について

講演：「インパクト・コンパクト・パーフェクト」

樋渡啓祐（佐賀県武雄市長）

◆2013(平成25)年度 主務／大阪府私立病院協会

第1回 9月6日 ベルアンサンプル

主な内容：

- ・病院・関連施設（老健、有料老人ホーム等）の施設見学

第2回 3月6日 大阪新阪急ホテル

主な議題：

- ・平成26年度診療報酬改定の影響度について

講演：「最近の医療事情」

梅村 聡（日医総研客員研究員）

◆2014(平成26)年度 主務／大阪府私立病院協会

第1回 9月3日 多根総合病院

主な内容：

- ・施設見学

第2回 3月13日 大阪新阪急ホテル



京都府医師会との役員懇談会



京都府病院協会との役員懇談会

主な議題：

- ・介護報酬改定の影響度について

講演：「地域医療構想と病院再編～データを活用し、自院の経営を考える～」

今中雄一（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授）

中央における病院団体

2000（平成12）年7月に四病院団体協議会（四病協）が発足し、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会による全国組織の病院団体の連合体として、全国の病院の意見集約をし、国の医療政策等に対して積極的に意見・提言をおこなっており、対外的にもその存在が認知されている。当協会からは、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会に役員を派遣し、情報収集や意見具申をしている。

2005（平成17）年4月には、上記病院団体を含む11団体による日本病院団体協議会（日病協）が発足し、国への要望活動や調査・研究活動を中心に活発な活動を展開している。

2010（平成22）年度からは、全日本病院協会京都府支部及び日本医療法人協会京都支部の事務局を京都私立病院協会事務局が引き受け、情報の集約化を図った。2011（平成23）年度には、国の新成長戦略に基づき看護師等医療従事者の勤務環境の改善等を検討するため、京都府では京都労働局が看護師等の「雇用の質」の向上のための取組に係る企画委員会を設置し、2013（平成25）年度までそれぞれの団体から委員として役員を派遣した。

◆中央の病院団体への役員派遣（平成27年3月31日現在）

日本病院会

役員派遣／常任理事：武田隆久

代議員：清水 紘・久野成人

全日本病院協会

役員派遣／理事：清水 紘

京都府支部長：清水 紘

副支部長：久野成人・小森直之

日本医療法人協会

役員派遣／副会長：小森直之

理事：富士原正人

京都支部長：武田隆久

◆京都労働局 看護師等の「雇用の質」の向上のための取組に係る企画委員会への派遣

2011（平成23）年度～2013（平成25）年度

日本病院会からの派遣／武田隆久

全日本病院協会京都府支部からの派遣／

清水 紘

日本医療法人協会京都支部からの派遣／

富士原正人

京都における医療・介護関係団体

京都府医師会とは、医療介護に関わる様々な課題や諸問題について、日常より情報交換、意見交換を密にし、相互理解を図りながら協力・連携して活動をおこなっている。両会役員懇談会、病院長会議、京都府医療推進協議会等への参加や医師会の各委員会への委員派遣を通じて、共通の認識に立って課題解決を図るよう努めている。

京都府病院協会（府病協）とは、京都病院学会を年1回共同で開催している。年々演題数や参加者も増加しており、京都府内の病院の医療人が日頃の医療介護の実践や研究の成果を発表する場として定着している。また、京都市域二次病院群輪番体制では、府病協が土・日・祝の小児輪番、その他を当協会が担当し、両協会の病院が分担して休日・夜間等における救急患者への医療の確保に努めている。病院を取り巻く共通の課題には、役員懇談会を開催して協議し、協力して要望活動も行っている。

京都府慢性期医療協会とは、1998（平成10）年11月に京都介護療養型医療施設連絡協議会として設立された当初から2014（平成26）年3月に現在の協会名称に変更後も京都私立病院協会内に事務局を置き、互いに情報を共有しながら活動をおこなっている。療養病床の再編や介護保険に関わる諸問題は共同声明として国に要望書等を提出するほか、京都府の介護サービス第三者評価については、医療側として望まれる第三者評価のあり方を協力して提言するとともに、第三者評価調査者の養成にも力を入れている。医療と介護の連携についても共通した課題として取り組んでいる。

そのほか、医療職能団体や介護・福祉関連団体とも友好関係を結び、オール京都体制で京都の医療・介護の充実に貢献できるよう努めてきた。

京都私立病院協会関係団体

当協会には、京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学の2つの学校と京都府病院協同組合、京都府病院厚生年金基金の4つの関係団体がある。

それぞれの団体は、協会活動のなかから必然的に

生まれた組織であり、各団体には協会の会員が参加しており、5つの団体が十分連携をとりながら業務を進めていくことが重要であることから、これを念頭に置いた組織運営がなされている。

各団体の役員には私病協の執行部より役員派遣を行い、各団体の事務局責任者が私病協の役員会へ出席することにより相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。

また、5団体の職員の賃金及び労働条件については、人事評価制度を盛り込んだ独自の賃金体系を活用し、部分的には各団体の業態の違いからくる制約があるものの、基本的には共通体系で運用されている。

毎年、各団体の事務局責任者により月1回程度会議を開催し、人事評価制度の評価内容について問題点を抽出し、項目ごとに見直し作業を行うとともに各種規程についても制度変更に伴い改定作業を行っている。

5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦団体「銅の会」は事業所からの補助と職員の拠出金で運営されている。各団体より職員を派遣し、2年任期で共済会の役員を務め運営している。

6 行政・政党への対応

国は、近年の少子高齢化等の社会状況より「社会保障と税の一体改革」に取り組み、2013（平成25）年4月には消費税が5%から8%に引き上げられた。一方では医療費の削減として「医療から介護へ」「病院・施設より地域・在宅へ」が進められている。京都府では2010（平成22）年に「老後も安心して暮らせる地域包括ケアシステム推進プラン」を提起し、2011（平成23）年6月にオール京都体制で「京都地域包括ケア推進機構」を設立。当協会も参画し、各事業のプログラムに積極的に意見・提言を行ってきた。2014（平成26）年の病床機能報告制度においても情報収集を継続し、今後の地域医療構想には京都の民間病院を代表する団体として対応していかなければならない。京都府や京都市の予算編成に際しては、民間病院に必要な財政措置等について要望活動を行ってきた。

また、2013（平成25）年末より約1年、当協会会長が衆議院議員となり、民間病院が抱える様々な問題を、国政の場につなげた。

当協会は政党にこだわらず、京都府民の健康・医療を守ることに主眼をおき活動を行ってきた。

（副会長 久野成人）

行政への対応



京都府への予算要望

民間病院が府民により充実した医療、安心・安全な医療を提供するためには、医師・看護師等の人材確保や経営基盤の安定が不可欠であることから、行政に対しあらゆる機会を捉えて要望活動を行ってきた。



京都市への予算要望

毎年の京都府及び京都市の予算編成に際しては、公的・民間病院の隔たりなく、オール京都の体制で地域医療の安心と安全を守る必要を謳い、

民間病院に必要な財政措置等について要望活動を行ってきた。また府内を代表する民間病院の代表として京都府や京都市の審議会等さまざまな場で意見を述べるとともに、常に担当部局と話し合いや協議の場を持つことで、連携・協力体制を強化してきた。



京都市への予算要望



京都市自治記念日表彰

京都府・京都市からは多職種の医療・福祉専門職を擁する病院協会の特徴を活かした多くの事業を受託しており、会員施設の協力を得ながら京都府民・京都市民の健康増進、地域包括ケアの推進、医療従事者の確保・定着等に寄与できるよう努めている。

2012（平成24）年10月には、京都初の市民マラソン「京都マラソン2012」における医療救護医師の派遣等に対し、京都市自治記念日表彰を受賞した。

さらには、京都府・京都市のみならず、医療環境の変化とともに民間病院が直面する問題について厚生労働省をはじめその他の行政全般に対しても積極的に要望・提言などを行った。

当協会としては常に政党にこだわることなく、京都府民の医療を守ることに主眼をおき活動を行ってきた。



国会議員・専門家との医療政策懇談

政党への対応

従来より自民党の京都府議会議員で構成する京都府私立病院振興議員連盟に対しては、京都府の予算要望の際に同席いただき、民間病院が抱える諸問題に対して理解を求めてきた。

2013（平成25）年度には西田昌司参議院議員と控除対象外消費税問題やTPP問題について意見交換を行うなど、国政に対しても積極的に働きかけを行った。

また2013（平成25）年末から1年間、清水鴻一郎会長が衆議院議員となったことから、京都の民間病院が抱えるさまざまな諸問題をいち早く国会の場へつなげることができた。



京都府議会議長への予算要望



京都府私立病院振興議員連盟への予算要望

7 病院をめぐる医療制度の検討

2012（平成24）年8月、「社会保障と税の一体改革」関連法案が国会で成立し、団塊の世代700万人が75歳以上高齢者となる2025（平成37）年に向けての改革が進められることとなった。一体改革では病床機能を分化し、病床・在院日数を絞り込み、在宅医療や訪問看護、居住系施設の充実・拡大を図ることで対応する方向へと舵が切られた。特に高齢者は「地域包括ケアシステム」により、中学校区程の地域を対象として、そこに暮らす高齢者の在宅医療、在宅介護サービス、予防、生活支援等を様々な専門職の連携により支える仕組みづくりが進められることとなった。

そしてこれらを実現するべく、「医療介護総合確保推進法」が2014（平成26）年6月に成立し、数々の医療・介護分野の法改正や制度改正が行われた。その改正により病院にとって大きな影響があるのが、2014（平成26）年10月から始まった「病床機能報告制度」で、医療機関は病床機能の現状と今後の方向性を病棟単位で都道府県に報告するとともに、都道府県はその情報をもとに「地域医療ビジョン」を策定し、病床の機能分化が進められていくこととなった。

こうした中で会員施設では2025年及びそれ以降の将来も見通して地域の医療ニーズを把握し、自院で提供可能なサービス資源を踏まえて機能と専門性をより明確にしていく必要がある。また、地域医療構想と整合した医療費適正化計画により、医療費水準の目標も定められることとなっており、病院経営に重大な影響を及ぼすこととなる。当協会では迅速に動向や情報を把握し、京都府内の充実した医療提供体制を維持するべく、地域医療構想の策定に積極的に関与していく。

（副会長 武田隆久）

病院医療制度検討委員会

団塊の世代が後期高齢者となる2025年の医療提供体制、地域包括ケアシステムの構築に向けた病床機能の分化・再編や社会経済情勢の変化により、病院運営は極めて厳しい状況に置かれている中、その動向と地域の医療ニーズを的確に把握し、自らの病院が提供可能なサービス資源を考えていくことが一層求められている。

当委員会では、協会執行部から検討を委託された問題や医療を取り巻く時事問題に対し、会員や京都府民への影響を検討し、必要に応じて国会議員や専門家も招き、あるべき方策等を検討するほか、医療・

介護制度に関する国の動向や情報は会報誌（京都私立病院報）でニュース記事として会員に提供した。

◆主な検討テーマ

看護師を取り巻く諸問題、診療報酬・介護報酬改定、療養病床再編、地域医療再生計画、医師臨床研修制度、未収金の保険者徴収の実施基準改正、新薬創出加等促進加算と医薬品の納入価格、控除対象外消費税*、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定*、社会保障と税の一体改革、地域包括ケア、地域医療構想、病床機能報告制度

*2013（平成25）年5月28日 西田昌司参議院議員・船本智睦税理士も交えて開催

8 医療保険制度への対応

医療保険制度を取り巻く環境は安倍政権の復活と共に大変に厳しい状況になってきている。財政再建は社会保障費を削ればすべて達成されると考えている人たちが大合唱を繰り返すなかで、我々に何ができるのか甚だ心細い現実である。そんな中で当協会では診療報酬委員会を中心に診療報酬改定毎に要望書を取り纏め厚生労働大臣に提出している。2010年の要望書では基本的要望事項と具体的要望事項にわけて、より分かりやすいように工夫した。

又、施設基準等に関する相談・情報提供や適時調査に関する情報収集などによって無用なトラブルや損害を被らないように日常から努力している。

(副会長 富士原正人)

医療保険をとりまく情勢

当協会では会員施設が施設基準を適切に管理・運用することで、病院機能の強化および患者サービスなどに支障を来さぬよう、調査のあった施設から積極的に情報を集約し、会員に新しい情報を発信するようにしている。

近年、施設基準はその種類や算定要件が改定の度、複雑多様化し、かつ改定後にもその解釈が変更されるケースが多く見受けられる。それに加えて、届け出た施設基準に対して行われる適時調査も施設基準に定められた要件に沿って細部にわたりチェックされる。

こうした状況の中、当協会は2010（平成22）年度以降も、医療保険制度への対応を重要事項として位置づけ、会員施設における施設基準の運用が円滑にできるよう努めている。会員からの相談の随時受け付け、届出前のチェックとアドバイス、近畿厚生局や京都府等の関係部局との調整、調査後の改善報告書作成への協力などを行っている。

診療報酬改定は、増大する社会保障費の抑制を理由に実質的にはマイナス改定が続き、とりわけ民間・

中小病院の経営は益々厳しい状況となっている。今後は地域の医療需要や病院機能に合った施設基準を選択することが病院経営での重要な条件となってくる。施設基準が病院経営に直結することから、当協会では全ての会員に、医療保険全般にわたる効果的なアドバイスと有益な情報提供に努めている。

《医療保険に関する主な事業》

- ・事務長会保険部会
- ・診療報酬委員会
- ・診療報酬全般に係る相談
- ・診療報酬全般に関する情報提供
- ・実施状況報告書（月報）の点検
- ・生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立ち合い

医療保険をめぐる日常活動

1 施設基準等に関する相談・情報提供

会員が届出た施設基準等について、届出後の施設基準の日常管理における問題や疑義に対して助言・指導を行っている。また、診療報酬に関連する通知及び変更事項等の最新情報を入手し、協会のホームページ・FAX通信等で会員に情報発信している。

2 適時調査に関する情報収集

近畿厚生局が施設基準の届出を行った医療機関を対象として施設基準が適切に運用されているかの確認を目的に実施される適時調査に対応するべく、当協会では会員施設で行われた適時調査の内容・結果を取りまとめるなどの情報収集に努め、その情報提供により、会員病院における施設基準の適切な管理・運用を支援している。

3 生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立ち会い

2010（平成22）年度以降の5年間も京都府・京都市が実施する生活保護指定医療機関への個別指導の立ち会いにオブザーバーとして同席している。医師による立ち会いは府医または地区医師会担当理事が行い、当協会会員病院の調査には全て事務局担当者が立ち会っている。

診療報酬委員会

当委員会は組織変更に伴い2009（平成21）年6月に医療事務専門委員会と合併し、医療保険に関わる案件を取り扱っている。

当委員会の主な活動として医療保険に関する情報の収集及び会員への情報提供、医療事務専門委員会議から引き継いだ医療事務勉強会の運営、さらには行政及び関係諸機関への要望活動等を行っている。

2010（平成22）年、2012（平成24）年に実施された診療報酬改定後では会員施設における影響度調査を行い、その結果を分析して次期改定への要望として厚生労働大臣に提出している。

また、毎年参加者から好評である医療事務勉強会を開催する等、会員施設の医事請求担当者の資質向上にも努めた。

2014（平成26）年10月からは、各医療機関が自院の病床の現状と今後の方向性について国に報告する病床機能報告制度が始まり、これとレセプト情報等のナショナルデータベースを基に都道府県ごとに各々の地域にあった地域医療ビジョンの策定に向けて協議が開始される。今後、会員施設は地域における自施設の立ち位置を見極め、それに見合った病院経営に取り組んでいくことが求められる。当協会では2015（平成27）年4月には介護報酬改定、2016（平成28）年には診療報酬改定、そして2018（平成30）年には診療報酬・介護報酬の同時改定が控えており、その対策も含め、各方面への情報収集活動に一層努め有益な情報を提供していくこととしている。

◆主な活動

2010（平成22）年

- ・平成22年度診療報酬改定における影響度アンケート調査の実施
- ・医療事務担当者研修会の開催
6月29日 京都府医師会館
- ・平成22年度医療事務勉強会の開催



京都市傷病届等提出
勧奨事業パンフレット

10月21日～22日 琵琶湖グランドホテル

2011(平成23)年

- ・平成23年度医療事務勉強会の開催
10月20日～21日 京都・烟河

2012(平成24)年

- ・平成24年度診療報酬改定における影響度アンケート調査の実施
- ・医療事務担当者研修会の開催
6月22日 キャンパスプラザ京都
- ・平成24年度医療事務勉強会の開催
10月18日～19日 京都・烟河

2013(平成25)年

- ・平成26年度診療報酬改定に係る要望書の提出
- ・平成25年度医療事務勉強会の開催
10月17日～18日 京都・烟河

2014(平成26)年

- ・平成26年度医療事務勉強会の開催
10月16日～17日 京都・烟河

る傷病届等の提出勧奨事業を会員病院の協力により実施した。その後、実施方法の改善により、現状の求償実績を維持できるとの判断により、2014(平成26)年を以て、見直しされることとなった。

◆事業実績

| | | |
|--------------|--------|--------|
| 2010(平成22)年度 | 協力35病院 | 届出実績3件 |
| 2011(平成23)年度 | 協力26病院 | 届出実績7件 |
| 2012(平成24)年度 | 協力23病院 | 届出実績3件 |
| 2013(平成25)年度 | 協力35病院 | 届出実績8件 |
| 2014(平成26)年度 | 協力31病院 | 届出実績6件 |

京都市傷病届等提出勧奨事業

国民健康保険の加入者が、交通事故などで他人(第三者)に怪我をさせられた場合、自らの健康保険を使用して治療を受けることがある。その際、保険者(京都市)が支払った治療費を加害者に請求する(第三者行為損害賠償請求事務)ことになり、現状ではレセプトが保険者(京都市)に提出されてから加害者もしくは損害保険会社との交渉になるため、実際の当該事例の件数に対して請求件数が少数に留まっている。こうした状況において、2010(平成22)年10月から当協会が京都市より事務委託を受けて国民健康保険における第三者行為損害賠償請求事務に係

9 介護保険制度への対応

2012（平成24）年度と2015（平成27）年度の介護報酬改定では2025年の地域包括ケアシステム構築を見据えた改定となった。介護療養型医療施設については2011（平成23）年度末での廃止決定以降、当協会では長きにわたり国に対して存続を求めてきた結果、2018（平成30）年3月末まで廃止期間が延長された。また平成27年度介護報酬改定では介護療養型医療施設に「療養機能強化型」という新たな報酬体系が創設され、当協会が会員施設と共に国に強くアピールし続けた医療施設としての機能が評価された。

介護保険委員会は、行政や京都府医師会の担当者も交えて介護保険制度が医療に及ぼす影響や問題点を検討し、それぞれの立場から制度の改善に向け提言しながら、制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めている。

介護サービスの質の向上のために、当協会は2004（平成16）年9月に介護サービス第三者評価機関の認定を受け、最近5年間では年間約10事業所の評価を行っている。調査は当協会所属の調査者が行い、また評価審査委員会では当協会以外の団体の関係者も交えて公平且つ適正な評価を行っている。なお、介護サービス情報の公表事業は事業者への調査が任意で実施されることになったため2010（平成22）年度をもって終了することになったが、今後も京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構と連携しながら京都の介護サービス事業所の資質向上を図っていく。

京都市新規介護認定調査事業は2007（平成19）年11月よりを行っているが、会員施設の介護支援専門員を中心とした認定調査員の協力により月間約300～400件程度の認定調査を実施している。認定調査員には京都市が実施する新規・現任認定調査員研修会参加の他、当協会でも研修会を開催し、認定調査員の質の向上に努めている。

（幹事 清水 聡）

介護保険をとりまく情勢

介護保険施行から10年以上が経過したが、介護保険を取り巻く情勢は著しい変化を遂げてきた。制度改正については、2012（平成24）年度と2015（平成27）年度に介護報酬改定が行われたが、いずれも2025（平成37）年の地域包括ケアシステムの構築を見据えた改定となった。平成24年度介護報酬改定は全体で1.2%（居宅1.0%・施設0.2%）のプラス改定となった一方で、介護職員処遇改善交付金に代わる2%相当の介護職員処遇改善加算が新しく介護報酬

内に組み込まれたため実質的には0.8%のマイナス改定になった。また、平成27年度介護報酬改定は▲2.27%（居宅▲1.42%・施設▲0.85%）で、介護職員処遇改善加算の拡充分及びサービス充実分を含めると実質的には▲4.48%の大幅なマイナス改定となった。多くのサービスで基本報酬が減額された他、地域包括ケアシステムの更なる推進のために新設・拡充された加算等を取得しない事業所はより厳しい運営を強いられることになった。こうした厳しい状

況が続く中、次期改定においても国の推奨する地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組まない事業所については益々淘汰されていく可能性があるため、今後の動向を注視していく必要がある。

また、当協会では、介護保険制度に関する調査・研究活動の実施に加えて、中央の医療団体等と密に連携しながら、国や京都府・京都市等に対する要望活動も継続して行ってきた。厚生労働大臣等に介護療養型医療施設の廃止の撤回や、適正な介護報酬改定を求める要望書を提出するほか、地方分権一括法に伴い2012（平成24）年4月1日より京都府と京都市で介護サービス事業所の指定事務等の権限が分担されたことに対して、両者の間で対応の相違が起らぬよう求める要望書も提出した。

とりわけ、介護保険施設の一翼を担う介護療養型医療施設については、2006（平成18）年施行の医療制度改革関連法で2011（平成23）年度末での廃止が決定して以降、当協会では長きにわたり国に対して存続を強く求め続けてきた。2011（平成23）年6月公布の「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」により、2018（平成30）年3月末まで廃止期限が延長されたが、平成27年度介護報酬改定の基礎資料を得るために厚生労働省が2014（平成26）年8月に実施した横断調査では、介護療養型医療施設が他の介護保険施設等では受け入れることが困難な、医療必要度の高い重度の要介護高齢者に対応している実態が結果に現れ、当該施設の必要性が明白になった。さらに、平成27年度介護報酬改定では、介護療養型医療施設に「療養機能強化型」という新たな報酬体系が創設されたが、これまで主に介護療養型医療施設が担ってきた機能である、重篤な疾患を有する高齢者及び身体合併症を

有する認知症高齢者の受入、経管栄養等の医療的ケア、ターミナルケアの実施等が算定要件となり、当協会が会員施設と共に国に対して強くアピールし続けてきた介護療養型医療施設の機能が重点的に評価されることになった。即ち地域包括ケアシステムの推進等において当該施設が必要不可欠であると国も認識するようになった。

依然として介護保険に関して解決すべき課題は山積しているが、当協会では今後も介護保険制度および関連事業が国民・会員にとってよりよいものとなるよう情報収集や要望活動等を行っていくこととしている。

介護保険をめぐる日常活動

1 施設基準等に関する相談・情報提供

会員からの施設基準等に関する質問・相談に対応している。新たに出された通知や変更事項等の情報は文書などで通知するほか、ホームページにも掲載している。その他、実施状況報告書の月報点検サービスも行っている。

2 実地指導への立ち会い

京都府や府内各保健所、京都市（京都市内に所在する事業所に対する監査指導の権限については2012（平成24）年4月1日より京都府より京都市に移譲された）が定期的に行う実地指導には、調査が公平且つ公正に行われているかを確認するため、制度発足当初から事務局員が立ち会いを行っている。

また、適切な事業運営に資するよう、調査での指摘事項等の情報を集約し会員施設へ情報提供している。



介護保険委員会研修会
(全職種対象)



介護保険委員会研修会
(講師：京都市監査指導課)

介護保険委員会

当委員会は、介護と医療の密接な関係を重視する観点から、介護保険制度が医療に及ぼす影響を的確に把握・予測するとともに、介護保険制度下における問題点を検討し、制度の改善に向け提言しながら、介護サービス事業を行う会員が円滑に事業運営できるよう活動を行っている。2007（平成19）年にはケアマネジャー委員会を、2009（平成21）年に介護報酬委員会を統合し、介護保険に関わる幅広い活動を展開する場として、重要な役割を担っている。

委員会では行政当局（京都府・京都市）及び京都府医師会の担当者も交え、現行の介護保険制度や介護制度改革の諸問題について情報交換や討議を行い、それぞれの立場から意見・要望を取り交わしていく中で、制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めている。

この間の主な活動としては、介護保険制度や介護報酬改定に関する情報収集や実態調査を実施し、会員に有用な情報提供ができるよう努めたほか、2011（平成23）年度と2014（平成26）年度は、それぞれ翌年度に控えた介護報酬改定についての対応を重点的に検討し、その意見を集約した要望書・声明文を京都療養病床協会（京都府慢性期医療協会）との連名で厚生労働大臣・厚労省老健局長・厚労省老健局老人保健課長・財務大臣に提出した。会員施設を主な対象とした研修会の開催や、療養病床再編における情報収集や調査研究などについても継続して行っている。

また、委員会では介護サービス第三者評価事業の課題の分析や提言を行うほか、京都市から当協会が委託を受けて実施している京都市新規介護認定調査

事業の運営の在り方についての検討も行っている。

◆研修会

2010(平成22)年度

テーマ／「身体拘束ゼロに向けた取り組み」（1月12日）

介護療養型医療施設の介護支援専門員を対象に、当委員会で実施した身体拘束実態調査結果に関してケアマネジャー委員による解説の後、意見交換会を実施した。

2011(平成23)年度

テーマ／「回想法」（2月22日）

講師／黒川由紀子（上智大学総合人間科学部教授）

2012(平成24)年度

テーマ／「介護療養型医療施設の人員・設備・運営基準・介護報酬について」（2月26日）

講師／荒木修生（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課課長）

荒木俊明（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

共 催／京都療養病床協会

2013(平成25)年度

テーマ／「介護療養型医療施設の人員・設備・運営基準・介護報酬について」（1月31日）

講師／中島名美子（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課担当課長）

荒木俊明（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

共 催／京都療養病床協会

テーマ／「平穏死できる人、できない人－延命と宿命の分水嶺－」（2月27日）



介護保険委員会研修会
(ケアマネジャー対象)



介護サービス第三者評価「ブレ評価」

講師／長尾和宏（長尾クリニック院長・一般社
団法人日本慢性期医療協会理事）

共催／京都療養病床協会

2014(平成26)年度

テーマ／「介護療養型医療施設のケアプランに求
められるもの－課題整理総括表の具体的
活用方法について－」（10月30日）

講師／川添チエミ（介護保険委員会委員・嵯峨
野病院在宅事業部長）

※介護療養型医療施設の介護支援専門員を対象
に、上記テーマの講義の後、日常業務での悩み
事や疑問点等を解決する場として意見交換会
を行った。

テーマ／「介護療養型医療施設の人員・設備・運
営基準・介護報酬について」（2月26日）

講師／山本久葉（京都市保健福祉局保健福祉部
監査指導課障害福祉・介護サービス担当
課長）

栗嶋美絵（京都市保健福祉局保健福祉部
監査指導課主任）

共催／京都府慢性期医療協会

◆その他の活動

2010(平成22)年度

・身体拘束実態調査の実施

2011(平成23)年度

・平成24年度介護報酬改定への対応の検討および
要望書の提出

2012(平成24)年度

・平成24年度介護報酬改定に係る影響度調査の

実施

2014(平成26)年度

・平成27年度介護報酬改定への対応の検討および
要望書・声明文の提出

介護サービス第三者評価事業

事業者による介護サービスの質の向上・改善を促
進し、同時にサービスを受ける利用者の選択の便利
を図るために有効である介護サービス第三者評価は、
京都府で2002（平成14）年度から全国に先駆けて試
行実施事業が行われ、2005（平成17）年10月には、
関係団体、行政等で組織する「京都介護・福祉サー
ビス第三者評価等支援機構」が発足し、福祉サービ
スも含めた第三者評価への本格実施へと移行した。

京都府では、2015（平成27）年3月31日現在、介
護分野で16機関が評価機関として認定を受けており、
当協会は試行期間の2004（平成16）年9月に介護サ
ービス第三者評価機関として認定を受けた。

調査は当協会所属の調査者が行い、評価の最終決
定機関として設置されている評価審査委員会では、
当協会以外の団体の関係者等も交え、公平且つ適正
な評価になるよう努めている。また、調査者の質の
向上を図るため、各種研修への参加や新規調査者の
養成にも力を入れている。

◆評価実施施設・事業所

2010(平成22)年度／嵯峨野病院、特別養護老人ホー
ム山城ぬくもりの里、居宅支援京都民医連中央病
院、うずまさ診療所、居宅介護支援マムステーシ
ョン、京都福祉サービス協会柳辻事務所、大宅診
療所、嵯峨野病院上野橋デイサービスセンター、

柏野デイサービスセンター

計9事業所

2011(平成23)年度／清水会居宅介護支援事業所、葵会総合ケアステーション、特別養護老人ホーム長老苑、介護老人保健施設石清水、ケアプランセンター飛鳥井、介護老人保健施設フェアウインドきの、介護老人保健施設やすらぎ苑、川端診療所、木津屋橋武田病院、古川医院デイ・ケア、京都福祉サービス協会伏見事務所、春日診療所、居宅介護支援事業所ふれあい、上京病院デイサービス

計14事業所

2012(平成24)年度／老人保健施設桃寿苑、ほっとステーションきぼう、老人保健施設あやべ、サテライト老健桃寿苑、長老苑在宅介護支援センター、やまぶきの郷、葵会総合ケアステーション、長老苑デイサービスセンター、デイサービスセンターことぶき、通所リハビリテーション小野、京都福祉サービス協会南事務所、生活サポートセンター・ケアプラン事業所北山、総合ケアステーションわかば、西陣病院介護保険相談室、特別養護老人ホームサンフラワーガーデン、北山病院

計16事業所

2013(平成25)年度／介護老人保健施設とちのき、長老苑在宅介護支援センター指定訪問介護事業所、介護老人保健施設綾部さくらホーム、特別養護老人ホームまほろば

計4事業所

2014(平成26)年度／介護老人保健施設石清水、特別養護老人ホーム長老苑、ヘルパーステーションベガ、介護老人保健施設梨の里、訪問看護ステーションやすらぎ、田辺中央病院居宅介護支援センター、介護老人保健施設やすらぎ苑、介護老人保健

施設陽生苑、京都南西病院、木津屋橋武田病院、ハーモニーケア、泉涌寺湯デイサービス

計12事業所

介護サービス情報の公表事業

「介護サービス情報の公表」制度は2006(平成18)年4月の介護保険制度の一部改正により、利用者による事業者の選択に資することを目的として発足し、すべての介護サービス事業者に毎年の情報公開が義務付けられた。この制度の調査機関には、京都では介護サービス第三者評価機関として認定を受けた機関の中から指定され、第三者評価機関である当協会も、京都府からの要請により2006(平成18)年7月に情報の公表の調査機関として指定を受け、訪問調査を実施してきた。しかし、当該制度については「事業者に対する負担が大きい」「システムが使いにくい」等の問題点も予ねてより指摘されてきたため、2012(平成24)年度の介護保険法改正時には、年1回義務付けられていた事業者への調査が必要に応じて任意で実施されることになった他、調査機関への調査手数料も廃止となった。

これに伴い、当協会においても2010(平成22)年度をもって本事業を終了することとなった。これまで京都では第三者評価事業が活発に実施されてきた経過もあるため、今後も引き続き京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構と連携しながら、介護サービス第三者評価の受診を更に促進し、京都の介護サービス事業所の資質向上を図っていく。

◆訪問調査実績(介護サービス種別：事業所数)

2010(平成22)年度／訪問看護：11、通所介護：2、居

宅介護支援：15、介護老人保健施設：4、介護療養型医療施設：39、短期入所療養介護：3、訪問リハビリテーション：17、通所リハビリテーション：14

計105施設・事業所

京都市新規介護認定調査事業

2006（平成18）年4月の介護保険制度改正により、これまで居宅介護支援事業所や介護保険施設への委託が可能であった新規の要介護（要支援）認定調査は、原則として市町村が実施することとなったが、近年の高齢者人口の増加を背景に、京都市でも要介護（要支援）認定に係る申請件数は年々増加しており、各区役所・支所に配置されている認定調査嘱託員だけでは全件の調査は困難であり、また財政事情や有資格者の確保の点からも京都市だけでは実施が困難な状況であった。

市町村は、例外として中立・公正な立場で認定調査を実施できると認められた法人（都道府県知事の指定を受けた指定市町村事務受託法人）への新規認定調査の委託を決め、京都市から当協会に対し、市町村事務受託法人への申請が要請された。これを受けて当協会は、会員施設の協力を得て調査実施体制を整備し、2007（平成19）年11月1日付で当該法人の指定を受け、本事業を行うこととなった。

会員施設の介護支援専門員を中心とした認定調査員の協力の下、現在、府内他市町村・他府県からの依頼による調査を含めて月間300～400件程度の認定調査を実施している。

また、認定調査員には、京都市が実施している新規認定調査員研修会の参加と併せ、当協会でも毎年1～2回の研修会を開催し、調査員としての基本姿

勢や調査項目の記入方法等の再確認を行い、認定調査員の質の向上に努めている。

◆認定調査実績

| | |
|--------------|--------|
| 2010(平成22)年度 | 3,226件 |
| 2011(平成23)年度 | 3,719件 |
| 2012(平成24)年度 | 3,790件 |
| 2013(平成25)年度 | 4,109件 |
| 2014(平成26)年度 | 4,141件 |

10 救急医療体制の確保と推進

近年、医療費抑制政策やマンパワー不足のために地域の救急医療体制が崩壊してきており社会問題となっている。このため国は、救急隊による救急搬送において、傷病者の搬送及び医療機関による受入れの円滑化を図るため、「消防法の一部を改正する法律」が平成21年5月1日に公布され、同年10月30日に施行された。これにより、傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準を策定することが義務付けられた。京都府でも、府内の救急搬送の現況を踏まえつつ、現在の医療資源を前提に消防機関と医療機関の連携体制を強化し、傷病者の症状等に応じて医療機関への搬送及び受入れを円滑に行うための基準として、「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」が平成26年6月に策定された。

一方で、京都府の救急医療体制は行政や医師会、京都府病院協会の協力により他府県に比べて安定した体制が確保されてきている。これは、京都市域二次病院輪番制、山城北二次病院輪番制により二次救急の円滑な受け入れ態勢が取られていることも大きく寄与していると思われる。

しかし、先述のように診療報酬の引き下げやマンパワー不足により二次救急を担う民間病院の経営は苦しく、輪番参加病院も減少傾向にあることから、引き続き二次救急の適切な評価を求めていく。

また、救急業務が高度化するに伴って、救急救命士の救急救命処置の拡大が行われてきているが、京都私立病院協会としても実習受け入れなどで救急救命士の養成に協力している。

(副会長 武田隆久)

京都府における二次病院群輪番体制

京都市（乙訓2市1町含む）の二次病院群輪番制度は、初期救急医療機関から転送された主に入院治療を必要とする重症患者の診療を協力病院が交代で担う制度である。制度開始当初にあった様々な問題も今は克服され、協力病院が輪番制方式による平日の夜間・休日における急患発生時の対応に高い効果を上げてきた。協力病院数は若干減少してはいるが、日頃からの協力病院の地域医療を守るという強い使命感に支えられ、一般・小児輪番ともに現在も安定した制度の運営がなされており、年2回開催の当番編成会議も滞りなく順調に実施されている。

病院群輪番制事業は、1979（昭和54）年に国庫補助金制度として創設された。京都市の二次病院群輪番制度については制度発足時から取り組まれている。

一方、山城北医療圏においては、当初は病院群輪番制事業としては何も制度が立ち上げられていない状態であった。その後、1992（平成4）年に策定された京都府保健医療計画に、病院群輪番制事業が整備されていない地域へ拡充する旨の記載がなされ、山城北医療圏の行政機関からの要請もあり、関係医療機関も交えた協議の結果、1995（平成7）年より山城北医療圏（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、

久御山町、井出町、宇治田原町)を対象とした山城北二次病院群輪番制度が発足した。現在、山城北医療圏の輪番制度は休日や年末年始における救急医療体制の確保と充実に努め、山城北医療圏の救急医療に大きく貢献している。

◆京都市域の二次輪番制度最近の推移

当協会協力病院数

| 年 | 一般協力病院 | 小児協力病院 |
|-------------|--------|--------|
| 2010(平成22)年 | 65 | 15 |
| 2011(平成23)年 | 65 | 14 |
| 2012(平成24)年 | 62 | 13 |
| 2013(平成25)年 | 63 | 13 |
| 2014(平成26)年 | 62 | 11 |

搬送患者数

| 年 | 入院 | 外来 |
|-------------|-----|-------|
| 2010(平成22)年 | 896 | 5,403 |
| 2011(平成23)年 | 884 | 5,021 |
| 2012(平成24)年 | 857 | 5,013 |
| 2013(平成25)年 | 898 | 4,688 |
| 2014(平成26)年 | 982 | 5,036 |

補助金の推移(当協会会員協力病院分)

| | |
|-------------|-------------|
| 2010(平成22)年 | ¥63,100,000 |
| 2011(平成23)年 | ¥63,656,000 |
| 2012(平成24)年 | ¥64,100,000 |
| 2013(平成25)年 | ¥63,624,000 |
| 2014(平成26)年 | ¥64,052,000 |

◆山城北の二次輪番制度最近の推移

協力病院数

| 年 | 会員協力病院 | 会員外協力病院 |
|-------------|--------|---------|
| 2010(平成22)年 | 12 | 1 |
| 2011(平成23)年 | 11 | 1 |
| 2012(平成24)年 | 11 | 1 |
| 2013(平成25)年 | 12 | 1 |
| 2014(平成26)年 | 12 | 1 |

搬送患者数

| 年 | 入院 | 外来 |
|-------------|----|-------|
| 2010(平成22)年 | 81 | 1,120 |
| 2011(平成23)年 | 70 | 978 |
| 2012(平成24)年 | 84 | 915 |
| 2013(平成25)年 | 99 | 994 |
| 2014(平成26)年 | 85 | 805 |

補助金の推移(当協会会員協力病院分)

| | |
|-------------|------------|
| 2010(平成22)年 | ¥9,715,200 |
| 2011(平成23)年 | ¥9,675,200 |
| 2012(平成24)年 | ¥9,817,280 |
| 2013(平成25)年 | ¥9,635,200 |
| 2014(平成26)年 | ¥9,817,280 |

京都府小児救急医療電話相談事業

夜間・休日・早朝の病院が開いていない時間帯における小児の急な病気、発熱やけが等について保護者からの相談に対応すべく、京都府が2005(平成17)年1月より本事業を開始した。本事業は毎夜間電話対応可能な体制を整備し、対象である京都府内在住の15歳未満の小児とその家族等から相談を受け

付けている。開始以降、相談件数は事業の周知により徐々に増え、2010（平成22）年3月時点では1日平均約16件となっている。

小児救急医療については、軽症の場合でも直ぐに特定の救急医療機関や救命救急センターを受診する傾向があり、それが小児科当直医に過剰な負担をもたらしていると言われている。本事業が積極的に利用されることで、こうした諸問題が少しでも解消に向かうことが期待されている。利用方法は京都府内の固定電話から#8000をダイヤルすることによって、相談担当者につながるようになっている。

当協会は京都府から事務委託を受け、当番の編成や事務手続き等を行ってきた。相談には、府内で小児科当直体制を敷いている病院の医師・看護師らが交代で対応する。2010（平成22）年は12病院が協力し、うち当協会の会員は6病院となっている。

2010（平成22）年は前年の新型インフルエンザの流行により、府民に本事業が周知されたこともあって、相談件数が増加した。しかし、相談件数の増加により、協力病院の交代制による電話対応が限界に達し、2011（平成23）年からは他の事業者団体に委託されることとなった。

相談実績

2010(平成22)年 5,782件

京都府内の救急医療システム

京都府では、病院や診療所、薬局等に関する各種情報を収集し、府民に健康で充実した生活を送ることができるよう、総合的な健康医療情報を提供するホームページとして、「京都健康よろずネット」を開設している。同時に救急医療情報システムも一体的に運用しており、休日等に受診することができる身近な医療機関情報等も検索・閲覧可能としている。

府民のアクセス別利用状況は269,267件（平成26年度実績）、関係者（消防機関・医療機関の検索状況は151,899件（同）で、利用件数はその年月によって増減している。同システムは救急搬送先の減少による患者受け入れ困難が懸念されるなか、今後も有効な手段のひとつとして期待される。なお、2015（平成27）年にはその利便性をさらに向上するべく、全面的にホームページがリニューアルされる予定となっている。

京都府では救急医療情報システム以外で、周産期医療情報を24時間体制で一元管理し、妊産婦や新生児の生命を守る周産期医療情報システムが稼働している。精神科救急では夜間休日に対応するために、救急情報センターが京都市こころの増進センターに設置され、専門の職員が電話相談に対応する体制が整備されている。2013（平成25）年11月からは精神科救急医療連携強化事業が開始され、山城北医療圏において、身体疾患と精神疾患を有する患者に対する一般救急病院と精神科病院との連携強化が図られている。

小児救急については、2005（平成17）年1月より小児救急医療電話相談事業が実施されている（2010（平成22）年度まで当協会が実施）。小児の救急医療



については、夜間の子供の急な病気に対する保護者の不安等から、軽症の場合でも直ぐに救急医療機関を受診される傾向にあり、その対策として京都府が当該事業を開始した。京都府では毎夜間（平日・日午後7時～翌朝8時、土曜日（年末年始除く）午後3時～翌朝8時）の電話対応可能な体制を整備し、対象である京都府内在住の15歳未満の子供とその家族等からの相談を受け付けている。京都府内の固定電話からダイヤル#8000で相談窓口につながる。

救急医療をめぐる諸問題への対応

慢性期的な医師・看護師不足が続く中、近年大都市圏においても救急患者の受入困難事例が発生し、マスメディアで報道されるなど、救急医療の崩壊が社会問題として国民に広く認識されるようになってきている。

全国的に少子高齢化が進む中、とりわけ高齢者に対する救急の割合が圧倒的な増加傾向にあり、今後は有病率の高い癌の治療及びそのターミナルの問題と、脳卒中、骨折、肺炎など、高齢者の急病変化に対する高齢者救急への対応が喫緊の課題となっている。

こうした中でも京都府内の救急医療体制は各医療圏にある会員病院の協力により他府県と比べても安定した体制を維持している。しかし、安定的な救急医療体制の確保には行政からの支援策（補助金）が必須であるが厳しい財政状況を理由に、今後見直される可能性もありうる。実際に、京都府では、京都

市域、山城北圏域において病院群輪番制が稼働しており、当協会の会員病院を中心に2次救急医療を担っているが、京都市では、2009（平成21）年度に輪番協力病院への補助金の減額措置が執られ、2次救急医療の後退が懸念された。救急医療体制には、医師・看護師等の医療スタッフの充実が不可欠であり、その配置に要する人件費等の大半は病院側の負担となっている。これまでの救急医療は、地域住民の生命と安全を守るといふ地域の民間病院の使命感により成り立ってきたが、もはや限界に達しつつあり、将来にわたり救急医療体制が維持できるよう、京都府・京都市に支援を求め続けている。

また、この間、2012（平成24）年の祇園・亀岡における車両暴走事故、2013（平成25）年の福知山火火大会における爆発により発生した集団救急事故などを教訓とし災害医療体制の在り方について検討され、院内体制の問題や行政と消防の連携における課題や大災害時の受け入れ体制のマニュアル整備の必要性が話し合われた。

救急医療分野における地道な活動も続いている。ACLS京都、JPTEC（病院前外傷教育プログラム）や公的機関等へのAEDの配置など、社会全体の救命救急への意識の向上に貢献している。

その他、自賠責保険をめぐるっては、京都府医師会（京都私立病院協会、京都府病院協会含む）と日本



京都救急医療研究会

損害保険協会近畿支部、損害保険料率算出機構京都調査事務所三者による京都府交通事故医療連絡協議会での協議が進み、2003（平成15）年4月から自賠責保険診療費算定基準（ガイドライン）実施要項に基づいた請求が各病院で選択できるようになり、定着に向けた継続的な取り組みが行われている。

救急医療検討委員会

協会において救急医療問題を全般的に担当する当委員会は、担当理事と会員医師、事務長会代表および看護部長会代表によって構成されており、救急医療に関連する問題について検討を行う場となっている。

委員会では、当協会から数名の委員推薦を行っている京都医師会の救急委員会の協議内容を確認しているほか、京都府市等が設置する救急関係の各協議会の進捗状況について報告している。

また、府内の救急医療に携わる者が一同に集まり、学術研鑽の場とする趣旨で「京都救急医療研究会」（当協会、府医師会、府病院協会との共催）が毎年開催されているが、開催テーマなどについて検討を行っている。

2010（平成22）年度からの5年間では、京都府傷病者の搬送及び受入実施に関する基準作成についての検討、交通事故担当者名簿の改訂及び救急医療の実態調査の実施、亀岡市・祇園における集団救急医療事故に関する事後研修結果の検証、JMAT京都への病院窓口及び医師登録を始めとした活動に対しての協力、京都市内の年末年始診療体制に係るアンケート調査の実施などを行った。

◆主な事業

2010(平成22)年

京都府傷病者の搬送及び受入実施に関する基準作成について検討

2011(平成23)年

交通事故担当者名簿の改訂及び救急医療の実態調査を実施

2012(平成24)年

亀岡市・祇園における集団救急医療事故に関する事後研修結果を確認

2013(平成25)年

JMAT京都への病院窓口及び医師登録を始めとした活動に対しての協力

2014(平成26)年

JMAT京都への病院窓口及び医師登録を始めとした活動に対しての協力、京都市内の年末年始診療体制に係るアンケート調査の実施

京都救急医療研究会

京都で救急医療を担う方々のための生涯教育の場となるよう2002（平成14）年に京都救急医療研究会が発足した。毎年11月頃に、京都府医師会、京都府病院協会との三者共催で開催している。後援団体として、京都府消防長会、京都市消防局、京都府看護協会、京都府救急救命士会の協力を得ている。

第9回 2010(平成22)年 11月20日

・教育講演「救急蘇生国際ガイドライン2010について」

講師／木下隆（社会保険京都病院麻酔科部長・府医救急委員会委員）

・特別講演「災害急性期のプライマリ・ケア～ハイ

チ大震災への派遣経験より」

講師／山畑佳篤（京都大学医学部附属病院初期診療・救急医学）

第10回 2011(平成23)年 11月20日

- ・シンポジウム「新しい傷病者の搬送基準について」
- ・特別講演「東京都の救急医療体制とその課題」

講師／坂本哲也（帝京大学救急医療学講座主任教授）

第11回 2012(平成24)年 11月11日

- ・シンポジウム「院内トリアージ」
- ・特別講演「私の救急は地域医療とシームレス」

講師／箕輪良行（聖マリアンヌ医科大学救急医学教授）

第12回 2013(平成25)年 11月9日

- ・シンポジウム「局所災害対応について～福知山花火大会での対応～」
- ・特別講演「東日本大震災から学んだこと」

講師／富岡譲二（整形外科米盛病院副院長・救急部長）

第13回 2014(平成26)年 11月22日

- ・シンポジウム「緊急被ばく医療における患者搬送について」
- ・特別講演「忘れた頃にやってくる災害救急医療～備えあれば憂いなし～地震被ばく医療」

講師／林 寛之（福井大学医学部附属病院総合療部長・教授）

11 感染症対策への対応

感染症対策は病院、診療所においてたいへん重要な活動です。京都私立病院協会の感染症対策委員会は感染対策研修会の開催、ICT（院内感染対策チーム）設置・活動支援、感染対策に係る相談窓口設置、各種感染対策関連のマニュアルの発行などを通じて、京都府内の協会病院、診療所での感染症対策に貢献しております。

感染症は、様々な抗生剤や抗ウイルス薬が開発されているにもかかわらず、依然として人類の脅威に変わりはありません。昨今のエボラ出血熱の猛威は記憶に新しいことでしょう。またデング熱が久しぶりに日本で発症するなど、医療の最前線では日々感染症と戦っています。私たち医療従事者は、感染症に対して予防から治療まで最新の情報を入手、整理し、そして現場に迅速に反映しなければなりません。京都私立病院協会の感染症対策委員会が中心となり皆様に少しでもお役に立てるように、これからも精力的に活動していきたいと考えています。会員皆様のご理解とご協力をどうかよろしくお願い致します。

（幹事 清水 聡）

感染症対策委員会

1998（平成10）年より「感染症対策委員会」を設置し、感染症に係る諸問題への対応と院内感染防止の諸対策に向けて取り組んできた。

委員会は理事会・看護部長会・臨床検査部会、会員内の専門医師による構成で開催している。

近年の取組としては、薬剤耐性菌を出現させないための「抗菌薬適正使用マニュアル」を2012（平成24）年3月に発行するとともに、2015（平成27）年1月には「感染症対策マニュアル」の全面改定版を発行した。これに加え、毎年感染症に関係するテーマで研修会を開催するとともに、当協会会報誌「京都私立病院報」で毎月の感染症情報を掲載し、会員施設における感染予防対策の普及・啓発に努めてきた。

また、2004（平成16）年度から続いた京都府からの受託事業である院内感染対策推進事業が2010（平

成22）年で終了したが、終了後も当委員会が事業を継承し、会員施設を訪問して院内ラウンド等を行い、感染対策上の助言を行う「ICT設置・活動支援」や随時の相談にも対応している。

調査活動も積極的に行っており、2012（平成24）年診療報酬改定で感染防止対策加算が新設されて以降、感染対策における病院間の連携を図るべく、調査を実施して情報提供を行い、円滑な連携の構築を図った。また、エイズ診療に関する調査を行い、針刺し事故時等においてHIV予防薬が迅速に供給されるシステムづくりの構築の必要を意見した。

◆主な活動

2010（平成22）年度

・ 2月17日 感染対策研修会

テーマ／「感染対策チーム（ICT）の活動状況



感染対策研修会



抗菌薬適正使用マニュアル



感染症対策マニュアル

と感染対策上の工夫等の紹介」

- 発表者／①清水恒広（京都市立病院感染症科部長）
 ②加藤恵子（医仁会武田総合病院医療安全対策室・主任）
 ③征矢陽子（京都民医連第二中央病院看護師長）
 ④谷口文代（京都桂病院看護部係長）

2011(平成23)年度

- ・ 3月27日 感染対策研修会

テーマ／「抗菌薬の適正使用について」

- ①京都私立病院協会感染症対策委員会「抗菌薬適正使用マニュアル」の説明

②抗菌薬適正使用に関する講演

- 講師／①清水 聡（京都私立病院協会理事・感染症対策委員会委員長）

②上田 覚（京都桂病院薬剤師）

高倉俊二（京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部准教授）

- ・ 抗菌薬適正使用マニュアル（2011年度版）の発行

- ・ ICT設置・活動支援の実施／3施設

- ・ 感染対策に係る相談窓口の設置

2012(平成24)年度

- ・ 感染防止対策加算調査の開始

- ・ 抗菌薬適正使用マニュアル発行

- ・ 3月14日 感染対策研修会

テーマ／「ワクチンの基礎と最新の話題」

- ①「京都私立病院協会感染症対策マニュアルのワクチン表の改訂につ

いて」

②「ワクチンの基礎と最新の話題」

- 講師／①甲斐純子（京都私立病院協会感染症対策委員）

②持留秀太郎（田辺三菱製薬株式会社 ワクチン部）

- ・ ICT設置・活動支援の実施／2施設

- ・ 感染対策に係る相談窓口の設置

- ・ 感染防止対策加算の取得状況に係るアンケート調査の実施

2013(平成25)年度

- ・ 2月26日 感染対策研修会

テーマ／「感染防止対策に係る取組、連携に関する事例発表」

発表者／蚊野純代（PL病院 感染制御室室長・感染管理認定看護師）

筒井俊博（守山市民病院医療安全管理室長）

- ・ 感染対策に係る相談窓口の設置

- ・ 感染防止対策加算に取得状況に係るアンケート調査の実施

2014(平成26)年度

- ・ 感染症対策マニュアル(2015年1月全面改訂版)の発行

- ・ 2月27日 感染対策研修会

テーマ／「今日から取り組む手術部位感染予防」

講師／長尾美紀（京都大学医学部附属病院感染制御部・京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学講師）

- ・ ICT設置・活動支援の実施／1施設

- ・ 感染対策に係る相談窓口の設置

- ・ 感染防止対策加算の取得状況に係るアンケート



院内感染対策推進事業
報告書

調査の実施

- ・ 会員施設におけるエイズ診療に関するアンケート調査の実施

院内感染対策推進事業

2004(平成16)年度から京都府の委託により、感染対策の専門家チームを派遣し、感染対策チーム(ICT)の設置、ICT活動の充実に重点を置いた実地支援(院内感染対策支援事業)を行い、2010(平成22)年度に終了するまで、累計で42病院を訪問して助言を行った。また、医療機関等からの感染対策や環境衛生等の相談に対応する体制を整え、随時の相談にも応じ(院内感染対策相談事業)、京都府内病院における感染防止対策の向上に成果を上げた。

◆主な活動

2010(平成22)年度

- ・ 院内感染対策支援事業(6施設)
- ・ 院内感染対策相談事業(相談回答件数/2件)

12 医療安全対策への対応

平成12（2000）年より医療安全対策委員会の活動を行っている。「災害時の食料・医薬品等備蓄に関するアンケート調査」を実施し、会員施設における備蓄の状況を把握した。また、平成21（2009）年に改定した医療安全対策マニュアルを現状に即したものと一部改訂し平成26（2014）年10月に会員施設へと配布した。

東日本大震災以降、病院・施設における災害対応について全国が改めて考えさせられることとなった。備蓄を行っていたとしても、誰がどこに物資を取りに行くのか、ライフラインをどのように整えるのか。病院という公的施設でありながら、個人が経営している我々私立病院がどこまで地域、患者のために活動できるのか。各施設が資料や講演会を通して改めて検討する契機となっていることを望む。

（理事 小森直之）

医療安全対策委員会

医療の質・安全に対する社会的ニーズが高まっていることから、2000（平成12）年に医療安全対策委員会を立ち上げ、委員会を中心に、先進的な医療安全対策の推進に向けた取り組みや情報発信を行い、会員病院における医療安全の意識向上や医療安全管理体制の強化・充実を図っている。

医療法施行規則が2002（平成14）年に一部改正されたことに伴い、全ての病院及び有床診療所について4項目の医療安全管理体制の確保が義務付けられ、その中の1つに医療に係る安全管理のための職員研修の実施が挙げられており、当委員会としても会員施設の職員を対象とした研修会を毎年企画開催している。研修会では、実際に発生した事例をもとにした具体的な対策方法等について学習し、各施設での医療安全対策の取り組みにつながるような内容としている。

その他にも、2013（平成25）年は、災害発生時に備えて会員施設における備蓄の現状を把握するため、「災害発生時の食料・医薬品等備蓄状況に関するア

ンケート調査」を実施し、私立病院報にて報告した。また、2009（平成21）年に改訂した医療安全対策マニュアルの一部改訂を行い、2014（平成26）年10月に改訂版を全会員へ配布した。

◆研修会

2010（平成22）年11月29日

テーマ／「メーカーから見た医療事故防止について～輸液管理のセーフティマネジメント～」

講師／小寺 泉（テルモ株式会社京都支店学術担当）

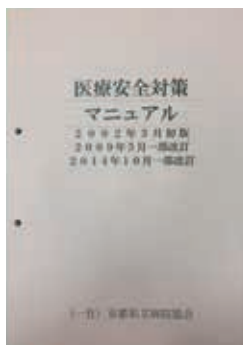
2011（平成23）年2月21日

テーマ／「今後の医療施設に求められる地震対策～人命安全から事業継続（BCP）へ～」

講師／亀崎 洋（東京海上日動リスクコンサルティング株式会社ビジネスリスク事



医療安全対策研修会



医療安全対策マニュアル

業部グローバル第一グループ主席研究
員グループリーダー)

2011(平成23)年11月29日

テーマ/「医療過誤をなくそう～メディケー
ションエラー 危険予知トレーニング
を中心に～」

講師/三浦 剛(第一三共株式会社京都支店
医療環境担当・日本病院会認定医療安
全管理者)

2013(平成25)年2月25日

テーマ/「医療機関に求められる医療安全対策」
講師/藤井秀明(株式会社スズケンカスタマ
ーサポート部コンサルティング課担当
課長)

2013(平成25)年4月25日

テーマ/「院内暴力への対応」
講師/藪本恭明(大阪国際総合法律事務所弁
護士・医師)

2013(平成25)年11月25日

テーマ/「総ての医療従事者にとってふつうあ
りえないこと～医療安全をめざして～」
講師/武田立守(ニプロ株式会社顧問・薬剤師)

2014(平成26)年11月6日

テーマ/「医療安全管理の実践」
講師/黒岩一起(株式会社ケーエスケー営業
支援部マネージャー)

2014(平成26)年3月12日

テーマ/「院内暴力への対応と実践」

講師/藪本恭明(大阪国際総合法律事務所弁
護士・医師)

◆その他

2013(平成25)年

災害発生時の食料・医薬品等備蓄状況に関する
アンケート調査の実施

2014(平成26)年

医療安全対策マニュアル(2014年版)の発行
600部

13 京都式地域包括ケアシステムの推進

京都地域包括ケアシステムは、高齢者の方が介護や療養が必要になっても、住み慣れた地域で、365日安心して暮らせるために行政、医療、介護、福祉の連携を強化し高齢者を中心に据え、制度の縦割りや隙間を排除し、各関係機関が一丸となり「オール京都体制」で地域包括ケアの実現を目指している。

これは6つの事業プロジェクトからなるが、京都私立病院協会では、在宅療養あんしんプロジェクト、地域におけるリハビリ支援プロジェクト、認知症対策充実プロジェクトに対して協力をしてきた。

在宅療養あんしんプロジェクトでは、在宅で療養生活をおくる高齢者に対して、かかりつけ医と協力して必要に応じて入院ができる「在宅療養あんしん病院登録システム」を構築してきた。

地域におけるリハビリ支援プロジェクトに対しては、「府民リハビリテーション啓発支援事業」として、平成23年度より京都府からの委託事業として、リハビリが手薄な京都府北部や南部の地域住民に対して、専門職からなるキャラバン隊を組んでリハビリに対する啓発活動を行ってきた。

認知症対策充実プロジェクトに関しては、京都式オレンジプランの事業の一環としての「病院医療従事者認知力対応力向上事業」を平成25年度から京都府から委託を受けて開催してきた。これは、病院の全ての職種が認知症に対して社保的な対応ができるよう研修（集合研修と病院への訪問研修）を行い、参加者は京都府から修了証が交付された。

今後とも、京都府地域包括ケア推進機構と連携をして京都式地域包括ケアシステムの実現に向けて取り組んでいく。

（副会長 武田隆久）

在宅療養あんしん病院登録システム

京都府における地域包括ケアの柱である「在宅療養あんしん病院登録システム」は、在宅で療養生活を送る高齢者が、体調を崩し在宅での対応が困難になった時に、かかりつけ医の協力により事前に必要な情報を登録しておくことで、円滑に病院を受診し、必要に応じて入院ができるシステムである。

早期の対応により、病状の悪化や身体の働きの低下を可能な限り防ぎ、早期退院の実現につなげることで在宅生活を続けることを支援する全国初の取組であり、当協会がシステムの運用に関わり、あんし

ん病院及び在宅高齢者の登録を推進している。

2015（平成27）年3月末現在で136病院が在宅療養あんしん病院の指定を受け、その大半を占める会員施設の協力のもとで、京都府内の在宅高齢者の安心に寄与している。なお、あんしん病院には平成27年3月末現在で8,675人が登録している。

◆主な活動

2011（平成23）年度

・「在宅療養あんしん病院登録システム」スター



在宅療養あんしん病院登録システム記者発表



在宅療養あんしん病院登録システム説明会（北部地区）



在宅療養あんしん病院登録システム説明会（京都市域・南部地区）

トアップ共同記者発表 9月12日

京都ブライトンホテル

（当協会長・京都府知事・京都市長・京都府医師会長・京都府介護支援専門員会長・京都地域包括ケア推進機構理事長による挙動八表）

- ・京都地域包括ケア「在宅療養あんしん病院」の指定申請に係る説明会の開催

9月14日 京都府立中丹勤労者福祉会館

9月15日 キャンパスプラザ京都

11月21日 私病協会議室

- ・在宅療養あんしん病院指定申請受付、取りまとめ

2012（平成24）年度

- ・在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査の実施 7月

2013（平成25）年度

- ・在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査の実施 6月

- ・平成26年度在宅療養あんしん病院登録システムに関する説明会の開催

3月25日 福知山市総合庁舎講堂

3月26日 京都府医師会館

- ・あんしん病院窓口一覧（個票）の取りまとめ及び一覧表（集約版）の作成

2014（平成26）年度

- ・在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査の実施 11月

府民リハビリテーション啓発支援事業

京都府では2011（平成23）年6月に行政や医療・介護・福祉関係のあらゆる期間・団体が情報を共有しながら連携・協同を薦め、オール京都体制での京都式地域包括ケアシステムの実現に向け、「京都地域包括ケア推進機構」が設立された。

当協会では、その取り組みの一つとして、2011（平成23）年度より「府民リハビリテーション啓発支援事業」を実施している。本事業は、リハビリの病院やリハビリの専門職の少ない京都府内北部や南部の地域住民にリハビリを啓発するキャラバン隊の活動である。キャラバン隊メンバーとして、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を派遣している。

事業実施4年間では京丹後市、与謝郡伊根町、宮津市、福知山市、綾部市、船井郡京丹波町、相楽郡精華町・木津川市・和束町・笠置町・南山城村に訪問し、延べ45ヶ所、延べ953名の府民に集団啓発や個別相談等を実施し、地域住民から好評を得ている。

また、2013（平成25）年度に継続した支援を行うために標準プログラムを集録した啓発DVDも作成し、2014（平成26）年度にはDVDを自市町村の介護予防事業で活用頂くための伝達講習を延べ11ヶ所、延べ56名の行政担当者に対して実施し、リハビリテーションの啓発のために尽力している。

◆訪問実績

◆啓発キャラバン隊の派遣

2011（平成23）年度 延べ11ヶ所 256人への啓発

11月25日 於：浜詰農業団地センター

参加者／30名



在宅療養あんしん病院
窓口情報等一覧



府民リハビリテーション啓発支援事業
(個別相談対応)



腰痛予防体操

キャラバン隊派遣／12名
12月22日 於：宮津市保健センター
参加者／15名
於：福知山市三和支所
参加者／13名
キャラバン隊派遣／14名
1月24日 於：小浜区母子センター
参加者／23名
於：浜詰農業団地センター
参加者／20名
キャラバン隊派遣／17名
2月14日 於：東畑みんなの元気塾
参加者／28名
キャラバン隊派遣／16名
2月28日 於：小浜区母子センター
参加者／23名
於：浜詰農業団地センター
参加者／25名
キャラバン隊派遣／13名
3月15日 於：宮津市保健センター
参加者／23名
於：福知山市東部保健福祉センター
参加者／29名
キャラバン隊派遣／18名
3月27日 於：小浜区母子センター
参加者／26名
キャラバン隊派遣／17名

2012(平成24)年度 延べ12ヶ所 272人への啓発
9月25日 宮津市
キャラバン隊派遣／16名
於：宮津市保健センター

参加者／30名
於：養老地区公民館
参加者／10名
11月1日 伊根町
キャラバン隊派遣／16名
於：老人福祉センター（午前）
参加者／26名
於：老人福祉センター（午後）
参加者／23名
11月13日 京丹後市
キャラバン隊派遣／16名
於：峰山町菅地区公民館
参加者／33名
於：大宮町善王寺公民館
参加者／32名
12月1日 綾部市
キャラバン隊派遣／16名
於：いこいの村たからの里
参加者／29名
12月21日 福知山市
キャラバン隊派遣／16名
於：大江町保健福祉センター
参加者／14名
於：夜久野ふれあいプラザ
参加者／10名
1月30日 南山城村
キャラバン隊派遣／16名
於：やまなみホール
参加者／21名
2月28日 木津川市
キャラバン隊派遣／16名
於：加茂保健センター



脳トレーニング



ロコモーショントレーニング



嚙下体操

参加者／25名
 於：社会福祉協議会
 参加者／19名

於：和東町老人福祉センター
 参加者／16名
 於：押原コミュニティーセンター
 参加者／21名

2013(平成25)年度 延べ11ヶ所 225人への啓発

2月21日 笠置町

9月11日 福知山市
 キャラバン隊派遣／14名
 於：南佳屋野児童館
 参加者／27名
 於：堀会館
 参加者／12名

キャラバン隊派遣／12名
 於：笠置産業振興会館
 参加者／15名

10月31日 宮津市
 キャラバン隊派遣／13名
 於：みやづ屋2階
 参加者／18名
 於：畑婆爺ニアセンター
 参加者／25名

2014(平成26)年度 延べ11ヶ所 200人への啓発

9月18日 宮津市

11月11日 京丹波町・綾部市
 キャラバン隊派遣／14名
 於：梅田振興センター
 参加者／32名
 於：弥仙会館
 参加者／13名

キャラバン隊派遣／15名
 於：里波見公民館
 参加者／17名
 於：養老地区公民館
 参加者／21名

10月7日 福知山市

12月20日 木津川市・精華町
 キャラバン隊派遣／13名
 於：南平尾防災コミュニティーセンター
 参加者／29名
 於：地域福祉センターかしのき苑
 参加者／14名

キャラバン隊派遣／16名
 於：下六人部会館
 参加者／24名
 於：堀会館
 参加者／10名

11月28日 綾部市

1月31日 和東町・南山城村
 キャラバン隊派遣／12名

キャラバン隊派遣／14名
 於：西八田公民館
 参加者／19名
 於：物部公民館
 参加者／28名

12月19日 京丹波町

キャラバン隊派遣／14名
 於：塩谷集会場
 参加者／10名



病院医療従事者認知症対応力向上研修
(京都市域・南部地区集合研修)

1月19日 木津川市・和東町
キャラバン隊派遣／14名
於：南加茂台ふれあいセンター
参加者／12名
於：和東町老人福祉センター
参加者／15名

2月25日 笠置町・南山城村
キャラバン隊派遣／14名
於：笠置産業振興会館
参加者／16名
於：南大河原会館
参加者／28名

構成し、病院医療従事者認知症対応力向上研修の集合研修の開催要領、訪問研修における研修先病院の選定やチーム派遣などの企画・運営を行っている。

◆病院医療従事者認知症対応力向上研修

【集合研修】

認知症専門医（認知症サポート医）1名と、看護師や介護支援専門員・精神保健福祉士等2名の計3名が講師となり、所定のカリキュラムに基づく「講義（目的・対応力・連携の3部構成）」と事例検討等の「演習」を合わせた180分の研修を京都市域（南部地域を含む）・北部地域で実施した。研修の修了者には京都府より修了証が交付された。

〈平成25年度〉

京都市域・南部地域

10月9日 於：キャンパスプラザ京都

受講者／58名

講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・認知症ケア専門士・看護師）

川上尚子（いわくら病院精神保健福祉士）

12月11日 於：キャンパスプラザ京都

受講者／75名

講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）

堀井いつ子（宇治おうばく病院外来看護師長・看護師）

川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員・看護師）

1月28日 於：キャンパスプラザ京都

病院医療従事者認知症対応力向上事業

認知症高齢者の今後ますますの増加が予測される中で、京都府における認知症高齢者対策の指針として2013（平成25）年に「京都市式オレンジプラン」が策定された。その中で目標に掲げられている「一般病院に入院してもとぎれずに認知症治療が受けられる体制の充実」の一環として、当協会では2013（平成25）年度から京都府より委託を受け、病院の全職種が認知症患者・家族への対応の基本的知識や技術等を身に着けることを主な目的とした、病院認知症対応力向上研修（集合研修・訪問研修）を実施している。また、病院認知症対応力向上事業検討委員会を設置し、研修事業がより効果的なものとなるよう多職種で検討を行っている。

◆病院認知症対応力向上事業検討委員会

事業運営を円滑に進めるべく、認知症サポート医・看護師等の認知症対応に関わる多様な職種で



病院医療従事者認知症対応力向上研修
(北部地区集合研修)

受講者／82名

講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）
坂井加津美（北山病院看護介護部長・認知症ケア専門士・看護師）
川上尚子（いわくら病院精神保健福祉士）

2月21日 於：メルパルク京都

受講者／74名

講師／成本 迅（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）
堀井いつ子（宇治おうばく病院外来看護師長・看護師）
杉森悟子（長岡病院臨床心理士）

北部地域

11月13日 於：京都府立中丹勤労者福祉会館

受講者／38名

講師／成本 迅（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）
西岡さおり（綾部市立病院認知症看護認定看護師）
川上尚子（いわくら病院精神保健福祉士）

〈平成26年度〉

京都市域・南部地域

7月23日 於：メルパルク京都

受講者／58名

講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）
坂井加津美（北山病院看護介護部長・認知症ケア専門士・看護師）
川上尚子（いわくら病院精神保健福祉士）

9月16日 於：メルパルク京都

受講者／72名

講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）
堀井いつ子（宇治おうばく病院外来看護師長・看護師）
川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員・看護師）

11月19日 於：メルパルク京都

受講者／80名

講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）
坂井加津美（北山病院看護介護部長認知症ケア専門士・看護師）
白井壯一（宇治おうばく病院作業療法士）

12月18日 於：メルパルク京都

受講者／82名

講師／成本 迅（京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学講師・認知症サポート医）
堀井いつ子（宇治おうばく病院外来看護師長・看護師）
矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・認知症ケア専門士・看護師）

1月20日 於：メルパルク京都

受講者／80名

講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）
藤井裕子（京都南病院認知症看護認定看護師）
川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員・看護師）



病院医療従事者認知症対応力向上研修
(訪問研修)

北部地域

10月29日 於：サンプラザ万助受講者／27名

講師／成本 迅（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）

西岡さおり（綾部市立病院認知症看護認定看護師）

杉森悟子（長岡病院臨床心理士）

【訪問研修】

認知症専門医（認知症サポート医）と看護師、介護支援専門員・臨床心理士等の計3名で構成されたチームが、京都市を除く京都府内の病院を訪問し、認知症対応力向上を図るための研修や演習を行う。所定のカリキュラムに基づく講義90分と事例検討等の演習90分の研修を2回に分けて実施し、研修の修了者に対して集合研修と同様に京都府より修了証が交付される。

〈平成25年度〉

・丹後医療圏の病院

1日目 12月14日

受講者／55名

講師／丹羽文俊（京都府立医科大学附属北部医療センター神経内科医長）

西岡さおり（綾部市立病院認知症看護認定看護師）

川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所・主任介護支援専門員）

2日目 2月8日

受講者／41名

講師／丹羽文俊（京都府立医科大学附属北部医療センター神経内科医長）

杉森悟子（長岡病院臨床心理士）

・丹後医療圏の病院

1日目 12月19日

受講者／33名

講師／竹村 学（京丹後市立弥栄病院認知症サポート医）

西岡さおり（綾部市立病院認知症看護認定看護師）

川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所主任介護支援専門員）

2日目 2月20日

受講者／31名

講師／竹村 学（京丹後市立弥栄病院認知症サポート医）

西岡さおり（綾部市立病院認知症看護認定看護師）

川上尚子（いわくら病院精神保健福祉士）

・南丹医療圏の病院

1日目 11月12日

受講者／47名

講師／石川雅裕（東舞鶴医誠会病院院長認知症サポート医）

岩本雅彦（東舞鶴医誠会病院認知症疾患治療病棟看護主任）

西川 洋（東舞鶴医誠会病院リハビリテーション科係長・作業療法士）

2日目 1月14日

受講者／41名

講師／石川雅裕（東舞鶴医誠会病院院長・認知症サポート医）

岩本雅彦（東舞鶴医誠会病院認知症疾患治療病棟看護主任）

西川 洋（東舞鶴医誠会病院リハビリ

テーション科係長・作業療法士)
西本和也 (東舞鶴医誠会病院精神保健
福祉士)

・南丹医療圏の病院

1日目 11月20日

受講者/32名

講師/澤田親男 (北山病院院長代行・認知症
サポート医)

坂井加津美 (北山病院看護介護部長・
認知症ケア専門士)

森田倫子 (北山病院相談室主任・精神
保健福祉士)

2日目 2月19日

受講者/33名

講師/1日目と同様

・山城南医療圏の病院

1日目 10月24日

受講者/16名

講師/樋川 毅 (宇治おうばく病院認知症疾
患医療センター長・認知症サポート医)

堀井いつ子 (宇治おうばく病院外来看
護師長)

白井壯一 (宇治おうばく病院作業療法士)

2日目 1月23日

受講者/15名

講師/1日目と同様

・山城南医療圏の病院

1日目 11月28日

受講者/36名

講師/成本 迅 (京都府立医科大学大学院医
学研究科精神機能病態学講師・認知症
サポート医)

安里智洋 (京都府立医科大学附属病院
認知症看護認定看護師)

加藤佑佳 (京都府立医科大学大学院医
学研究科精神機能病態学臨床心理士)

2日目 12月26日

受講者/28名

講師/1日目と同様

〈平成26年度〉

・南丹医療圏の病院

1日目 8月23日

受講者/51名

講師/才村泰生 (西山病院認知症サポート医)

坂井加津美 (北山病院看護介護部長・
認知症ケア専門士)

保田美幸 (いわくら病院医療福祉相談
室係長・精神保健福祉士)

2日目 12月13日

受講者/42名

講師/1日目と同様

・中丹医療圏の病院

1日目 8月27日

受講者/62名

講師/賀川玄一郎 (もみじヶ丘病院認知症サ
ポート医)

西岡さおり (綾部市立病院認知症看護
認定看護師)

杉森悟子 (長岡病院臨床心理士)

2日目 12月11日

受講者/26名

講師/1日目と同様

・山城北医療圏の病院

1日目 9月3日

受講者／90名
 講師／樋川 毅（宇治おうばく病院認知症疾患医療センター長認知症サポート医）
 堀井いつ子（宇治おうばく病院外来看護師長）
 白井壯一（宇治おうばく病院作業療法士）

2日目 1月28日

受講者／74名
 講師／1日目と同様

・山城北医療圏の病院

1日目 9月29日

受講者／54名
 講師／澤田親男（北山病院院長代行・認知症サポート医）
 坂井加津美（北山病院看護介護部長・認知症ケア専門士）
 森田倫子（北山病院精神保健福祉士）

2日目 11月17日

受講者／48名
 講師／1日目と同様

・京都・乙訓医療圏の病院

1日目 10月7日

受講者／29名
 講師／加藤高宏（長岡病院認知症サポート医）
 木下大作（長岡病院副看護部長）
 岩澤博文（長岡病院介護福祉士）

2日目 12月9日

受講者／23名
 講師／1日目と同様

・中丹医療圏の病院

1日目 10月30日

受講者／51名

講師／成本 迅（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医）
 西岡さおり（綾部市立病院認知症看護認定看護師）
 矢田部信行（いわくら病院地域連携室室長・看護師）

2日目 11月20日

受講者／46名
 講師／1日目と同様

◆認知症対応力向上研修受講後の取組・成果に関するアンケート調査の実施

2014（平成26）年度は2013（平成25）年度に訪問研修を実施した6病院に対して研修受講後の院内での取組や成果についてアンケート調査を実施した。受講前に比べて認知症の方への対応や理解が進み、認知症の方の入院受け入れや多職種連携の意識が高まっていることが確認できる結果となった。

14 京都病院学会の開催

京都病院学会は、1965（昭和40）年に学術研修事業の一環として第1回地方病院学会の名目で発足した。1977（昭和52）年の第13回から京都府病院協会との共催となり、京都病院学会と改称されて今日に至っている。

本学会は京都府内のほぼ全ての病院が参加でき、そこに所属する全職種の職員が日頃の医療活動や研究の成果を発表することができるユニークな学会として広く認知されている。毎年400を超える演題が発表され、病院の医療水準の向上に寄与している。

現在、学会は池坊短期大学に於いて開催されており参加者は約2,000人に達している。今後も病院職員のモチベーションの増進を図る目的で継続し発展させなければならないと考えている。

（副会長 富士原正人）

京都病院学会

京都病院学会は、学術研究の場として1965（昭和40）年に初めて開催されて以降、毎年その内容、規模ともに発展、拡大しながら回を重ねている。当協会と京都府病院協会との共催で6月に開催され、両会から選出された役員で構成する理事会、職能別に両会及び関係団体から派遣された委員で構成する実行委員会が企画・運営を担当している。学会前日・当日には両会から準備委員としてさらに多くの職種が運営を支えている。

この学会は、両会に加盟する病院の従事者が日常の医療活動のなかで第一線の臨床現場の研究成果や身近な問題も取り上げて発表しあう場として、また、病院間、職種間の垣根を取り払って交流できる貴重な場として内外ともに高い評価を得ている。毎年、京都府・京都市・京都府医師会からも後援を受けている。

演題数、参加者はともに年々増加をたどり、第46回からは会場を

京都府医師会館から池坊短期大学に移して開催している。

学会当日は各部門の演題発表のほか、学会のテーマについて各部門の発表者が一同に会する要望演題の発表やシンポジウム、さらには専門家や著名人を招いて基調講演や特別講演が行われている。

第45回 2010（平成22）年

学会長／吉川順介（吉川病院）

特別講演「茶は薬用よりはじまる」



一般演題発表会場（池坊短期大学）



一般演題発表会場（池坊短期大学）



特別講演
(京都府医師会館大ホール)



シンポジウム
(池坊短期大学こころホール)



要望演題討論

講師／千宗守（武者小路千家第十四代家元）

参加者／1,889名

第46回 2011（平成23）年

学会長／中島正継（京都第二赤十字病院）

特別講演「武術的身体運用法の特徴」

講師／甲野善紀氏（武術研究者）

参加者／1,983名

第47回 2012（平成24）年

学会長／久野成人（久野病院）

特別講演「宇宙への挑戦－どうなるシャトル後の
宇宙開発－」

講師／長友正徳氏（JAXAシステムズ・エンジニアリング推進室特任担当役）

参加者／2,092名

第48回 2013（平成25）年

学会長／野口雅滋（京都桂病院）

特別講演「スポーツとは何か？～民主主義からし
か生まれない反暴力の文化」

講師／玉木正之氏（スポーツ&音楽評論家）

参加者／2,056名

第49回 2014（平成26）年

学会長／富士原正人（京都ルネス病院）

特別講演「スウェーデンの人々の暮らし～暮らし
にまつわる医療と福祉～」

講師／ウルフ・セールマルク氏（スウェーデン大
使館公使）

参加者／1,953名



15 教育・研修活動

会員施設職員の資質・技術の向上は、各々の会員施設の発展に不可欠であることはもちろんですが、当協会全体の発展にとっても不可欠です。

そのために当協会では創設以来「教育・研修活動」を最重要課題の一つとして力を入れてまいりました。

現在開講・開設されている「教育・研修活動」は、「教育研修基礎コース」、「中堅幹部職員研修」、「看護卒後教育（看護中間管理者研修Ⅰ主任コース、看護中間管理者研修Ⅱ師長コース、看護リーダーシップ研修、准看護師研修、看護補助者研修、看護新人研修、看護過程研修）」、「保健医療管理者養成講座」があり、充実した内容であらゆるレベルの教育・研修を行っています。

現在、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、病院・病床の機能が細分化され、それぞれにおいてより質の高い医療が求められるようになりつつあり、各施設とその職員には柔軟かつ迅速な対応力が求められています。当協会としては、これまでも、会員施設とその職員が時代の流れに対応できるよう、活動内容の充実を図るため毎年見直しを行い、努力してまいりました。今後ますます速度を増していくと思われるその流れに対応できるように、「教育・研修活動」により一層力を注いでまいります。

（副会長 岡田 純）

教育研修基礎コース （旧：教育訓練初級コース）

当コースは会員医療機関の新入職員に対する接遇・対応能力の向上を目的に、1965（昭和40）年より開催している。医療に携わる者としての基本的知識と心得を修得し、一日も早く医療機関における組織人としての自覚を持つことを目的としたこの研修会も、現在では会員施設に定着し、毎年多数の参加を得ている。接遇・対応の基本を学ぶ講義に加え、参加者によるグループワークも盛り込まれ、実践的な技術の習得のほか、参加者同士のコミュニケーションが図れる内容となっており、また会員施設職員同士のつながりをつくるきっかけの場ともなっている。

毎年、京都市内では5月頃に、北部地区では6月～7月頃に開催している。北部地区の開催においては、福知山医師会、舞鶴医師会の共催を得て、隔年

で会場を変え開催している。北部地区の開催では、当協会会員のみならず医師会会員施設の新入職員へも門戸を開放し、毎年参加を得ている。

2010（平成22）年度

①京都市内開催

5月14日・5月19日 於：京都府医師会館

講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・コミュニケーションコンサルタント）

②北部地区開催

6月19日 於：舞鶴メディカルセンター

講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・コミュニケーションコンサルタント）

2011（平成23）年度

①京都市内開催

5月11日・5月16日 於：京都アスニー

講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・コミュニケーションコンサルタント）



教育研修基礎コース（京都市内）



教育研修基礎コース（北部地区）

② 北部地区開催

6月25日 於：京都府立中丹勤労者福祉会館
講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・
コミュニケーションコンサルタント）

2012（平成24）年度

① 京都市内開催

5月17日・5月31日 於：京都アスニー
講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・
コミュニケーションコンサルタント）

② 北部地区開催

6月30日 於：舞鶴メディカルセンター
講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・
コミュニケーションコンサルタント）

2013（平成25）年度

① 京都市内開催

5月15日・5月23日 於：京都アスニー
講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・
コミュニケーションコンサルタント）

② 北部地区開催

6月29日 於：京都府立中丹勤労者福祉会館
講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・
コミュニケーションコンサルタント）

2014（平成26）年度

① 京都市内開催

5月15日 於：京都アスニー
5月29日 於：京都府中小企業会館
講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・
コミュニケーションコンサルタント）

② 北部地区開催

6月21日 於：舞鶴メディカルセンター
講師／櫻井悦子（オムロンパーソネル株式会社・
コミュニケーションコンサルタント）

中堅幹部職員研修

事務長会労務部会が中心となって企画・運営し、病院内各部門の中堅幹部職員を対象に隔年2月に開催している。本研修会は中堅幹部としての資質の向上、病院経営に関する知識の充実、病院の経営方針に基づいた業務の遂行、部下の育成・指導というリーダーとしての自覚の促進を目的とし、また参加者相互の親睦を深めるため、1泊2日を原則として実施している。講師は事務長会からの内部講師および1998（平成10）年以降は外部講師も加わり、病院の日常業務に沿った具体的な内容を中心に、討議の時間に重点をおいたカリキュラムで、毎回活発な討論が繰り広げられ充実した内容となっている。今後も病院を取り巻く医療の動向を熟知し、経営に貢献できる中堅幹部職員を育成する場として、本研修会への期待はさらに大きくなると思われる。

2012（平成24）年

開催日／2月16日・17日

会場／京都・烟河（亀岡市）

研修内容／①病院現状と医療情勢 ②財務諸表
③医療と介護の連携 ④グループワーク「病院を
創ろう！」 ⑤東日本大震災について ⑥知って
得する労働法 ⑦中堅幹部の心得 ⑧参加者交流
会 ⑨その他

講師・スタッフ／松井道宣、中谷泰幸、滋岡嘉弘、
田口健治、山田正明、渡辺高志、中井洋一、八木
利之、滝川和信（外部講師／いわくら病院前事務
長）、手林佳正（外部講師／NPO法人途上国の精
神保健を支えるネットワーク）



中堅幹部職員研修会

2014（平成26）年

開催日／2月20日・21日

会場／京都・畑河（亀岡市）

研修内容／①病院の現状と医療情勢 ②財務諸表
③診療報酬改定 ④グループワーク「病院を創ろう！」
⑤知って得する労働法 ⑥中堅幹部の心得
⑦引力関係 ⑧参加者交流会 ⑨その他

講師・スタッフ／小森直之、中井洋一、山田正明、
市場真澄、小嶋明彦、仲田昌司、林起予則、八木利之、
山口浩二、渡辺高志、滋岡嘉弘（内部講師／宇治おうばく病院顧問）、
滝川和信（外部講師／いわくら病院前事務長）、頓名寛之（外部講師／日医工株式会社）、
川勝良一（外部講師／法政大学講師・スカイパーフェクトTV解説者）

看護卒後教育

看護部門における卒後教育は、看護部長会教育委員会で企画、運営されている。現在の活動としては、看護主任・臨床指導者を対象とした「看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）」、看護師長を対象とした「看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）」、がある。その他、看護卒後教育の一環として、卒後3年目の看護職員対象コースと中堅看護師対象コースの「看護リーダーシップ研修」や准看護師を対象とした「准看護師研修」、看護補助者を対象とした「看護補助者研修」、新人看護師にシミュレーション研修を行う「看護新人研修」、アセスメントに焦点をあてた「看護過程研修」等があり、各研修とも毎年多くの参加を得て、大きな成果を挙げている。

各研修のテーマや講師の選定は、当委員会で毎年検討を行っている。毎年各研修プログラムに即した

目的を設定の上、プログラムの見直しを行うことで、より充実した研修となっている。

◆看護中間管理者研修

Ⅰ（主任コース）・Ⅱ（師長コース）

主任コースは4月から翌年2月までの計11回、師長コースは9月から翌年3月まで間で計9回開催している。9時30分から16時まで講義し、その後30分間グループ討議を行っている。

受講者全員に毎回レポートを提出してもらい、講義を振り返ると共に、より理解を深めるようにしている。また、このレポートから毎回1名を教育委員が選出し、京都私立病院報に掲載している。

主任コースでは2011（平成23）年度より最終回を研修成果発表会とし、自己の能力向上、今後の実践課題について受講生ひとりひとりに発表してもらっている。師長コースでは2013（平成25）年度より受講1年後に看護管理実践報告会を開催し自己の看護管理実践能力のレベルアップを図っている。

◆看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）

2010（平成22）年度 参加者／60名

第1回 4/27

「そして私はここにいる～生物としての人～」

講師／西沢いづみ（生命倫理学・生物学講師）

第2回 5/20

「コーチング・セルフサポートコーチング」

講師／清野健太郎（Pure Field代表）

第3回 6/25 「交流分析」

講師／水野正憲（岡山大学教授）

第4回 7/23 「看護研究」

講師／赤澤千春（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻准教授）



看護中間管理者研修開講式



看護中間管理者研修修了式

- 星野明子（京都府立医科大学大学院
保健看護研究科地域看護学教授）
- 第5回 8/25 「人を育てる看護実践」
講師／池西悦子（園田学園女子大学人間健
康学部人間看護学科准教授）
- 第6回 9/22
「看護の診断過程～看護アセスメントと看護
診断～」
講師／池西静江（京都中央看護保健専門学
校副校長）
- 第7回 10/26 「診療報酬」
講師／福井満弘（流通科学大学講師）
- 第8回 11/26 「看護管理の実際」
講師／前田三枝子（関西看護医療大学看護
学部看護学科教授）
- 第9回 12/13
「看護倫理と看護専門職としての法的責務」
講師／真継和子（大阪医科大学看護学部
准教授）
- 第10回 1/26
「正しい認知症の知識と看護のポイント」
講師／赤井信太郎（長浜赤十字病院認知症
看護認定看護師）
水谷まり子（介護老人保健施設竜間
之郷認知症看護認定看護師）
濱中恵子（甲南介護老人保健施設認
知症看護認定看護師）
藤井裕子（京都南病院認知症看護認
定看護師）
- 第11回 2/28
「小集団活動～グループワークのあり方～」
講師／杉万俊夫（京都大学大学院人間・環

- 境学研究科教授）
- 2011（平成23）年度 参加者／49名
※以下前年度と異なる研修のみ記載
- 第1回 4/27 「看護の動向」
講師／杉田鈴子（京都府看護協会常任理事）
- 第5回 8/26
「看護過程～看護アセスメントの実際」
※テーマを変更
講師／池西静江（京都中央看護保健専門学
校副校長）
- 第6回 12/5
「看護管理概論～看護実践の組織化～」
※テーマを変更
講師／前田三枝子（関西看護医療大学看護
学部看護学科教授）
- 第7回 10/25 「看護管理各論」
講師／吉田昭枝（済生会今治病院副院長・
看護部長）
- 第8回 11/28 「看護倫理①」※テーマを変更
講師／真継和子（大阪医科大学看護学部
准教授）
- 第9回 12/16 「看護倫理②」※テーマを変更
講師／真継和子（大阪医科大学看護学部
准教授）
- 第10回 1/31 「グループマネジメント」
※テーマを変更
講師／杉万俊夫（京都大学大学院人間・環
境学研究科教授）
- 第11回 2/22 「研修成果発表会」
- 2012（平成24）年度 参加者／45名
※以下前年度と異なる研修のみ記載
- 第7回 10/23 「いのちへの問いかけ」

講師／西沢いづみ(生命倫理学・生物学講師)

第2回 5/29

「看護管理概論～看護実践の組織化～」

※講師を変更

講師／矢田貴子(看護部長会教育委員長・堀川病院看護部長)

第4回 7/23 「リフレクション」

講師／池西悦子(神戸大学医学部附属病院看護実践教育開発センター)

第10回 12/14 「看護管理各論」※講師を変更

講師／林千鶴子(看護部長会教育委員・京都桂病院看護部長)

2013(平成25)年度 参加者／46名

※以下前年度と異なる研修のみ記載

第7回 10/23

「中間管理者として知っておきたい看護の動向」

講師／長谷川寿子(看護部長会教育副委員長・京都博愛会病院看護部長)

2014(平成26)年度 参加者／46名

◆看護中間管理者研修Ⅱ(師長コース)

2010(平成22)年度 参加者／50名

第1回 9/8 「目標管理」

講師／多羅尾美智代(三木市民病院元看護部長)

第2回 10/14 「看護管理概論」

講師／林千冬(神戸市看護大学教授)

第3回 11/4 「師長のリーダーシップ」

講師／杉野元子(看護組織開発研究所代表)

第4回 12/10 「看護サービス」

講師／前田三枝子(関西看護医療大学看護学部看護学科教授)

第5回 1/13 「看護組織論」

講師／大蔵サチ子(関西看護医療大学小児看護学特任教授)

第6回 2/4 「医療情勢と医療運営」

講師／行本百合子(第一東和会病院事務次長)

第7回 2/24 「医療安全」

講師／塚田紀子(京都きづ川病院医療安全管理室マネージャー)

2011(平成23)年度 参加者／42名

2012(平成24)年度 参加者／47名

※以下前年度と異なる研修のみ記載

※2012年度より全8回に変更

第3回 10/23 「看護管理各論」

講師／高尾幸栄

第5回 11/19 「看護サービス」※講師を変更

講師／豊田久美子(京都市立看護短期大学学長・教授)

第6回 12/13 「看護組織論」※講師を変更

講師／中野玲子(京都第一赤十字病院看護部長)

第7回 2/4 「医療安全」※講師を変更

講師／三嶋明子(京都桂病院医療安全管理者)

第8回 2/4 「研修成果発表会」

2013(平成25)年度 参加者／40名

※以下前年度と異なる研修のみ記載

※2013年度より全9回に変更

第4回 10/25 「師長のリーダーシップ」

※講師を変更

講師／大島敏子(日本看護連盟・元神戸大学病院看護部長)



看護リーダーシップ研修（3年目限定）



准看護師研修

第6回 12/16 「看護組織論」※講師を変更

講師／成田康子（兵庫県立がんセンター
副院長兼看護部長）

第8回 3/17 「医療安全」※講師を変更

講師／有山真智子（京都桂病院医療安全管理
室室長）

2014（平成26）年度 参加者／40名

※以下前年度と異なる研修のみ記載

第9回 3/5 「看護倫理」

講師／矢田貴子（看護部長会教育委員長・
堀川病院看護部長）

◆看護リーダーシップ研修

※2011年度より「参加対象限定なしコース」から
「卒後4年目以上コース」へ変更

※2013年度より「卒後4年目以上コース」から「中
堅コース」へ変更

2010（平成22）年度

卒後3年目限定コース

6/17・6/21 参加者／68名

講師／清野健太郎（Pure Field 代表）参加
対象限定なしコース

7/1・7/5 参加者／106名

講師／立川義博（人材育成研究所所長）

2011（平成23）年度

※前年度と講師同じ

卒後3年目限定コース

6/3・6/8 参加者／113名

卒後4年目以上コース

6/20・6/27 参加者／86名

2012（平成24）年度

※前年度と講師同じ

卒後3年目限定コース

6/7・6/15 参加者／92名

卒後4年目以上コース

6/26・7/3 参加者／87名

2013（平成25）年度

※前年度と講師同じ

卒後3年目限定コース

6/3・6/10 参加者／87名

中堅コース

7/4・7/10 参加者／95名

2014（平成26）年度

※前年度と講師同じ

卒後3年目限定コース

6/2・6/10 参加者／108名

中堅コース

6/4・7/9 参加者／93名

◆准看護師研修

2010（平成22）年度

9/7 参加者／91名

「看護の動向」

講師／杉田鈴子（京都府看護協会常任理事）

「看護職としてのモチベーションを高めるた
めに」

講師／多羅尾美智代（三木市民病院元看護
部長）

2011（平成23）年度

8/9 参加者／91名

※前年度とテーマ・講師同じ

2012（平成24）年度

8/3 参加者／77名

※前年度とテーマ・講師同じ



看護補助者研修



看護新人研修



看護実践報告会

2013（平成25）年度

9/25 参加者／73名

8/8 参加者／67名

「看護職としてのモチベーションを高めるために」

講師／齊藤正明（ネクストスタンダード代表）

「看護の動向」

講師／矢田貴子（看護部長会教育委員会副委員長・堀川病院看護部長）

◆看護新人研修（シミュレーション研修）

2012（平成24）年度

9/1・9/29 参加者／34名

2013（平成25）年度

9/21・9/28 参加者／51名

2014（平成26）年度

9/20・9/27 参加者／41名

2014（平成26）年度

8/6 参加者／74名

「知っておきたい看護の動向」

講師／長谷川寿子（看護部長会教育委員会副委員長・京都博愛会病院看護部長）

「看護実践における倫理的問題を考えよう」

講師／矢田貴子（看護部長会教育委員会副委員長・堀川病院看護部長）

◆看護過程研修

※2014年度より「初級編」「応用編」の2コースを設けた

2013（平成25）年度

10/31 参加者／54名

「看護過程～アセスメントに焦点をあてて～」

講師／池西 静江（Office Kyo-Shien代表）

2014（平成26）年度

※前年度と講師同じ

11/4 参加者／38名

（初級編）「看護過程（5つの段階）とSOAPを理解する」

11/11 参加者／33名

（応用編）「事例に基づき看護過程のプロセスを理解し、自己のアセスメント能力を向上させる」

◆看護補助者研修

※2010～2014年度までテーマ・講師が同じため、開催月・参加者数のみ記載

※2011年度より年2回の開催

2010（平成22）年度

4/13 「接遇について」 参加者／114名

講師／立川義博（人材育成研究所所長）

2011（平成23）年度 4/12 参加者／91名

9/27 参加者／90名

2012（平成24）年度 4/25 参加者／104名

9/28 参加者／94名

2013（平成25）年度 4/23 参加者／94名

9/25 参加者／79名

2014（平成26）年度 4/22 参加者／96名

◆看護管理実践報告会（フォローアップ研修）

2013（平成25）年度 2/26 参加者／27名

2014（平成26）年度 2/9 参加者／25名



保健医療管理者養成講座入講式



保健医療管理者養成講座終講式



保健医療管理者養成講座終講式

保健医療管理者養成講座

病院管理の重責を担う管理職の経営・管理の技法の向上が強く求められるとともに、量的な充実も必要となってきた。その一方で、わが国では医療機関管理者の養成機関が少なく、特に働きながら学べる場が不足していることが現実である。

当協会では、会員病院の職員を対象とした経営管理に必要な基礎知識の習得と実践に役立つ応用能力を養う教育を継続実施することを目的に運営委員会を設け、大学教授のほか各分野における専門家を講師に迎え、専門的・実践的な講座を実施している。講座を開講して24年目を迎えた現在、442名が修了の認定を受けている。また、認定証の授与式を当協会の創立記念式典の際に執り行っている。

また、本講座修了した保健医療管理士の組織「水土会」が1998（平成10）年の10月に発足し、活動を展開している。

〈カリキュラム〉

基礎／医療経済学、医療経営学、保健医療関連法規、保健医療政策、介護保険制度、社会保障、社会福祉、医学（療）概論、情報管理、パソコン・統計学

経営（病院）管理／病院経営、病院組織、人事管理、財務管理、経営分析、医療紛争、リスクマネジメント、コーチング、医療物品管理、災害リスクマネジメント

ヘルスケア管理／医療管理（総論・各論）

建築・設備／医療施設の建築・設備、医療施設

特別講座／医療をめぐる諸問題（4講座程度実施）

〈受講要綱〉

修業年限／1年

講義時間／水曜日（18：00～21：10）・土曜日（15：00～18：10）

応募資格／医療・福祉の経営・管理に関心のある者
出願書類／願書・推薦書

納入金／年間360,000円（分納可）

受講会場／京都保健衛生専門学校

2010（平成22）年度

①第20期生入講式 4月17日 於：京都府医師会館 入講生19名

入講記念特別講座「医療制度の現状と課題」
講師：清水鴻一郎（前衆議院議員・京都伏見しみず病院理事長）

②保健医療管理士認定式 10月6日 於：リーガロイヤルホテル京都

第19期生18名に保健医療管理士の認定証を授与。

③認定委員会 3月2日 第20期受講生17名の修了を認定。

④終講式 3月26日 於：京都全日空ホテル

2011（平成23）年度

①第21期生入講式 4月16日 於：私病協会議室入講生21名

入講記念特別講座「スウェーデンの医療と暮らし」

講師：訓覇法子（日本福祉大学教授）

②保健医療管理士認定式 11月18日 於：京都ホテルオークラ

第20期生17名に保健医療管理士の認定証を授与。

③認定委員会 3月7日 於：私病協会議室

第21期受講生21名の修了を認定。

- ④終講式 3月24日 於：京都全日空ホテル
2012（平成24）年度
- ①第22期生入講式 4月14日 於：私病協会議室 入講生19名
入講記念特別講座「こころ豊かに生きる～愛と慈悲～」
講師：梶田真章（法然院貫主）
- ②保健医療管理士認定式 11月16日 於：京都ホテルオークラ
第21期生21名に保健医療管理士の認定証を授与。
- ③認定委員会 3月6日 於：私病協会議室
第22期受講生17名の修了を認定。
- ④終講式 3月23日 於：ANAクラウンプラザホテル京都

2013（平成25）年度

- ①第23期生入講式 4月20日 於：私病協会議室入講生21名
入講記念特別講座「医療の現場で役立つスウェーデンの知恵～建築と医療の大きなギャップ」
講師：森 啓司（アルメンプラン株式会社 代表取締役）
- ②保健医療管理士認定式 11月15日 於：ホテルグランヴィア京都
第22期生17名に保健医療管理士の認定証を授与。
- ③認定委員会 3月5日 於：私病報会議室
第23期受講生21名の修了を認定。
- ④終講式 3月22日 於：ANAクラウンプラザホテル京都

2014（平成26）年度

- ①第24期生入講式 4月12日 私病協会議室 入講生21名
入講記念特別講座「日本の社会保障制度について」
講師：清水鴻一郎（京都私立病院協会 会長）
- ②保健医療管理士認定式 11月21日 京都ホテルオークラ
第23期生21名に保健医療管理士の認定証を授与。
- ③認定委員会 3月4日 第24期受講生21名の修了を認定。
- ④終講式 3月28日 ANAクラウンプラザホテル京都

医師臨床研修への取り組み

京都府は医師数が多いと言われているが、京都・乙訓以外の5医療圏では全国平均以下であり、医師の地域偏在など医師不足が存在している。京都府では2006（平成18）年10月に京都府医療対策協議会が設置され、市町村、両大学（府立医大・京大）、主要病院、医療関係団体による医師確保対策の検討がはじまり、奨学金等の各種事業が実施されてきた。そして2011（平成23）年6月には、京都府地域医療支援センター（KMCC）が設置され、医師の確保・定着・循環のシステム化、各々の医師に応じたキャリア形成支援やコーディネート機能を担い、地域医療に従事する医師を安定的に確保するための取組が行われている。

当協会は京都府医療対策協議会、京都府地域医療支援センター運営会議ともに参画しており、医師確

保は民間病院でも重要課題の一つであり、京都府が取り組む医師確保対策が民間病院にも十分に向けられ、医師不足・偏在が解消されるよう意見・提言を行ってきた。

とりわけ、2009（平成21）年4月の医師臨床研修制度の見直しに伴い、研修医定員の上限枠が設定され、京都府が全国で最も定員枠減少の影響を受けることとなった。激変緩和措置は2014（平成26）年3月末で終了し、2015（平成27）年からの医師臨床研修制度の見直しでは、京都府の研修医募集定員の削減率が全国で最も大きく、新しい試算では採用実績よりも下回り、会員施設の医師確保への影響が懸念されたことから、会員の臨床研修病院に研修実績・研修3年目時の進路等を調査し、府内の医師不足の地域や民間病院がますます危機に陥ることを京都府に意見した。結果としては、臨床研修制度見直し初年度の2015（平成27）年度研修開始の募集定員に限り、1年限りの経過措置が設けられることとなったが、未だ予断を許さない状況が続いている。

16 病院経営に関する取組み

西暦2010（平成22）年から2014（平成26）年の5年間は、診療報酬制度の一大変革の時期と言える。DPC請求を行っている病院数は2010（平成22）年に1,388病院、2014（平成26）年は1,585病院と、すでに5年前から現在に近い病院数がDPC請求を行いデータの提出を行っている。国はこの間に収集したビッグデータを分析し、制度の大幅な変更のための根拠とし様々な制度改革を実施しようとしている。

この間、我々病院に対しては2025年問題が投げかけられてきた。団塊の世代が後期高齢者となり、このままではわが国の医療経済が破綻するという、まことに分かり易いプロパガンダである。ワイングラスからヤクルト型へ移行し国民総医療費を抑制するという訳である。当然のこととして診療報酬の改定は病院経営を圧迫することになる。

このような厳しい医療環境の中、京都私立病院協会では会員病院の経営の一助として、各種補助金制度のさらなる充実に取り組むとともに、発足から10年を超える未収金対策委員会を継続して開催するなど経営改善のための取り組みを行ってきた。

○民間病院に対する各種補助制度および融資制度

民間病院に対する国庫補助制度は、1993（平成5）年にスタートした。医療施設近代化施設整備事業を中心に、政策に呼応する制度を新たに設けたり、補助要件の変更を行うなど継続して多様なニーズに対応してきた。

また、行政との連携強化を心がけてきた成果として、2013（平成25）年度から始まった京都府在宅療養あんしん病院支援事業は京都方式とも呼ばれている全国的にも画期的な制度であり114病院が参画し運営に協力している。

同じく2013（平成25）年度に創設された「京都府救急病院・社会福祉施設耐震化整備資金融資制度」の活用による、災害時の医療提供体制の確保については、病院のみならず患者に対する安心・安全の確保の点においても大きく貢献している。

○未収金対策委員会

長年に亘る医療費抑制政策による病院経営の厳しい状況のみならず、健康保険制度改革による患者負担も増加の一途を辿っている。こうした状況の中で窓口未収金の発生防止対策を検討すべく、2002（平成14）年に委員会が発足している。会員病院相互の情報交換や対策検討はもとより、各行政機関との意見交換を積極的に行い一定の成果を上げることが出来た。現在は一部負担金減免制度や高額療養費制度等の有効な利用などを課題として協議、検討を重ねている。

○その他

救急、小児、産科、病児、保育など各病院が、自身の力だけでは対応しきれない分野に対しても、各種補助金制度を活用することで、地域医療の提供と病院経営の安定化に取り組んできた。

（理事 中井洋一）

民間病院に対する各種補助制度および融資制度

平成5年度にスタートした民間病院に対する国庫補助制度は、医療施設近代化施設整備事業を中心に時代にあったタイムリーな政策に応じて新たな制度を設けたり、補助要件を変更したり、メニューもかなり多様化してきた。

当協会は常に会員病院のニーズに合致する制度はできるだけ獲得できるように行政との連携強化を心がけた。

2010（平成22）年

- 1 医療提供体制設備整備費補助金：
 - 1 病院 4,480千円
- 2 救急勤務医・産科医等確保支援事業費：
 - 12病院 65,280千円
- 3 公的病院等特殊診療部門運営費補助金：
 - 4 病院 27,507千円
- 4 救急医療提供体制整備促進事業費補助金（救急担当医師・看護師への研修補助）：
 - 28病院 9,194千円
- 5 院内保育運営費補助金：36病院 147,030千円
- 6 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
 - 12病院 7,964千円
- 7 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
 - 3 病院 19,052千円
- 8 療養病床あんしん確保緊急対策事業費（がんばる医療療養病床支援）：17病院 19,076千円
- 9 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
 - 115病院 53,700千円

2012（平成24）年

- 1 医療提供体制設備整備費補助金：
 - 1 病院 4,480千円
- 2 救急勤務医・産科医等確保支援事業費：
 - 12病院 65,280千円
- 3 公的病院等特殊診療部門運営費補助金：
 - 4 病院 27,507千円
- 4 救急医療提供体制整備促進事業費補助金（救急担当医師・看護師への研修補助）：
 - 28病院 9,194千円
- 5 院内保育運営費補助金：36病院 147,030千円
- 6 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
 - 12病院 7,964千円
- 7 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
 - 3 病院 19,052千円
- 8 療養病床あんしん確保緊急対策事業費（がんばる医療療養病床支援）：14病院 16,614千円
- 9 療養病床あんしん確保緊急対策事業費（さきがけ医療療養病床支援）：2 病院 2,951千円

2011（平成23）年

- 1 医療提供体制設備整備費補助金：
 - 1 病院 4,480千円

- る医療療養病床支援)：17病院 19,076千円
- 9 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
115病院 53,700千円
- 2013 (平成25) 年
- 1 医療提供体制設備整備費補助金：
1病院 1,306千円
- 2 救急勤務医・産科医等確保支援事業費：
20病院 71,123千円
- 3 救急医療提供体制整備促進事業費補助金 (救急
担当医師・看護師への研修補助)：
27病院 9,852千円
- 4 二次救急災害時対応能力強化事業：
46病院 233,800千円
- 5 院内保育運営費補助金：46病院 160,598千円
- 6 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
13病院 8,668千円
- 7 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
3病院 19,078千円
- 8 療養病床あんしん確保緊急対策事業費 (がんば
る医療療養病床支援)：16病院 20,320千円
- 9 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
114病院 38,033千円
- 10 病児保育整備促進事業：3病院 9,498千円
- 2014 (平成26) 年
- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 30,954千円
- 2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金 (救急
担当医師・看護師への研修補助)：
24病院 8,923千円
- 3 院内保育運営費補助金：48病院 190,844千円
- 4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
9病院 6,217千円
- 5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：

- 4病院 30,509千円
- 6 療養病床あんしん確保緊急対策事業費 (がんば
る医療療養病床支援)：13病院 15,506千円
- 7 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
114病院 16,080千円
- 8 病児保育整備促進事業：3病院 9,179千円

◆京都府救急告示病院等運転資金融資制度

京都府救急告示病院等運転資金融資制度は、府内の中小病院の救急告示および病院群輪番制参加病院などに対して、年末年始における要員確保などに必要な資金を融資する制度である。

現在では、融資限度額が8,000万円 (1法人で複数病院を有する場合は1億2,000万円)、期間は3年以内 (据置6ヶ月以内)、利率は平成21年度より年1.9%で実施されているが、信用保証協会による保証が必要であることから年々利用が減少している。

◆耐震化整備資金融資幹旋

京都府救急病院・社会福祉施設等耐震化設備資金融資制度として、府内の救急病院及び社会福祉施設に対して、施設の耐震・改修工事に要する資金を融資し、災害時の安心・安全の向上に資する目的で平成25年度より制度が創設された。

融資限度額が2億円 (1法人・1個人病院)、期間は10年以内、利率は1.2%で利用を希望している会員に対し説明会を実施している。

◆職員ローン

病院職員向けローンとして京都中央信用金庫と締結し、当協会の会員施設職員に対し金利優遇があり、保証人が要らないため利用されている。他に病院の

幹部職員向けローンとして、京都信用金庫と締結しているものもあるが、利用はない（保証人要）。

未収金対策委員会

長年に亘る医療費抑制政策により病院経営が一層厳しくなる中、それと同時に健康保険制度改革により患者負担も増加の一途を辿っている。こうした状況下で、病院経営に深刻な影響を与える問題となっている病院における窓口未収金の発生防止対策を検討するべく、未収金対策委員会を2002（平成14）年8月に発足した。

発足以降、外国人の医療費問題、国保資格証明者による未収金問題、窓口一部負担金未収問題等について検討を重ねてきた。

2009（平成21）年には、事務長会常任委員の施設に未収金事例の提出について協力をお願いし、該当する事例を取りまとめ、保険者へ処分請求を行った。

その後、全国健康保険協会京都支部及び京都市国保と面談の場を設けて、未収金対策委員会の意向を申し伝え、活発な意見交換を行った。

また、全国健康保険協会京都支部には回答文書に対する提言書、京都市国保については全国都道府県で実施される国民健康保険の一部負担金減免制度と保険者徴収制度の活用を目的としたモデル事業に当委員会の考えが反映されるよう、厚生労働省国民健康保険課長、京都府健康福祉部長、京丹後市長に意見書を提出した。

上記モデル事業の結果報告を受けて、2010（平成22）年9月に厚生労働省保険局長通知で「一部負担金の徴収及び減免並びに療養取扱期間の一部負担金の取扱いについての一部改正について」が都道府県

に発出されたが、その内容は善管注意義務の定義、保険者徴収の対象事例は一部負担金のみで60万円超とする等、明文化されたことで本制度は有名無実化されたものであった。

2010（平成22）年を以て当委員会は一定の役目を終えたため、委員会活動は終了となった。ただ、依然として未収金問題は解決には至っていないため、一部負担金減免制度や高額療養費制度等の利用も含め引き続き対策を検討していくこととしている。

17

病院管理に関する取り組み

病院管理に関する取り組みとしては、環境問題、情報システムの構築、医療の質向上について、各委員会で検討がなされている。

環境問題委員会においては、当協会創立45周年記念事業として行われた「環境宣言」に基づく取り組みを継続してきた。環境問題は、世界的規模で考えられているいわば人類にとっての最重要課題であるが、同時に、われわれ一人ひとりが取り組まなければならない問題である。医療機関は、感染性廃棄物だけでなく、温室効果ガスの排出も多い業務形態を持つ。人々の健康を守る立場にあるわれわれ医療人が率先して環境問題に取り組むことの社会的意義は高い。今後も継続して積極的な取り組みを行う。

病院機能向上委員会は、会員病院の医療機能の質の向上を目的として1996（平成8）年に設置された。委員は、日本医療機能評価機構の元サーベイヤ（医師、看護師、事務長）を中心に構成されている。2012（平成24）年度には翌年度より新たな枠組みの「評価体系」となることに対応するため、日本医療機能評価機構との共催セミナーを開催した。また、医療機能評価事業に関する情報提供、問い合わせについても随時対応している。2015（平成27）年3月現在、会員病院の認定状況は39施設となっている。

（副会長 岡本豊洋）

環境問題委員会

当委員会は2003（平成15）年に入院環境整備委員会と感染性廃棄物処理問題委員会が統合され、環境問題全般を広く取扱うことを目的に設置された。この間、院内環境問題委員会などへの名称変更を経て、現在は環境問題委員会の名称で活動を行っており、禁煙推進などの院内環境問題や廃棄物処理、リサイクルなど地球環境問題まで幅広く情報収集を行い、会員施設への情報提供に努めている。

2011（平成23）年は前年創立45周年記念事業として環境キャンペーンを実施し、省エネ・省資源・リサイクルに取り組んだ結果を2012（平成24）年6月に私病報臨時増刊号で環境キャンペーン特集として発刊した。

2012（平成24）年は、東日本大震災の影響により関西電力管内でも原子力発電所が定期検査を実施し

ていること等の理由から電力供給力不足が予想されたため、関西電力から当協会にも節電への要請があり、当協会は2009（平成21）年の環境キャンペーンの際に使用した環境チェックリストや関西電力より入手した節電に関する資料を会員施設に送付し、ピーク時の消費電力の10%削減を目標に節電への協力を依頼した。

2013（平成25）年は、夏期には原子力発電所の全面的停止の長期化に伴い、関西電力管内において深刻な電力不足に陥る可能性や計画停電も検討されていたことから、計画停電を回避し、安定した電力の供給を求めべく、当協会と京都府病院協会の連名で京都府、京都市、関西電力に声明文を提出した。また、京都市主催の事業者向け環境学習セミナーにも参加し、環境保全活動のノウハウ等を学習した。



環境担当者育成推進事業所
認定書



医療機能評価受診セミナー

2014（平成26）年・2015（平成27）年は、環境問題に関する補助金交付事業を紹介する等の支援協力を行った。

◆主な活動

2011（平成23）年 環境キャンペーン特集の発刊
2012（平成24）年 平成23年度夏期及び冬期における節電への協力依頼実施

2013（平成25）年 京都府・京都市・関西電力へ計画停電反対の声明文を提出

京都市主催事業者向け環境学習セミナーへの参加

2014（平成26）年・2015（平成27）年

会員施設に対する環境問題についての情報提供

2012（平成24）年度

・医療機能評価受診セミナーの開催 1月18日
於：キャンパスプラザ京都
第1部／「病院機能評価の新たな枠組みについて」

講師：梅里良正（公益財団法人日本医療機能評価機構サーベイヤール）

第2部／「各領域別の受診ポイントについて」

【診療部門】小林一朗（公益財団法人日本医療機能評価機構サーベイヤール）

【看護部門】井上由紀子（公益財団法人日本医療機能評価機構サーベイヤール）

【事務部門】梅里良正（公益財団法人日本医療機能評価機構サーベイヤール）

病院機能向上委員会

会員病院の医療機能の質の向上を目指し1996（平成8）年に当委員会が設置された。委員は日本医療機能評価機構の元サーベイヤール（医師・看護師・事務長）を中心に構成されている。

2012（平成24）年度には翌年度より新たな枠組みの評価体系（3rdG：Ver.1.0）となることに対応するため、日本医療機能評価機構との共催のセミナーを開催した。

また会員病院や関係団体への医療機能評価事業に関する情報提供、問い合わせについても随時対応している。

2015（平成27）年3月現在、会員の認定状況は39施設となっている。

18 税制問題への取り組み

2014（平成26）年4月には消費税が8%に引き上げられ、制度的な面、経営的な面で様々な問題が生じた。医療機関にとっては控除対象外消費税の問題を抱えたままの消費税増税は病院経営に最も大きな打撃の一つとなった。

入院環境を維持するために必要な光熱費の値上げが著しい中での消費税の値上げは、医療機関にとって大きな負担としてのしかかっている。今後、数十年で日本は超高齢社会を迎え、医療のニーズは高まっていく。医療のニーズが増えたとしても、税の負担が増え続けるのであれば病院経営を圧迫することになる事が予測される。今後、老朽化する建物の改築や医療機器の買換えは病院を長期的に安定運営していくにあたり不可欠である。このような機器の購入に対し、病院の対応を国に求めていく必要がある。平成28（2016）年診療報酬改定に伴い、診療報酬と消費税に関する検討を行って行かなければならない。軽減税率の導入も含め、国への改善要望を出し、社会保障のあり方について検討する必要がある。

（理事 小森直之）

税制

医療機関を取り巻く税の問題、とりわけ消費税は医療機関にとって非課税である故、予てから損税となる実態が指摘され、病院経営にとって深刻な影響を与えている。当協会ではこの問題を近畿病院団体連合会で取り上げ続けており、医療機関における消費税負担を診療報酬で手当てすることに断固反対するとともに、仕入税額控除が可能で、かつ患者負担のない制度に改正するよう厚労省、財務省、日医や中央病院団体への要望活動や働きかけを行ってきた。

しかし、2014（平成26）年4月から消費税率8%引き上げ後も、依然として非課税を前提とした医療保険制度内での改善に止まっており、2017（平成29）年4月からの消費税率10%引き上げ時までの抜本的解決を中央の医療団体等と連携して国に求めていく方針である。

消費税の他にも、医療機関における事業税の特例措置の存続や法人税、相続税の問題も懸案事項であり、医療機関における税の問題全般について引き続き検討を行い、必要に応じて改善要望を行っていくこととしている。

◆主な活動

2011（平成23）年度

近畿病院団体連合会で当協会の提案により「社会保険診療報酬に係る消費税非課税制度の是正に関する要望書」を決議し、国の関係大臣、関係局長、国会議員に等に要望。

2012（平成24）年度

近畿病院団体連合会で当協会の発議により「医療機関における消費税非課税制度を直ちに仕入税額控除が可能で、かつ患者負担のない制度に改正すること」を求める声明文を決議し、厚生労働大臣、財務大臣、近畿選出国會議員に要望。

2014（平成26）年度

近畿病院団体連合会で当協会が消費税率10%引き上げ時までの解決を図る必要があることを提起し、日医や中央の病院団体に対し、引き続き消費税問題の抜本的解決を目指した活動を求めることが決議され、要望。

19 福利厚生活動

会員病院で働く職員の福利厚生活動として野球、バレーボール、フットサル、ゴルフの各大会を開催しています。運動不足になりがちな病院職員の健康維持に役立つほか病院間の親睦と交流にも貢献しています。どの大会も40チームを超える大きな大会となり準備運営に実行委員会を設置し、会員施設から派遣された実行委員が集まって計画実行しています。病院対抗野球大会は私立病院協会創立以来毎年開催され2014（平成26）年までに第50回を開催しました。病院対抗女子バレーボール大会も同じく第37回を開催しました。フットサル大会は2006（平成18）年よりスタートした大会で第9回を開催したところです。どの大会も活気にあふれています。なお2009（平成21）年より毎年会員相互の親睦目的でゴルフコンペが行われていましたが2013（平成25）年より当協会の厚生事業となり参加者も増加しました。毎年恒例の協会主催のスポーツイベントは4大会となりました。これらの大会の運営費は京都府病院協同組合、株式会社公益社、株式会社セレマの協賛を得て大会が実施できています。

（副会長 富田哲也）

京都府知事杯争奪 病院対抗野球大会

京都私立病院協会の設立主旨の大きな柱のひとつに会員病院とそこで働く職員相互の親睦・福利厚生活動があげられる。その中で病院対抗野球大会は当協会が設立された翌年から開催され、まさに協会の歴史とともに歩んできたと言える。近年は健康志向の高まりによるスポーツ参加人口の増加等により、グラウンドの確保が課題となっている。大会の会場は、主に京都府みどりヶ丘グラウンド、京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）グラウンド、京都市横大路グラウンド等を使用した。

第46回 2010（平成22）年 参加46チーム

優勝／醍醐病院

準優勝／桃仁会病院

三位／京都桂病院、北山病院A

第47回 2011（平成23）年 参加43チーム

優勝／宇治徳洲会病院

準優勝／洛和会音羽病院B

三位／京都・綾部ルネス病院、宇治武田病院

第48回 2012（平成24）年 参加43チーム

優勝／桃仁会病院

準優勝／宇治武田病院

三位／宇治徳洲会病院、洛和会音羽病院B

第49回 2013（平成25）年 参加41チーム

優勝／北山病院

準優勝／醍醐病院

三位／桃仁会病院、京都きづ川病院

第50回 2014（平成26）年 参加42チーム

優勝／桃仁会病院

準優勝／蘇生会総合病院

三位／宇治徳洲会病院、宇治おうばく病院



京都府知事杯争奪病院対抗野球大会



京都府知事杯争奪病院対抗
女子バレーボール大会



会長杯争奪病院対抗フットサル大会

京都府知事杯争奪 病院対抗女子バレーボール大会

京都私立病院協会の福利厚生活動のひとつであり、会員病院に勤務する女子職員を対象に開催されている。

近年は参加チーム数が減少傾向にあるものの、毎年、参加チーム同士のレベルの高い試合が展開され、盛り上がりを見せている。大会は、実行委員会で開催内容の検討を行い、審判員をはじめ関係者各位の協力により3日間（予選大会1日、決勝トーナメント2日）の開催としている。

第33回 2010（平成22）年 参加43チーム

優勝／京都下鴨病院

準優勝／宇治徳洲会病院

三位／宇治武田病院、渡辺病院

第34回 2011（平成23）年 参加41チーム

優勝／京都下鴨病院

準優勝／宇治徳洲会病院A

三位／宇治武田病院、十条リハビリテーション病院

第35回 2012（平成24）年 参加40チーム

優勝／京都下鴨病院

準優勝／宇治徳洲会病院

三位／宇治武田病院、京都地域医療学際研究所
附属病院（現・がくさい病院）

第36回 2013（平成25）年 参加39チーム

優勝／宇治徳洲会病院

準優勝／京都下鴨病院

三位／京都大原記念病院、新京都南病院

第37回 2014（平成26）年 参加34チーム

優勝／京都下鴨病院

準優勝／宇治徳洲会病院

三位／宇治武田病院、京都大原記念病院

京都私立病院協会会長杯争奪 病院対抗フットサル大会

病院対抗フットサル大会は野球、バレーボール大会に次ぐ3番目の福利厚生事業として2006（平成18）年にスタートした。サンガタウン城陽のグラウンドを会場として、2日間の開催で実施している。毎回、多くのチームから安定した参加を得ており、会員に定着している。

第5回 2010（平成22）年 参加51チーム

優勝／洛陽病院

準優勝／京都回生病院

第3位／共和病院

第6回 2011（平成23）年 参加57チーム

優勝／共和病院

準優勝／第二岡本総合病院B

第3位／洛和会音羽病院A

第7回 2012（平成24）年 参加53チーム

優勝／共和病院

準優勝／蘇生会総合病院A

第3位／京都回生病院A

第8回 2013（平成25）年 参加53チーム

優勝／共和病院

準優勝／洛陽病院

第3位／西京都病院B

第9回 2014（平成26）年 参加59チーム

優勝／共和病院

準優勝／蘇生会総合病院A

第3位／第二岡本総合病院B



会長杯争奪会員親睦ゴルフコンペ

京都私立病院協会会長杯争奪 会員親睦ゴルフコンペ

2009（平成21）年度より当協会全体会議の翌日の恒例行事として開催することとなった会員相互の親睦を目的としたゴルフコンペは、2013（平成25）年度から当協会の厚生事業として位置づけて開催している。ダブルペリア方式によるプレーを楽しみながら会員施設の職員同士が一層の親睦を深めた。優勝から第3位までの表彰の他、ドラコン賞・ニアピン賞等の各賞も贈呈された。また、第2回からは実行委員会を設置し、当協会役員・事務長会による委員構成で企画・運営を行っている。

第1回

2013（平成25）年10月27日 参加24名（13病院）

優勝／木村正彦（武田病院）

準優勝／上垣昭宏（宇治武田病院）

第三位／藤澤明生（賀茂病院）

第2回

2014（平成26）年10月26日 参加43名（23病院）

優勝／木村正彦（武田病院）

準優勝／加藤雅史（三菱京都病院）

第三位／奥田健治（亀岡シミズ病院）

20 事務局体制

2010（平成22）年4月の当協会事務局体制は、津崎桂子事務局長、竹内誠課長、水野志保、藤田直毅、中久保真治、神田悦子（旧姓：久保川）、そして4月1日付けで入職した山口峻平の計7名の体制であった。関係団体の京都保健衛生専門学校、京都府病院協同組合、京都府病院厚生年金基金、京都中央看護保健専門学校の職員をあわせ総勢70名の体制で各団体の運営にあたった。それら5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦会「銅の会」は各団体より職員を派遣し2年任期で共済会の役員を務め、各団体からの補助と職員の拠出金で運営されている。

当協会常勤職員の動向は、2010（平成22）年4月21日付けで木村美甫を採用。6月1日付けで水野志保が京都中央看護保健大学校に転籍。

2011（平成23）年2月28日付けで中久保真治が退職し、2012（平成24）年1月5日付けで臂谷亮輔を採用。2013（平成25）年7月20日付けで木村美甫が退職し、2013（平成25）年8月21日付けで松本結佳、9月21日付けで内牧成允を採用。2015（平成27）年1月5日付けで内牧成允が京都府病院協同組合に転籍となった。

また行政からの委託事業の増加に伴い非常勤職員についても採用を行い、2010（平成22）年4月1日付けで椋橋典子を採用、すでに同年1月5日付けで採用している岡島由美と2009（平成21）年7月23日付けで契約していた派遣職員の永野恵子とともに3名の非常勤職員となった。

また2013（平成25）年2月4日付けからの神田悦子の産休・育休取得に伴い代替職員として、2013（平成25）年1月25日付けで派遣職員の中田深雪を採用。

非常勤職員の動向としては2010（平成22）年2月26日付けで永野恵子の派遣契約を終了し、2011（平成23）年7月20日付けで岡島由美が退職、2013（平成25）年9月30日付けで中田深雪の派遣契約を終了。新たに2011（平成23）年4月1日付けで長濱理恵、12月19日付けで渋谷藍子、2012（平成24）年4月1日付けで岡本泰江を採用。2013（平成25）年12月16日付けで神田悦子が復帰し、常勤職員と非常勤職員をあわせ最大12名の職員体制で事務局業務にあたった。

各関係団体の役員には私病協の執行部からの役員派遣を行うとともに、各団体の事務局責任者が私病協理事会に出席するなど相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。またそれぞれの事務局責任者が頻回に会議を持つなど互いに連携し、協力関係を保ちながら組織運営を行ってきた。

5団体の職員の賃金や労働条件については、2005年度より人事評価制度を活用した新しい賃金制度へ移行し、各団体の業務の違いによる制約はあるが、基本的には共通体系で運用されており、関係団体間の人事交流をより円滑に行うべく就業規則等の統一も図った。事務局責任者による会議では、新たに法改正のあった育児・介護休業規程の改正、再雇用規程の改正、人事評価制度の問題点の抽出や見直しにむけての作業を行うなど、関係団体が密接に連携しあい各団体相互に円滑な運営を行ってきた。

(事務局長 津崎桂子)



事務局職員

21

東日本大震災及び大規模災害対策への対応

2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの尊い命を奪うとともに、地域の医療機関や患者が被害を受けた。

当協会では、震災発生当初から義援金の募集をはじめ、医療救護チームの派遣、患者の受け入れ相談、被災した医療従事者の就職斡旋等を行い、会員の協力を得て被災した民間病院等の復興支援、被災患者等の受診や生活に資するよう努めた。

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により、全国の原子力発電所が定期検査後の運転再開ができず、京都府内を所管する関西電力管内においても電力供給不足が懸念されたが、当協会は患者の生命を守るべく、会員に節電への協力を呼びかけ、各会員が節電に努めた結果もあり大規模停電は回避されている。

また、京都府・京都市においての大規模災害対策や大規模災害発生時の患者の安全確保に関し、京都府・京都市が設置した会議に参画して意見するとともに、自家発電装置の設置や耐震整備等への助成を要望した。その結果、ポータブル発電機の購入やその他省エネ・節電対策、耐震整備等への補助事業が実施されることとなった。（事務局）

東日本大震災への対応

- ・東日本大震災被災地への義援金の寄付
募集期間／2011（平成23）年3月14日～2012（平成24）年1月31日
寄附実績／33,814,311円（福島県、宮城県及び岩手県に各11,271,437円を寄附）
- ・被災地への医療救護チームの派遣（宮城県気仙沼市）
救護チーム／医師2名、保健師1名、看護師1名（全て会員施設医療従事者）
活動内容／避難所気仙沼市総合体育館「K-wave」（被災者収容人数1,500名）での回診、避難所の仮設診療所における外来診療、検案
- ・医療ボランティアスタッフの募集・登録
- ・被災地からの患者受入相談窓口の設置
- ・被災地からの医療従事者の就職先の斡旋

大規模災害対策への対応

- ・会員施設への節電の協力依頼 2011（平成23）年～
- ・京都府・京都市が設置する省エネ・節電対策関係会議への参画 2011（平成23）年～
- ・計画停電の実施に反対する共同（京都府病院協会）
声明文を京都府・京都市・関西電力（株）取締役社長に提出 2012（平成24）年6月9日
- ・自家発電装置の設置、耐震整備等の災害対策や省エネ・節電対策への予算措置の要望活動 2011（平成23）年～



福島県からの感謝状



宮城県からの感謝状



私病協医療救護チーム（宮城県気仙沼市へ派遣）

22 公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革関連三法が2008（平成20）年12月1日から施行され、社団法人と財団法人は2013（平成25）年11月30日までに申請を行い、公益法人の認定又は一般法人の認可を受けることが必要となった。

社団法人格を有していた当協会では、制度改革に対応するため、2009（平成21）年度より会長・副会長で構成する「公益法人制度改革検討委員会」を設置し、改革に伴う検討課題の把握に努めるとともに、これからの当協会のあり方を検討しながら新法人への移行について協議を重ねた。

2011（平成23）年に検討委員会の名称を「一般社団法人認可検討委員会」に改め、一般社団法人に移行する方針を固め、2012（平成24）年5月に開催された第37回通常総会において、一般社団法人への移行とそれに伴う定款変更案及び認可申請に係るスケジュールが承認されたことを受け申請を行い認可され、2013（平成25）年4月より「一般社団法人京都私立病院協会」の名称で新たな法人として運営されることになった。

（事務局長 津崎桂子）

23 会費検討委員会

当協会は会員施設からの会費等により事業活動を行っている。民間病院を取り巻く環境は一層厳しさを増しているが、その一方で地域医療の中心を担う民間病院の活力に期待されていることも多く、京都府内の民間病院・そこに従事する多職種が結集して活動を行う当協会への期待はますます大きくなっている。これに伴い、協会の各種事業や行政からの委託事業等多様化し、事業拡大ならびに2010（平成22）年8月からの事務局移転に伴う運営経費の増加等により、将来を見据えた協会運営を検討する必要性が生じ、2009（平成21）年度から2011（平成23）年度にかけて会長・副会長で構成する「会費検討委員会」を設置した。

検討委員会では協会の財務状況、将来の見通しを分析して会費改定の具体案を作成し、2011（平成23）年5月の社員総会で承認を得、同年6月より新たな会費で運用している。

（事務局長 津崎桂子）

■ 京都保健衛生専門学校



本校は1964（昭和39）年4月堀川高等看護学院として設立され2014（平成26）年50周年となった。その間進学コースからの看護師を1,974人、レギュラーコースの看護師を1,265人、臨床検査技師を2,364人、臨床工学技士を333人輩出してきた。京都私立病院協会の全面的なバックアップの基、伝統と実績のある学校として学校運営を行ってきた。今後、新たな発展のため「選ばれる学校作り」を目標として、学内の在校生の満足度向上を目指し、基礎学力向上のための取り組み、就職ガイダンス、学生相談室の充実、サークル支援、学生食堂の整備などの取り組み、また地域への貢献として市民公開講座を行っている。高校卒業時、専門学校への入学者は17.0%程度で微弱ながら増加している。大学からの就職率が厳しい間は、どこかの企業に就職するという漠然とした将来像を描くより、就きたい仕事を想定した上で入学する分野を選択するという傾向があった。ここ1・2年は大学生の就職率が上昇傾向にあり、大学卒業後の受験生が減少している。

■ 学校法人役員

2011（平成23）年3月5日から2015（平成27）年3月まで8期から10期の役員となる。学校長は、第8代校長に藤田洋一先生、第9代校長に中島健二先生、2013（平成25）年4月1日から有菌直樹先生が就任された。第4代理事長に吉川順介理事が就任し、第5代理事長に武田隆久理事が2015（平成27）年4月1日より就任した。2015（平成27）年2月25日、第10期理事・評議員を選出した。就任期間は2015（平成27）年3月5日から2017（平成29）年3月4日までである。

学校法人役員・評議員の改選（2015.3）

| | |
|--------|----------------|
| 理事長 | 武田 隆久（武田病院） |
| 理事長代理 | 富田 哲也（富田病院） |
| 理事（校長） | 有菌 直樹 |
| 理事 | 岡田 純 |
| | （脳神経リハビリ北大路病院） |
| 理事 | 小森 直之（なぎ辻病院） |

| | |
|----|-----------------------|
| 理事 | 近藤 泰正（堀川病院） |
| 理事 | 清水鴻一郎（京都伏見しみず病院） |
| 理事 | 藤澤 明生（賀茂病院） |
| 理事 | 佐藤真喜子 （京都保健衛生専門学校） |
| 監事 | 大川原康夫（愛生会山科病院） |
| 監事 | 高松 恵美（京都成蹊法律事務所） |

■ 設備の更新について

設備の更新について順次実施している。

平成22年度旧館校舎のトイレの設備更新を行った。学校全体のトイレが和式であったことと1976（昭和51）年建築の建物のため悪臭もするようになっていた。平成24年度は旧館空調設備の更新を行った。また、第3実験室に残っていたアスベストの撤去も同時に行うことができた。平成25年度は、学生及び外部使用者がもっとも使っている視聴覚教室の更新を行った。土足厳禁であったところを土足であがれるようにし、使いにくかった机を長机に変えて会議等ができるようにした。また、防犯カメラの設置、耐震診断、そして25年度より京都市の建築物の定期報告制度が始まり初年度検査を行った。平成26年度は、25年度に行った定期調査により建物全体の改修を行った。

■ エコロジー活動について

平成19年度よりエコロジー活動について取り組んでいる。23年度は関西電力より「夏と冬における節電のお願い」により夏は7月から9月、冬は12月から3月までエレベーターを止めるなど節電に取り組んでいる。また、24年度は関西電力からの計画停電実施に備えた対応について学校の基本的な考えをまとめ学校運営を行った。現在22年度を基礎とした場合、夏は-10.40%、冬は-6.07%程度節電できている。

■ i-Pad導入

第一臨床検査学科では平成24年度よりi-Padの導入を始めた。導入の理由は2つあり、1つ目は国家試験への対応である。臨床検査技師の国家試験問題

はカラー写真を見て答える問題があり、白黒資料の配布ではイメージしづらいため、i-Padに資料を入れるようにした。2つ目の理由は紙の消費量の軽減である。看護学科三年課程は25年度より各グループで1台の形となり、技術自己学習やオープンスクールで活用している。

■ 学校自己評価への取り組み

平成25年度より学校自己評価を進めている。前年度までは事業報告と事業計画をホームページに載せていたが、25年度は「看護教育自己評価指針」と私立専門学校等評価研究機構から出ている「自己点検ブック」を参考にし、項目を整理し掲載した。また、主要財務値についても掲載することができた。

■ 看護学科定期調査と規定の変更

2013（平成25）年7月近畿厚生局による定期指導調査が行われた。学則、学則施行細則、内規等の点検と備品点検が行われた。講評等で指摘のあった学則及び学則施行細則について変更を行った。臨床検査学科と臨床工学技士専攻科は別表の変更を行った。

■ (専)京都中央看護保健大学校

魅力的な看護師養成施設をめざして



■ 大学校のいま

(専)京都中央看護保健大学校は、前身の京都中央看護専門学校が1983(昭和58)年に開校して以来、33年目を迎え、2015(平成27)年3月までに1,976人の卒業生を送り出した。

開校当初は、財団法人京都中央看護師養成事業団が学校運営にあっていたが、公益法人改革に伴い財団法人を解散し、2011(平成23)年4月からは、学校法人京都中央看護師養成事業団が運営を引き継いでいる。

また、2012(平成24)年4月には、4年制の統合カリキュラムの教育機関として高度専門士の称号を授与され、大学院の受験資格が与えられることから、校名を京都中央看護保健専門学校から(専)京都中央看護保健大学校(以下、「大学校」という。)に変更した。

2013(平成25)年4月には、高い実践力を待った看護師を一般社団法人京都私立病院協会(以下、「私病協」という。)加入の各病院に送り出すことを願

って、大学と同じ教育年限を4年とする看護学科(定員40人)を併設し、これに伴い、保健の知識を持った看護師の育成をめざす看護保健学科4年制(統合カリキュラム)の定員を80人から40人に変更した。

日本の医療を取り巻く状況は大きく変化し続けているが、看護教育も例外ではなく、京都府内での看護大学、看護学部の新設により、今後、大学校も大きな影響を受けることが予測される。しかし、大学校が長年積み重ねてきた経験と実績を踏まえ、教育内容の一層の向上と府内トップクラスの国家試験合格率の維持に努めるとともに、卒後継続教育の充実や卒業生との連携等、離職防止の一助となるような取組を進めている。

■ 学生確保について

少子化により学生数が減少する中、大学校においても、新たな看護大学、看護学部の新設、大学への進学指向の高まり等もあり、年度により変動があるものの、入学試験での受験者が全体としては減少傾向にある。



講堂



図書館



東館

受験生の減少を少しでも食い止めるため、高等学校訪問（府内約80校）、オープンキャンパス（7回）、学校説明会への参加、主要駅（近鉄京都駅、地下鉄十条駅等）での広告等の広報活動を行っている。また、入試方法についても、指定校推薦入試、学校推薦入試、社会人入試等、受験生や高等学校等の要望やニーズを反映したいろいろな工夫を行い、優秀な学生の確保に努めている。

■ 大学校のこれから

2013（平成25）年4月に新設した看護学科の学生が2017（平成29）年3月以降、毎年卒業する。教育年限を4年とし、高い実践力を待った看護師として教育した卒業生を私病協加入病院へ送り出すこととなるが、その評価が今後行われることとなる。

また、学歴、年齢などが多様化する学生に対して、日々進歩する医療、技術を踏まえて大学校は教育にあたらなくてはならないが、私病協加入病院の協力もいただき、また、臨地実習施設として指導、協力をお願いしながら、病院が期待される質の高い、地域医療を担う看護師の教育を進めたい。

一方、大学校はJR京都駅から近く交通アクセスが非常に良い立地条件にあること、東館が2009年に完成し施設面での教育環境が整ったことなど、看護に係る教育や研修を実施し、情報を発信する施設としての機能を果たしていかななくてはならない。

■ 5年間の主な出来事

2010（平成22）年

3月 3年課程から4年課程に移行したため卒業生なし

4月 28期生入学（85人）

2011（平成23）年

3月 25期卒業（71人）

3月 財団法人京都中央看護師養成事業団解散

4月 学校法人京都中央看護師養成事業団が運営を引き継ぐ

4月 29期生入学（81人）

2012（平成24）年

3月 出射理事長の辞任に伴い、久野理事長が就任

3月 26期卒業（73人）

4月 校名を京都中央看護保健専門学校から（専）京都中央看護保健大学校に変更

4月 30期生入学（83人）

2013（平成25）年

3月 27期卒業（75人）

4月 渡邊学校長の辞任に伴い、平澤学校長が就任

4月 看護学科（定員40人）新設、看護保健学科の定員変更（80人⇒40人）

4月 31期生入学（84人）

2014（平成26）年

3月 28期卒業（83人）

4月 32期生入学（82人）

■ 京都府病院協同組合



近年、消費増税や診療報酬・介護報酬の改定など医療業界を取り巻く環境が厳しさを増し、当協同組合も購買事業については価格競争等で苦戦を強いられています。保険等の新規事業があり事業全般としては概ね順調に推移しております。

保険事業では2008（平成20）年に京都府医師会と共同募集を開始した「医師賠償責任保険」は加入件数が100施設を超え、加入施設向けのサービスとして医療安全講習会を2010（平成22）年より毎年実施しています。また、2011（平成23）年には生命保険代理店を新たに6社取得し、生命保険の募集にも力を注いでいます。

組合員施設職員向けの福利厚生事業は各種割引に利用できる組合員証を延べ30,000枚各施設に配布し、各方面で多数ご利用いただいております。

また、2013（平成25）年には当組合が創立45周年を迎え、それを記念して「懸賞付きアンケート」を実施するとともに、「ロゴマーク」も作成しました。今後も協同組合事業全般に亘り「役に立つ協同組合」を目指し邁進して参ります。

■ 5年間の主な動き

- | | |
|---------------|---|
| 2010（平成22）年5月 | 第43回通常総会開催 於：京都全日空ホテル 医療安全講習会 （計2回実施） 於：京都府医師会館 |
| 11月 | 医療系廃棄物中間処分場・ 最終処分場見学会（私病協 事務長会共催） 光アスコン(株)・大阪湾広域 臨海環境整備センター |
| 12月 | 購買担当者会議 （私病協共催） 於：京都私立病院協会 |
| 2011（平成23）年4月 | 組合員施設職員向け福利厚 生事業開始 京都府病院協同組合「組合 員証」発行 |
| 5月 | 第1回医療系廃棄物中間処 分場・最終処分場見学会(私 |

| | | | | | |
|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|--------------|
| | 病協事務長会共催) | | 5月 | 第46回通常総会開催 | |
| | 光アスコン(株)・大阪湾広域 | | | 於：ホテルグランヴィア京都 | |
| | 臨海環境整備センター | | 11月 | 医療安全講習会 | |
| | 第44回通常総会開催 | | | 於：京都府医師会館 | |
| | 於：京都ブライトンホテル | | | 第1回医療系廃棄物中間処 | |
| 2012 (平成24) 年 | 6月 | 生命保険代理店を新たに6 | | 分場・最終処分場見学会(私 | |
| | | 社取得 | | 病協事務長会共催) | |
| | 7月 | 医療安全講習会 | | 光アスコン(株)・大阪湾広域 | |
| | | (計6回実施) | | 臨海環境整備センター | |
| | | 於：京都府医師会館 | 12月 | 第2回医療系廃棄物中間処 | |
| | 12月 | 第2回医療系廃棄物中間処 | | 分場・最終処分場見学会 | |
| | | 分場・最終処分場見学会(私 | | (私病協事務長会共催) | |
| | | 病協事務長会共催) | | 光アスコン(株)・大阪湾広域 | |
| | | 光アスコン(株)・大阪湾広域 | | 臨海環境整備センター | |
| | | 臨海環境整備センター | 2014 (平成26) 年 | 2月 | 医療安全講習会(北部地区 |
| 2012 (平成24) 年 | 5月 | 第45回通常総会開催 | | | 対象) |
| | | 於：京都全日空ホテル | | | 於：京都ルネス病院 |
| | 9月 | 医療安全講習会 | | 5月 | 第47回通常総会開催 |
| | | (計3回実施) | | | 於：リーガロイヤルホテル |
| | | 於：京都府医師会館 | | | 京都 |
| | 12月 | 医療系廃棄物中間処分場・ | | | 中野種樹理事長退任、新理 |
| | | 最終処分場見学会(私病協 | | | 事長に富士原正人氏(京都 |
| | | 事務長会共催) | | | ルネス病院理事長)就任 |
| | | 光アスコン(株)・大阪湾広域 | 2015 (平成27) 年 | 2月 | 医療安全講習会 |
| | | 臨海環境整備センター | | | 於：京都府医師会館 |
| 2013 (平成25) 年 | 2月 | 創立45周年記念懸賞付アン | | 3月 | 組合員数 139 |
| | | ケート実施 | | | |
| | 4月 | 京都府病院協同組合創立45 | | | |
| | | 周年記念「ロゴマーク」作成 | | | |

■ 京都府病院厚生年金基金

“ゆとりある老後”と“業界の発展”は共通の願い！
基金加入で『ゆとり』をプラス！



京都府病院厚生年金基金は、京都私立病院協会を母体に1980（昭和55）年11月に設立して以来、今年で35年目を迎えることとなりました。

厚生年金基金制度は、今まさに過渡期を迎えています。2014（平成26）年4月1日に「厚生年金基金制度見直しの法改正」が施行され、当基金は、その対応を慎重に検討した結果、“代行返上・確定給付企業年金（DB）制度移行”を選択しました。

2015（平成27）年2月に代行将来分返上が認可され、2016（平成28）年9月を目途に“代行返上・DB制度移行”を目指しています。今後、新しい企業年金制度に向け、「セーフティかつ魅力あるDB制度の仕組み」を構築してまいります。

■ 5年間の主な出来事

- 2010（平成22）年11月 基金設立30周年
- 2011（平成23）年3月 財政決算において年金資産が400億2,200万円に
- 2012（平成24）年10月 総幹事受託会社を三菱UFJ信託銀行に変更
- 2013（平成25）年4月 加算給付の制度変更
第7回財政再計算を実施
- 2014（平成26）年3月 財政決算において年金資産が569億3,100万円に
- 4月 財政再計算に伴い加算部分掛金率を引下げ
25/1000→20/1000

6月 第77回代議員会にて「代行返上・確定給付企業年金へ移行」の方針を議決

2015（平成27）年2月 代行将来分返上が認可、国へ代行返上の返還概算額（355億円）を前納

■ 役員・代議員の改選（任期2年）

- 2010（平成22）年11月 第16期
 - 理事長 真鍋克次郎（医療法人社団医聖会）
 - 理事長代理 富士原正人（医療法人福富士会）
- 2012（平成24）年11月 第17期
 - 理事長 真鍋克次郎（医療法人社団医聖会）
 - 理事長代理 富士原正人（医療法人福富士会）
- 2014（平成26）年11月 第18期
 - 理事長 清水鴻一郎（医療法人清水会）
 - 理事長代理 富士原正人（医療法人福富士会）

■ 事業結果（2014年度末）

- 事業所数 80事業所
- 加入員 16,848人
(男子 4,767人、女子 12,081人)
- 掛金収入 41億30百万円
- 年金支給 5,910人 22億57百万円
- 一時金支給 873人 2億83百万円
- 年金資産 281億円

年 表

| 年次 | 協会のおゆみ | 医療界と社会の主なできごと |
|----------------|--|---|
| 2010 (平成22) | <p>4月 ・全日本病院協会京都府支部及び日本医療法人協会京都支部の事務局を受託 ・国民健康保険における第三者行為に係る傷病届等提出勸奨事業を京都市から受託実施</p> <p>5月 ・加藤さみ子氏（医療法人三幸会）が精神科看護業務功労者厚生労働大臣表彰を受賞</p> <p>8月 ・事務局を四条烏丸のCOCON烏丸に移転</p> <p>9月 ・明石 朗元副会長が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・介護療養型医療施設の廃止撤回と健全経営ができる介護報酬の設定を厚生労働大臣に要望 ・医療従事者無料職業紹介所を「無料職業紹介 ネットワークセンター」に改称 ・リハビリテーション帳票マニュアルを改訂</p> <p>11月 ・近藤泰正理事（現幹事）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・新型インフルエンザ対策に関し京都府知事に要望</p> | <p>4月 ・診療報酬改定（全体+0.19%）</p> <p>6月 ・菅直人内閣が発足。厚生労働大臣に長妻昭氏が再任</p> <p>9月 ・菅第1次改造内閣で厚生労働大臣に細川律夫氏が就任 ・厚生労働省が平成23年度末で介護療養病床を廃止する方針を見直し</p> <p>10月 ・政府・与党社会保障改革検討本部の設置</p> <p>11月 ・診療報酬の事業税非課税措置を2011年度も存続させることが政府税制調査会で決定</p> <p>12月 ・社会保障改革の推進が閣議決定 ・診療報酬を除いた医療法人の所得にかかる事業税軽減措置を2011年度も存続させることが政府税制調査会で決定</p> |
| 2011 (平成23) | <p>1月 ・高松恵美元監事のご逝去</p> <p>2月 ・身体合併症を有する精神疾患患者に対する総合病院の精神科病床の確保、充実を京都府知事、京都市長に要望</p> <p>3月 ・明石 朗元副会長のご逝去 ・福島県、宮城県及び岩手県への義援金を募集 ・被災地への医療ボランティアスタッフの募集、JMATによる福島県での救護活動への協力 ・宮城県気仙沼市への医療救護チームの派遣 ・被災地の患者の入院・外来受入相談窓口の設置 ・被災地の医療従事者への就職先の斡旋</p> <p>4月 ・安藤正昭元理事のご逝去 ・離職看護師能力再開発事業を京都市から受託実施 ・財団法人京都中央看護師養成事業団を学校法人京都中央看護師養成事業団に改組</p> <p>6月 ・堀澤真澄元副会長のご逝去 ・会費改定</p> <p>9月 ・平成24年度診療報酬改定、介護報酬改定に関し厚生労働大臣等に要望 ・社会保険診療報酬に係る消費税非課税制度が是正されるよう近畿選出国會議員に要望 ・看護師等の「雇用の質」の向上のための取り組みについて厚生労働大臣に要望</p> <p>10月 ・府民リハビリテーション啓発支援事業を開始（京都地域包括ケア推進団体等交付金事業）</p> <p>11月 ・梶並溢弘元理事のご逝去</p> | <p>3月 ・東日本大震災が発生。地震・津波により福島第一原子力発電所事故が発生。 ・京都府がん対策推進条例が交付</p> <p>6月 ・京都地域包括ケア推進機構が設立 ・政府・与党社会保障改革検討本部が社会保障・税一体改革成案が決定</p> <p>7月 ・政府は消費税問題について2010年代半ばまでに段階的に10%まで引き上げることを社会保障・税一体改革の成案に明記 ・予防接種法が改正。今後、平成21年に発生したインフルエンザ（A/H1N1 2009）と同程度の感染力を持つ新型インフルエンザは予防接種法で対応</p> <p>9月 ・野田佳彦内閣が発足。厚生労働大臣に小宮山洋子氏が就任</p> <p>10月 ・高齢者の居住の安定確保に関する法律が改正施行サービス付き高齢者専用賃貸住宅が創設</p> <p>11月 ・野田首相、TPP交渉参加を表明。医療分野については日本の医療制度堅持を強調</p> |
| 2012 (平成24) | | <p>1月 ・在宅療養あんしん病院登録システムが開始</p> |

| 年次 | 協会のあゆみ | 医療界と社会の主なできごと |
|----------------|---|--|
| 2012 (平成24) | <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義援金総額33,814,311円の福島県、宮城県及び岩手県への寄付を完了 ・岡本豊洋理事（現副会長）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・京都市における居宅サービス事業所及び介護保険施設の指定・届出・指導等の事務の権限移譲に関して京都府健康福祉部長・京都市保健福祉局長に要望 ・抗菌薬適正使用マニュアルを発行 <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護人材確保支援事業（看護職つながりネット）を京都府から受託実施 ・きょうと介護・福祉ジョブネット 看護職確保プロジェクトチームの運営を京都府から受託実施 ・京都中央看護保健専門学校を（専）京都中央看護保健大学校に校名変更 <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関における消費税問題に関し診療報酬での手当てに反対するとともに、仕入税額控除が可能でかつ患者負担のない制度に改正することを財務大臣、厚生労働大臣、近畿選出国會議員に要望 <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西岡和子氏（京都武田病院）が優良看護職員厚生労働大臣表彰を受賞 ・計画停電実施の反対と電力供給のための一層の努力を京都府知事・京都市長・関西電力社長に要望 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川順介副会長が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・リハビリテーション帳票マニュアル改訂版を発行 <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理帳票マニュアル改訂版を発行 | <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府・与党社会保障改革検討本部が社会保障・税一体改革成案を決定 <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー法案が閣議決定 ・社会保障・税一体改革大綱が閣議決定 ・第6次京都府高齢者健康福祉計画（平成24～26年度）策定 ・第5期京都市民長寿すこやかプラン（平成24～26年度）策定 <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬・介護報酬同時改定（診療報酬全体+0.004%、介護報酬全体+1.2%） ・介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律が施行。介護療養型医療施設の廃止が平成30年3月末まで延期 ・介護福祉士及び介護職員等が一定の条件の下で痰の吸引等の行為を実施可能となる <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等対策特別措置法が公布 <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省が第2次「健康日本21」基本方針を告示 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・税一体改革関連法案が可決・成立 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不活化ポリオワクチンが定期予防接種に導入される ・2011年の死因別死亡数で「肺炎」が「脳血管疾患」を抜いて第3位となる。第1位は「悪性新生物」、第2位は「心疾患」で、3大要因が入れ替わったのは53年ぶり <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律が施行 ・京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞 ・野田第3次改造内閣が発足。厚生労働大臣に三井辨雄氏が就任 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度改革国民会議が設置 ・3種混合に不活化ポリオワクチンを加えた4種混合ワクチン（ジフテリア、百日咳、破傷風、不活化ポリオ）が定期予防接種としてスタート <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主党から自由民主党に政権交代し、安倍晋三内閣が発足。厚生労働大臣に田村憲久氏が就任 |
| 2013 (平成25) | <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀江克行氏（三菱京都病院）が産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・精神科医療機関と一般救急医療機関との連携体制構築を京都府知事に要望 <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久野成人副会長が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加に対する京都私立病院協会の基本方針を表明 ・放射線技師部会誌（第9号）を発行 | <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府保健医療計画が策定（平成25～29年度） ・京都府がん対策推進計画が策定（平成25～29年度） ・日本がTPP（環太平洋パートナーシップ）協定交渉への参加を表明 |

| 年次 | 協会のあゆみ | 医療界と社会の主なできごと |
|----------------|---|---|
| 2013 (平成25) | <p>4月 ・一般社団法人京都私立病院協会に改組</p> <p>5月 ・第11代会長に清水鴻一郎（京都伏見しみず病院）が就任</p> <p>7月 ・医療従事者認知症対応力向上研修事業を京都府から受託実施 ・吉田多美元事務局長がご逝去</p> <p>10月 ・京都私立病院協会会長杯第1回会員親睦ゴルフコンペを開催（以降、毎年開催）</p> <p>11月 ・清水 紘元会長が瑞宝双光章を受章 ・平成27年度診療報酬改定に関し厚生労働大臣に要望</p> | <p>4月 ・障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正 ・訪問介護員養成研修（1級～3級）及び介護職員基礎研修が介護職員初任者研修に一元化 ・ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がんワクチンが定期予防接種に導入</p> <p>7月 ・成人の風しん予防接種が開始</p> <p>8月 ・社会保障制度改革国民会議が最終報告書を公表 ・厚生労働省が「専門医の在り方に関する検討会」の最終報告書を公表</p> <p>10月 ・京都市式オレンジプラン（京都認知症総合対策推進計画）が策定</p> <p>12月 ・社会保障改革プログラム法が成立</p> |
| 2014 (平成26) | <p>1月 ・看護職員の確保対策に関し京都府知事、全日本病院協会、日本病院会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会に要望</p> <p>3月 ・富士原正人副会長が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞</p> <p>4月 ・KBS京都ラジオ番組「私たちの京都、つながりの医療」を放送開始（～2015年3月）</p> <p>7月 ・リハビリテーション帳票マニュアル改訂版を発行</p> <p>9月 ・私病協ホームページを全面リニューアル ・創立50周年記念事業として欧州（スペイン・フランス）医療事情視察を実施 ・清水鴻一郎会長・山田啓二京都府知事・門川大作京都市長による創立50周年記念座談会を開催</p> <p>10月 ・平成27年度介護報酬改定に関し、塩崎恭久厚生労働大臣等に要望 ・医療安全対策マニュアル改訂版を発行</p> <p>・創立50周年記念病院対抗ボウリング大会を京都市域（10月）と北部地区（11月）で開催</p> <p>11月 ・平成27年度介護報酬改定に関し、麻生太郎財務大臣に要望 ・創立50周年記念式典を開催</p> <p>・府民の元気づくり事業「あすKyoフェスタ」に参加</p> | <p>4月 ・消費税率が5%から8%に引き上げ ・診療報酬改定（全体+0.1%）消費税補填分1.36%のプラス分を除いて実質-1.26%のマイナス改定</p> <p>5月 ・精神保健福祉法が改正</p> <p>6月 ・医療介護総合確保推進法案（19の医療・介護関係法案）が可決・成立。新たな財政支援制度として都道府県に904億円の基金が設置</p> <p>8月 ・西アフリカでエボラ出血熱が流行。WHOが感染拡大を受けて「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言</p> <p>9月 ・安倍改造内閣で厚生労働大臣に塩崎恭久氏が就任</p> <p>10月 ・病床機能報告制度が開始 ・水痘及び高齢者肺炎球菌ワクチンの定期予防接種が開始</p> <p>11月 ・消費増税分を財源とした平成26年度地域医療介護総合確保基金が内示（京都府24.7億円） ・安倍晋三首相が消費税10%への増税について2017年4月へ先送りを表明 ・改正感染症法が成立。感染症が疑われる者に対し、検体採取の要請を可能とする等の規定が盛り込まれる</p> |
| 2015 (平成27) | <p>1月 ・京都府医療勤務環境改善支援センターの運営を京都府から受託 ・感染症対策マニュアル改定版を発行</p> <p>3月 ・藤澤明生幹事が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞 ・花房節哉元理事がご逝去</p> | <p>1月 ・京都府薬物の濫用の防止に関する条例が全面施行</p> <p>2月 ・平成27年度介護報酬改定が諮問・答申（全体▲2.27%）</p> |

京都私立病院協会 役員の変遷と業務分担

| 2009(平成21)年～2010(平成22)年度 | | 2011(平成23)年～2012(平成24)年度 | |
|--|--|---|---|
| 会 長 | 真鍋克次郎(八幡中央病院) | 会 長 | 真鍋克次郎(八幡中央病院) |
| 副会長 | 出射靖生(京都回生病院) 吉川順介(吉川病院) 中野種樹(長岡病院) 久野成人(久野病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 松井道宜(京都九条病院) 武田隆久(武田病院グループ) | 副会長 | 出射靖生(京都回生病院)(～2012.1) 吉川順介(吉川病院) 中野種樹(長岡病院) 久野成人(久野病院) 松井道宜(京都九条病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 武田隆久(武田病院グループ) |
| 理 事 | 秋山 仁(三菱京都病院) 有馬成紀(醍醐病院)(2010.6～) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路病院)(2010.6～) 岡本豊洋(第二岡本総合病院) 河端一也(新河端病院) 小森直之(なぎ辻病院) 近藤泰正(堀川病院) 滋岡嘉弘(宇治おうばく病院) 清水鴻一郎(京都伏見しみず病院) 清水 聡(京都南病院) 清水幸夫(シミズ病院) 相馬 靖(相馬病院) 谷 直介(北山病院)(～2010.5) 富田哲也(富田病院) 中谷泰幸(なぎ辻病院) | 理 事 | 秋山 仁(三菱京都病院)(～2011.5) 有馬成紀(醍醐病院) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路病院) 岡本豊洋(第二岡本総合病院) 河端一也(新河端病院) 小森直之(なぎ辻病院) 近藤泰正(堀川病院) 滋岡嘉弘(宇治おうばく病院) 清水鴻一郎(京都伏見しみず病院) 清水聡(京都南病院) 清水幸夫(シミズ病院) 相馬 靖(相馬病院) 富田哲也(富田病院) 中井洋一(京都桂病院)(2011.6～) 中谷泰幸(なぎ辻病院) |
| 監 事 | 大槻秋司(亀岡病院)(～2010.5) 清水 紘(嵯峨野病院) 高松恵美(京都成蹊法律事務所)(～2010.5) 高松晃司(京都成蹊法律事務所)(2010.6～) | 監 事 | 清水 紘(嵯峨野病院) 高松晃司(京都成蹊法律事務所) |
| <p>〈政策委員会〉 真鍋 出射 吉川 中野 久野 富士原 松井 武田</p> <p>〈渉外・交渉〉 真鍋 出射 清水鴻</p> <p>〈総務部〉 ◎出射 ○中野 理事/滋岡 有馬 地区別組織/京都市域一出射 北部地区一富士原 南部地区一岡本 職種・職務別組織/事務長会/中谷 滋岡 秋山 看護部長会/岡本 薬剤師部会/有馬 放射線技師部会/富田 臨床検査部会/清水聡 栄養士部会/秋山 リハビリテーション部会/河端 滋岡 岡田 医療従事者無料職業紹介事業運営委員会/滋岡 有馬 病院医療制度検討委員会/出射 中野 吉川 久野 富士原 松井 武田 協会ホームページ/小森 松井 近畿病院団体連合会/委員会一真鍋 出射 吉川 中野 久野 富士原 松井 武田 事務長会一中谷 滋岡 秋山 四病院団体協議会/武田 小森</p> <p>〈地域医療部〉 ◎武田 ○松井 理事/清水幸 清水聡 岡田 救急医療検討委員会/武田 富士原 清水幸 河端 小児救急医療電話相談事業/武田 二次病院群輪番制/京都市域一河端 山城北一岡本 京都市傷病届等提出勧奨事業/武田 感染症対策委員会/清水聡 院内感染対策推進事業運営委員会/松井 清水聡 医療安全対策委員会/武田</p> <p>〈保険部〉 ◎富士原 ○久野 ○出射 理事/中谷 診療報酬委員会/富士原 中谷 介護保険委員会/久野 出射 介護サービス第三者評価事業、介護サービス情報の公表事業/久野 出射/京都市新規介護認定調査事業 久野 出射 京都府医師会との保険医療懇談会/富士原 久野</p> <p>〈学術研修部〉 ◎吉川 ○久野 富士原 理事/岡本 近藤 富田 河端 京都病院学会理事会/吉川 久野 富士原 岡本 近藤 富田 河端 岡田 看護卒後教育検討委員会/岡本 幹部教育(中堅幹部職員研修)/滋岡 中谷 初級教育(教育研修基礎コース)/近藤 富田 富士原 保健医療管理者養成講座運営委員会/吉川 岡本 近藤 富田 医師臨床研修/吉川 久野 富士原 岡本 近藤 富田 河端</p> <p>〈経営管理部〉 ◎松井 ○中野 理事/小森 中谷 中井 環境問題委員会/松井 中野 中井 病院機能向上委員会/中野 岡本 中井 税制・補助金/小森</p> <p>〈厚生部〉 ◎中野 ○武田 理事/相馬 京都私立病院報編集委員会/中野 相馬 野球大会実行委員会 相馬 バレーボール大会実行委員会/岡田 フットサル大会実行委員会/富田</p> <p>〈一般社団法人認可検討委員会〉 真鍋 吉川 中野 久野 富士原 松井 武田</p> | | <p>〈政策委員会〉 真鍋 吉川 中野 久野 富士原 松井 武田</p> <p>〈渉外・交渉〉 真鍋 清水鴻</p> <p>〈総務部〉 ◎中野 理事/有馬 滋岡 中井 地区別組織/京都市域一中野 北部地区一富士原 南部地区一岡本 職種・職務別組織(事務長会)/中谷 滋岡 中井 看護部長会/岡本 薬剤師部会/有馬 放射線技師部会/富田 臨床検査部会/清水聡 栄養士部会/滋岡 リハビリテーション部会/河端 岡田 メディックセンター事業運営委員会/滋岡 有馬 中井 病院医療制度検討委員会/中野 久野 富士原 松井 武田 協会ホームページ/小森 松井 近畿病院団体連合会(委員会)/真鍋 吉川 中野 久野 富士原 松井 武田 事務長会/中谷 滋岡 中井 四病院団体協議会/武田 小森</p> <p>〈地域医療部〉 ◎武田 ○松井 理事/清水幸 清水聡 岡田 救急医療検討委員会/武田 富士原 清水幸 河端 二次病院群輪番制/京都市域一河端 山城北一岡本 感染症対策委員会/清水聡 医療安全対策委員会 武田 岡田 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会/富士原 武田 看護人材確保支援事業検討委員会/富士原 武田 滋岡 きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム/滋岡</p> <p>〈保険部〉 ◎富士原 ○久野 理事/近藤 中谷 診療報酬委員会/富士原 中谷 介護保険委員会/久野 近藤 介護サービス第三者評価事業/久野 近藤 京都市新規介護認定調査事業/久野 近藤 京都市第三者行為傷病届等提出勧奨事業 武田 〈学術研修部〉 ◎吉川 ○久野 富士原 理事/岡本 河端 近藤 富田 京都病院学会理事会/吉川(～2012.12) 久野 富士原 武田(2012.12～) 岡田 岡本 河端(～2012.12) 近藤 清水聡(2012.12～) 富田 看護卒後教育/岡本 幹部教育(中堅幹部職員研修) 滋岡 中井/初級教育(教育研修基礎コース) 近藤 富田 富士原 保健医療管理者養成講座運営委員会/吉川 岡本 近藤 富田 医師臨床研修/吉川 久野 富士原 岡本 河端 近藤 富田</p> <p>〈経営管理部〉 ◎松井 ○中野 理事/小森 中谷 中井 環境問題委員会/松井 中野 中井 病院機能向上委員会/中野 岡本 中井 税制・補助金/小森</p> <p>〈厚生部〉 ◎中野 ○武田 理事/相馬 京都私立病院報編集委員会/中野 相馬 野球大会実行委員会 相馬 バレーボール大会実行委員会/岡田 フットサル大会実行委員会/富田</p> <p>〈一般社団法人認可検討委員会〉 真鍋 吉川 中野 久野 富士原 松井 武田</p> | |

2013(平成25)年～2014(平成26)年度

| | |
|---|--|
| 会 長 | 清水鴻一郎(理事～2013.5 2013.5～) |
| 副会長 | 吉川順介(吉川病院)(～2013.3) 中野種樹(長岡病院)(～2013.5) 久野成人(久野病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 武田隆久(武田病院グループ) 岡本豊洋(第二岡本総合病院)(理事～2013.5 2013.5～) 富田哲也(富田病院)(理事～2013.5 2013.5～) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路病院)(理事～2013.5 2013.5～) |
| 理 事 | 有馬成紀(醍醐病院) 小森直之(なぎ辻病院) 中井洋一(京都桂病院) |
| 幹 事 | 石丸庸介(田辺中央病院)(2013.5～) 河端一也(新河端病院)(理事～2013.5 2013.5～) 菅 知行(愛生会山科病院)(2013.5～) 近藤泰正(堀川病院)(理事～2013.5 2013.5～) 滋岡嘉弘(宇治おうばく病院)(～2013.5) 清水 聡(京都南病院)(2013.5～) 清水 聡(京都南西病院)(2013.5～) 清水幸夫(シミズ病院)(理事～2013.5 2013.5～) 相馬 靖(相馬病院)(～2013.3) 中谷泰幸(なぎ辻病院)(理事～2013.5 2013.5～) 藤澤明生(賀茂病院)(2013.5～) 松井道宣(京都九条病院)(副会長～2013.5 2013.5～) 八木利之(洛和会音羽病院)(2013.5～) |
| 監 事 | 大槻秧司(亀岡病院)(2013.5～) 清水 紘(嵯峨野病院) 真鍋克次郎(八幡中央病院)(会長～2013.5 2013.5～) 高松晃司(京都成蹊法律事務所) |
| <p>〈政策委員会〉 清水鴻 久野 富士原 武田 岡本 富田 岡田 〈渉外・交渉〉 清水鴻 久野 富士原 武田 〈総務部〉 ◎久野 ◎富士原 ◎武田 地区別組織/京都市域一 久野 北部地区一富士原 南部地区一岡本 職種・職務別組織/ 事務長会一中井 八木 看護部長会/岡本 石丸 薬剤師部会/ 有馬 放射線技師部会/菅 臨床検査部会/清水聡 栄養士部会 /藤澤 リハビリテーション部会/岡田 河端 メディワークセ ンター事業運営委員会/有馬 中井 八木 病院医療制度検討委 員会/武田 久野 富士原 岡本 富田 岡田 協会ホームペ ージ/小森 近畿病院団体連合会(委員会)/清水鴻 久野 富士原 武田 岡本 富田 岡田 事務長会/中井 八木 四病院団体協 議会/武田 小森 〈地域医療部〉 ◎武田 ○富田 救急医療検討委員会/武田 清水 二次病院群輪番制/京都市域一河端 山城北一石丸 感染症対策 委員会一清水聡 医療安全対策委員会一小森 武田 在宅療養あ んしん病院登録システム一久野 富士原 府民リハビリテーショ ン啓発支援事業検討委員会/富士原 武田 看護人材確保支援事 業検討委員会/富士原 武田 中谷 きょうと介護・福祉ジョブ ネット看護職確保プロジェクトチーム/中谷 病院認知症対応力 向上事業/武田 富田 有馬 近藤 〈保険部〉 ◎富士原 ○久野 診療報酬委員会/富士原 中井 中 谷 京都市第三者行為傷病届等提出勸奨事業/武田 介護保険委 員会/久野 清水聡 介護サービス第三者評価事業/久野 清水 聡 京都市新規介護認定調査事業/久野 清水聡 〈学術研修部〉 ◎岡田 ○岡本 京都病院学会理事会/富士原 武 田(2012.12～) 富田 岡本 岡田 近藤 清水聡 看護卒後教 育/岡本 石丸 幹部教育(中堅幹部職員研修)/中井 八木 初級教育(教育研修基礎コース)/清水聡 菅 保健医療管理者 養成講座運営委員会/岡田 近藤 医師臨床研修/岡本 清水聡 〈経営管理部〉 ◎岡本 ○富士原 環境問題委員会/岡本 松井 病院機能向上委員会/富士原 岡本 税制・補助金/小森 〈厚生部〉 ◎富田 ○岡田 京都私立病院報編集委員会/近藤 野 球大会実行委員会/八木 バレーボール大会実行委員会/岡田 フットサル大会実行委員会/富田 会員親睦ゴルフコンペ/富士 原 〈創立50周年記念事業〉 創立50周年記念事業検討委員会/清水鴻/ 久野 富士原 武田 岡本 富田 岡田</p> | |

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

| 委員会等の名称 | 2010(平成22年) |
|-------------------------------------|--------------------|
| 【京都府関係】 | |
| 京都府医療審議会・法人部会 | 真鍋克次郎 |
| 〃 | |
| 京都府医療対策協議会 | 真鍋克次郎 |
| 〃 | |
| 京都府地域医療支援センター運営会議 | — |
| 北部地域看護師確保のあり方懇談会 | — |
| 京都府あんしん医療制度研究会 | 真鍋克次郎 |
| 後期高齢者医療広域連合と京都府の連携の在り方に関する検討会 | — |
| 京都地域包括ケア実施委員会 | 久野成人(委員会)・出射靖生(部会) |
| 京都地域包括ケア推進機構理事会 | — |
| 〃 | |
| 在宅療養あんしんプロジェクト会議 | — |
| 認知症総合対策プロジェクト全体会(医療・ケア連携部会) | — |
| 2025年を見据えた看取り対策協議会 | — |
| 京都府高齢者サービス総合調整推進会議 | — |
| 京都府救急医療懇談会 | 武田隆久 |
| 京都府高度救急業務推進協議会 | 武田隆久 |
| 京都府周産期医療協議会 | — |
| 京都府周産期母子医療センター全体会議 | — |
| 京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議 | 武田隆久 |
| 精神科救急医療連携強化会議 | |
| 京都府災害拠点病院等連絡協議会 | |
| 災害時要配慮者避難支援センター幹事会 | |
| 京滋ドクターヘリ運航準備調整委員会 | |
| 医療チームの救急現場派遣に関する検討会 | |
| 京都府地域リハビリテーション連携推進会議 | 出射靖生 |
| 京都府リハビリテーション部会(総合リハビリテーション推進プラン検討会) | 出射靖生 |
| 京都府リハビリテーション教育センター運営委員会 | |
| 京都府がん対策推進協議会 | 富士原正人(検討会議) |
| 京都府がん医療戦略推進会議 | — |
| 京都府肝炎対策協議会 | — |
| 京都府新型インフルエンザ対策専門家会議 | 松井道宣 |
| 京都府インフルエンザワクチン等確保検討会 | 清水 聡 |
| 新型インフルエンザ対策協力医療機関連携会議 | — |
| エイズ治療拠点病院等連絡会議 | — |
| 京都府難病医療連絡協議会 | 吉川順介 |
| 〃 | |
| 明日の京都づくり府民会議 | 真鍋克次郎 |
| 京都府省エネ・節電対策連絡調整会議 | — |
| 今夏の節電対策に係る健康福祉関係団体連絡調整会議 | — |
| こども健康情報管理システムの構築に係る協議会 | — |
| 京都府在宅療養児支援体制検討委員会 | — |
| 京都府要保護児童対策地域協議会 | — |
| 子ども・子育て緊急支援プラン検討委員会 | — |
| 〃 | |
| 京都少子化対策総合戦略会議 | — |
| 京都府先天性代謝異常等検査検討委員会 | — |
| 京都府与謝の海病院在り方検討有識者会議 | — |
| 京都府立医科大学附属病院の機能強化の在り方検討委員会 | — |
| 21世紀の少子高齢化にふさわしい府立洛南病院の整備構想懇談会 | — |
| 京都府ナースセンター運営会議 | 吉川順介 |
| 京都府看護職員需給見直し検討委員会 | 岡本豊洋 |
| 京都8020運動推進協議会 | — |
| 京都府自殺対策連絡協議会 | — |
| 健康情報拠点薬局設置推進事業に係る意見交換会 | — |
| 新基金活用プロジェクト会議 | — |
| 新基金活用プロジェクトICT推進チーム | — |
| 新基金活用プロジェクト多職種連携による研修推進チーム | — |
| 京都府介護職員等医療的ケア研修連絡会議 | — |
| 京都府雇用創出・就業支援計画推進会議 | 津崎桂子 |
| ステキ女子のからだメンテプロジェクト応援団体会議 | — |
| 〃 | |
| 【京都市関係】 | |
| 地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会 | 真鍋克次郎 |
| 〃 | |
| 京都市リハビリテーション行政の在り方検討専門分科会 | — |

| 2011(平成23年) | 2012(平成24年) | 2013(平成25年) | 2014(平成26年) |
|-------------|-------------|-----------------|-------------|
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎(～12月) | 久野成人 |
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 久野成人(2014年1月～) | 清水鴻一郎 |
| 清水 聡 | 清水 聡 | 清水鴻一郎(～2014年1月) | 清水 聡 |
| — | — | 清水 聡 | — |
| 真鍋克次郎 | — | — | — |
| 久野成人 | 久野成人 | — | — |
| — | — | — | — |
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎(～2014年1月) | 清水鴻一郎 |
| 久野成人・富士原正人 | 久野成人・富士原正人 | 久野成人(2月～) | 久野成人・富士原正人 |
| — | 武田隆久 | 久野成人・富士原正人 | 武田隆久 |
| — | — | 武田隆久 | 久野成人 |
| — | — | 久野成人(準備会) | 久野成人 |
| — | — | — | 武田隆久 |
| 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 |
| 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 |
| 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | — | 武田隆久 |
| — | — | — | 富士原正人 |
| 出射靖生 | 岡田 純 | 岡田 純 | 岡田 純 |
| — | — | 岡田 純 | 岡田 純 |
| — | — | 岡田 純 | 岡田 純 |
| 富士原正人 | 富士原正人 | 富士原正人 | 富士原正人 |
| 富士原正人 | 富士原正人 | 富士原正人 | 富士原正人 |
| — | — | 富士原正人 | 富士原正人 |
| 松井道宣 | 松井道宣 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| — | 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| — | 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| 吉川順介 | 吉川順介 | 富田哲也 | 富田哲也 |
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎(～2014年1月) | 清水鴻一郎 |
| 中野種樹 | 武田隆久・滋岡嘉弘 | 富田哲也(2月～) | 清水鴻一郎 |
| — | 中野種樹・滋岡嘉弘 | 清水鴻一郎(～2014年1月) | 中井洋一・中谷泰幸 |
| — | 武田隆久 | 中井洋一・中谷泰幸 | 中井洋一・中谷泰幸 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | 岡田 純 | 岡田 純 |
| — | — | 清水鴻一郎 | 清水鴻一郎 |
| — | — | 清水鴻一郎(～2014年1月) | 清水鴻一郎 |
| — | — | 武田隆久(2月～) | 清水鴻一郎 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| 真鍋克次郎 | 武田隆久 | — | — |
| — | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎 | 清水鴻一郎 |
| — | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎(～2014年1月) | 清水鴻一郎 |
| — | — | 久野成人(2月～) | 清水鴻一郎 |
| 吉川順介 | 吉川順介 | 岡本豊洋 | 岡本豊洋 |
| 岡本豊洋 | — | — | — |
| — | — | 富田哲也 | 富田哲也 |
| — | — | 有馬成紀 | 有馬成紀 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | — | 武田隆久 |
| — | — | — | 武田隆久 |
| — | — | — | 久野成人 |
| — | 久野成人 | 久野成人 | — |
| 津崎桂子 | 津崎桂子 | 津崎桂子 | 津崎桂子 |
| — | — | 津崎桂子 | 津崎桂子 |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎(～12月) | 久野成人 |
| — | 真鍋克次郎 | 久野成人(2014年1月～) | — |
| — | — | 真鍋克次郎(～5月) | — |

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

| 委員会等の名称 | 2010(平成22年) |
|---|-----------------|
| 京都市安心救急ネット京都推進会議 | 真鍋克次郎 |
| 〃 | 〃 |
| 京都市救急救命士に関する懇話会 | 武田隆久 |
| 京都市・乙訓メディカルコントロール協議会 | 京都市／武田隆久・清水幸夫 |
| 〃 | 乙 訓／河端一也 |
| 京都市急病診療所運営委員会 | — |
| 京都市健康づくり協会 | 吉川順介 |
| 京都市新型インフルエンザ等対策有識者会議 | 松井道宣 |
| 京都市HIV 感染症対策専門委員会 | 清水 聡 |
| 京都市医療・福祉施設の省エネ・節電対策普及研究会 (BEMS 普及コンソーシアム京都) | — |
| 京都市看護師確保調査検討委員会 | 出射靖生・寺口淳子 |
| 京都市介護認定審査会 | 稲岡秀陽(京都九条)・ |
| 〃 | 坂田芳明(愛生会山科)・ |
| 〃 | 朴 容成(西京都)・ |
| 〃 | 牧野荒太郎(愛寿会同仁)・ |
| 〃 | 松本行治(金井) |
| 【京都府医師会関係】 | |
| 京都府医療推進協議会(代表者会議・実行委員) | 真鍋克次郎 |
| 救急委員会 | 吉川順介・武田隆久・清水幸夫・ |
| 京都府交通事故医療連絡協議会 | 河端一也 |
| 学術・生涯教育委員会 | 武田隆久・河端一也 |
| 医療安全対策委員会 | 近藤泰正 |
| 医療事故対策処理室(外科領域) | 武田隆久 |
| 医療事故対策処理室(整形外科領域) | 富士原正人 |
| 臨床研修のあり方に関する検討委員会 | 勝見泰和(宇治武田) |
| 京都府臨床研修指定病院協議会 | 岡本豊洋 |
| 感染症対策委員会 | — |
| 京都府リハビリテーション連絡協議会(地域連携バス運営会議) | — |
| 社会保険研究委員会 | 出射靖生 |
| 【京都府内医療・介護・福祉関係機関】 | |
| 公益社団法人京都府介護支援専門員会 | 清水 紘 |
| 公益財団法人日本医療機能評価機構事業推進協議会 | 中野種樹・岡本豊洋 |
| 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構 | 久野成人 |
| 京都府国民健康保険団体連合会介護給付費審査会(医療部会) | 清水 紘 |
| 京都府国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会 | 久野成人 |
| きょうと介護・福祉ジョブネット幹事会 | 滋岡嘉弘 |
| 社会を明るくする運動京都府推進委員会 | 真鍋克次郎 |
| 看護師等の「雇用の質」向上のための取組に係る企画委員会 | — |
| 看護師等の「雇用の質」向上のための取組に係る企画委員会実務担当者会議 | — |
| 京都労働局雇用均等行政推進員 | 津崎桂子 |
| NPO法人京都禁煙推進研究会医療・介護連携部会 | — |
| 京都府歯科医師会医科・歯科・調剤連携等実証事業実態調査会 | — |
| 京都栄養医療専門学校教育課程編成委員 | — |
| 【中央病院団体関係】 | |
| 日本病院会常任理事 | 武田隆久 |
| 日本病院会代議員 | 清水 紘・真鍋克次郎 |
| 全日本病院協会理事 | 清水 紘 |
| 全日本病院協会代議員 | 小森直之・清水鴻一郎 |
| 全日本病院協会京都府支部長 | 出射靖生 |
| 日本医療法人協会副会長 | — |
| 日本医療法人協会常務理事 | 武田隆久・小森直之 |
| 日本医療法人協会理事 | — |
| 日本医療法人協会京都支部長 | 武田隆久 |

| 2011(平成23年) | 2012(平成24年) | 2013(平成25年) | 2014(平成26年) |
|---|---|--|---|
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎(～2014年1月) 武田隆久(2月～) 武田隆久 | 武田隆久 |
| 武田隆久 京都市／武田隆久・清水幸夫 乙訓／河端一也 | 武田隆久 京都市／武田隆久・清水幸夫 乙訓／河端一也 | 京都市／武田隆久・清水幸夫 乙訓／河端一也 | 京都市／武田隆久・清水幸夫 乙訓／河端一也 |
| — | 相馬 靖 | 菅 知行 | 菅 知行 |
| 吉川順介 | 吉川順介 | 小森直之 | 小森直之 |
| 松井道宣 | 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| — | — | 中井洋一・中谷泰幸 | 中井洋一・中谷泰幸 |
| 出射靖生・寺口淳子 | — | — | — |
| 稲岡秀陽・ 坂田芳明・ 朴 容成・ 牧野荒太郎・ 松本行治 | 稲岡秀陽・ 坂田芳明・ 朴 容成・ 牧野荒太郎・ 松本行治 | 稲岡秀陽・ 坂田芳明・ 牧野荒太郎・ 窓場勝之(京都博愛会)・ 岡本竜太(第二南診療所) | 稲岡秀陽・ 坂田芳明・ 牧野荒太郎・ 窓場勝之・ 岡本竜太 |
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 武田隆久 | 武田隆久 |
| 吉川順介・武田隆久・清水幸夫・ 河端一也 | 吉川順介・武田隆久・河端一也 | 富士原正人・武田隆久・河端一也 | 富士原正人・武田隆久・河端一也 |
| 武田隆久・河端一也 | 武田隆久・河端一也 | 武田隆久・河端一也 | 武田隆久・河端一也 |
| 近藤泰正 | 近藤泰正 | 近藤泰正 | 近藤泰正 |
| 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 |
| 富士原正人 | 富士原正人 | 富士原正人 | 富士原正人 |
| 勝見泰和(宇治武田) | 勝見泰和(宇治武田) | 勝見泰和(宇治武田) | 勝見泰和(宇治武田) |
| 岡本豊洋 | 岡本豊洋 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| — | 岡本豊洋 | 岡本豊洋 | 岡本豊洋 |
| — | 清水 聡 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| 出射靖生 | 出射靖生 | 岡田 純 | 岡田 純 |
| — | — | 岡田 純 | 岡田 純 |
| 清水 紘 | 清水 紘 | 久野成人 | 久野成人 |
| 中野種樹・岡本豊洋 | 中野種樹・岡本豊洋 | 富士原正人・岡本豊洋 | 富士原正人・岡本豊洋 |
| 久野成人 | 久野成人 | 久野成人 | 久野成人 |
| 清水 紘 | 久野成人 | 清水 聡 | 清水 聡 |
| 久野成人 | 久野成人 | 清水 紘 | 清水 紘 |
| 滋岡嘉弘 | 滋岡嘉弘 | 中谷泰幸 | 中谷泰幸 |
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 富田哲也 | 富田哲也 |
| 真鍋克次郎 | 真鍋克次郎 | 清水鴻一郎 | — |
| — | 津崎桂子 | 津崎桂子 | — |
| 津崎桂子 | 津崎桂子 | 津崎桂子 | 津崎桂子 |
| — | — | 岡本豊洋 | 岡本豊洋 |
| — | — | 武田隆久 | 武田隆久 |
| — | — | 茨木孝二(亀岡) | 茨木孝二(亀岡) |
| 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 |
| 清水 紘・真鍋克次郎 | 清水 紘・真鍋克次郎 | 清水 紘・久野成人 | 清水 紘・久野成人 |
| 清水 紘 | 清水 紘 | 清水 紘 | 清水 紘 |
| 小森直之・清水鴻一郎 | 小森直之・清水鴻一郎 | 久野成人・小森直之 | 久野成人・小森直之 |
| 出射靖生 | 出射靖生 | 清水 紘 | 清水 紘 |
| — | — | 小森直之 | 小森直之 |
| 武田隆久・小森直之 | 武田隆久・小森直之 | — | — |
| — | — | 富士原正人 | 富士原正人 |
| 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 | 武田隆久 |

各委員会委員名簿 (2010~2014)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

※当事者のみによる会合等は除外しました。前掲の業務分担で確認してください。

●事務長会常任委員会 (部会別)

10年度 ◎中谷泰幸(なぎ辻) 【経営部】○山本勝美(京都南) 秋山 仁(三菱京都) 伊藤邦治(西陣) 内田 寛(京都民医連中央病院) 蔭山嘉英(比叡) 北村智明(愛生会山科) 白井秀朗(富田) 樋口雅信(京都八幡) 【保険部】○永井佑二(京都九条) 茨木孝二(亀岡) 浅田 淳(長岡) 鈴木秀哉(京都南西) 高田浩之(木津屋橋武田) 竹山裕治郎(第二岡本総合 ~10.5) 水落美知明(第二岡本総合 10.6~) 見野和子(久野) 山田 剛(松ヶ崎記念) 【労務部】滋岡嘉弘(宇治おうばく) 中江美隆(丹後中央 ~10.5) 中井洋一(京都桂) 河合 洋(洛和会音羽 10.7~) 北岸智志(洛和会音羽~10.6) 滝川和信(岩倉) 田口健治(もみじヶ丘) 山田正明(堀川) 渡辺高志(金井) 和田政美(京都ルネス 10.6~)

11年度・12年度 ◎中谷泰幸(なぎ辻) 【経営部】○山本勝美(京都南) 秋山 仁(学研都市) 伊藤邦治(西陣 ~11.5) 荒木朝実(賀茂 11.6~) 内田 寛(京都民医連中央病院) 蔭山嘉英(比叡 ~11.5) 北村智明(愛生会山科) 白井秀朗(富田) 樋口雅信(京都八幡 ~11.5) 福島伸之(ほうゆう 11.6~) 宝輪克博(武田病院グループ 11.6~) 【保険部】○永井佑二(京都九条) 茨木孝二(亀岡) 浅田 淳(長岡) 小中宏三(シミズ 11.9~) 鈴木秀哉(京都南西 ~11.5) 高田浩之(木津屋橋武田 ~11.5) 中川正之(なごみの里 11.6~) 水落美知明(第二岡本総合) 見野和子(久野) 山田 剛(松ヶ崎記念 ~11.8) 吉田恭博(比叡 11.6~) 【労務部】○滋岡嘉弘(宇治おうばく) 中井洋一(京都桂) 市場真澄(いわくら 11.10~) 小嶋明彦(もみじヶ丘 12.6~) 河合 洋(洛和会音羽 ~23.8) 滝川和信(岩倉 ~11.9) 田口健治(もみじヶ丘 ~12.5) 八木利之(洛和会音羽 11.9~) 山口浩二(京都ルネス 12.6~) 山田正明(堀川) 渡辺高志(金井) 和田政美(京都ルネス ~12.5)

13年度・14年度 ◎中井洋一(京都桂) ◎中谷泰幸(なぎ辻 ~13.5) 【経営部】○秋山 仁(学研都市 ~14.8 京都南西 14.9~) ○山本勝美(京都南 ~13.5) 白井秀朗(富田) 荒木朝実(賀

茂) 内田 寛(京都民医連中央病院) 岡田周一(京都きづ川 14.6~) 北村智明(愛生会山科 ~14.5) 福島伸之(ほうゆう) 宝輪克博(武田病院グループ) 【保険部】○茨木孝二(亀岡) ○永井佑二(京都九条 ~13.5) 水落美知明(第二岡本総合) 浅田 淳(長岡) 小中宏三(シミズ ~14.5 洛西ニュータウン 14.6~) 中川正之(なごみの里) 見野和子(久野) 吉田恭博(比叡) 【労務部】○中井洋一 ○滋岡嘉弘(宇治おうばく ~13.5) 山田正明(堀川) 市場真澄(いわくら) 小嶋明彦(もみじヶ丘) 八木利之(洛和会音羽) 山口浩二(京都ルネス) 渡辺高志(金井)

●看護部長会

10年度 【総務委員会】◎寺口淳子(京都南) 海老成子(金井) 小松美幸(医仁会武田総合) 須川裕子(西京) 西岡和子(京都武田) 林千鶴子(京都桂) 矢田貴子(堀川) 【教育委員会】◎須川裕子(西京) ○西岡和子(京都武田) ○矢田貴子(堀川) 中川美代子(西京都) 長谷川寿子(京都博愛会) 林千鶴子(京都桂) 真澄八恵子(京都大橋総合) 塚本美晴(宇治武田) 中島美代子(西陣) 蛭原桂子(三菱京都) 岡むつ美(保健衛生) 山室仁美(中央看護) 【福利厚生委員会】◎海老成子(金井) ○小松美幸(医仁会武田総合) 大滝久枝(第一岡本) 大山清美(大島) 澤井利子(共和) 永友シマ子(洛西シミズ) 永野裕子(城北 ~11.2 東山武田 11.3~)

11・12年度 【総務委員会】◎海老成子(金井) 大山清美(大島) 小松美幸(医仁会武田総合) 寺口淳子(京都南) 須川裕子(西京) 西岡和子(京都武田) 林千鶴子(京都桂) 矢田貴子(堀川) 【教育委員会】◎矢田貴子(堀川) ○須川裕子(西京) ○林千鶴子(京都桂) 塚本美晴(宇治武田) 中川美代子(西京都 ~11.10) 中島美代子(西陣) 西岡和子(武田) 長谷川寿子(京都博愛会) 真澄八恵子(京都大橋総合) 蛭原桂子(三菱京都) 池西静江(中央看護) 外山絹子(保健衛生) 【福利厚生委員会】◎小松美幸(医仁会武田総合) ○大山清美(大島) 大滝久枝(第一岡本) 澤井利子(共和) 永友シマ子(洛西シミズ) 永野裕子(東山武田 ~11.12) 片山由美

(宇治川 11.6~)

13・14年度 【総務委員会】◎須川裕子(西京)
海老成子(金井) 永友シマ子(洛西シミズ ~
14.2) 大山清美(大島) 小松美幸(医仁会武田
総合) 寺口淳子(京都南) 西岡和子(京都武田)
林千鶴子(京都桂) 矢田貴子(堀川) 長谷川寿
子(京都博愛会) 片山由美(宇治川 14.3~) 【教
育委員会】◎林千鶴子(京都桂) ○矢田貴子(堀
川) ○長谷川寿子(京都博愛会) 須川裕子(西
京) 塚本美晴(宇治武田) 中川美代子(西京都
~11.10) 中島美代子(西陣) 真澄八恵子(京
都大橋総合) 蛭原桂子(三菱京都 ~13.12) 梅
村道代(日本パプテスト) 川上智子(第二岡本
総合) 田中雅子(川越) 小河陽子(京都きづ川
14.2~) 渡邊江身子(中央看護) 外山絹子(保
健衛生) 【福利厚生委員会】◎永友シマ子(洛西
シミズ~14.2) ◎大山清美(大島 14.3~) ○片
山由美(宇治川) 小松美幸(医仁会武田総合)
澤井利子(共和) 原田聡美(京都八幡) 中井友
子(がくさい~14.6) 南 京子(新京都南 14.2~)
桐畑宏子(西山 14.6~)

●薬剤師部会運営委員会

10年度 ◎大西敏之(東山武田) ○友沢明德(京
都九条) 太田垣昌志(武田) 清水泰明(京都南)
白波瀬芳美(新河端) 妻谷多美代(宇治徳洲会)
長谷部みどり(京都民医連中央) 橋元 誠(三
菱京都) 益野秀樹(久野)

11・12年度 ◎友沢明德(京都九条) ○橋元
誠(三菱京都) 清水泰明(新京都南) 白波瀬芳
美(新河端) 妻谷多美代(宇治徳洲会) 長谷部
みどり(京都民医連中央) 益野秀樹(久野) 馬
瀬久宜(医仁会武田) 守谷まさ子(綾部ルネス)

13・14年度 ◎友沢明德(京都九条) ○橋元
誠(三菱京都) 清水泰明(新京都南 ~13.5) 白
波瀬芳美(新河端) 妻谷多美代(宇治徳洲会)
沼田多重(西山病院 13.6~) 長谷部みどり(京
都民医連中央) 益野秀樹(久野) 馬瀬久宜(医
仁会武田) 守谷まさ子(綾部ルネス)

●放射線技師部会

10年度 ◎岩崎和幸(十条リハビリテーション)
○井上幹也(三菱京都) ○内尾孝経(新河端)

金山靖人(京都博愛会) 志垣隆一(宇治徳洲会)
原田 修(第二岡本総合) 宮本健一(洛和会音羽)
渡里 弘(京都九条)

11・12年度 ◎井上幹也(三菱京都) ○岩崎和
幸(十条リハビリテーション) ○渡里 弘(京
都九条) 永田哲朗(新河端) 嶋 耕二(宇治徳
洲会) 茶谷和真(田辺中央) 井上吉隆(京都博
愛会 ~13.2) 長嶋利夫(洛和会音羽) 小池義雄
(蘇生会総合)

13・14年度 ◎井上幹也(三菱京都) ○岩崎和
幸(十条リハビリテーション) ○渡里 弘(京
都九条) 永田哲朗(新河端) 嶋 耕二(宇治徳
洲会) 茶谷和真(田辺中央) 長嶋利夫(洛和会
音羽 ~13.7) 小池義雄(蘇生会総合) 横瀬圭三
(富田 13.9~14.3) 菊元力也(洛和会音羽 13.9~)
金山靖人(京都博愛会 14.7~)

●臨床検査部会

10年度 ◎山口俊朗(京都民医連中央) ○林
雅弘(相馬) ○西川 広(堀川) 荻野和大(三
菱京都) 木村 晃(久野) 工藤尚美(宇治 ~
10.11) 真田佳典(京都九条) 西村和司(武田)
石田洋一(京都保健衛生専門学校)

11・12年度 ◎山口俊朗(京都民医連中央) ○
林 雅弘(相馬) ○西村和司(武田) 荻野和大
(三菱京都) 真田佳典(京都九条) 木村 晃(久
野 ~11.9) 真田佳典(京都九条) 小泉善厚(堀
川) 牛尾敏夫(愛生会山科) 相良郁夫(京都保
健衛生専門学校)

13・14年度 ◎山口俊朗(京都民医連中央) ○
林 雅弘(相馬) ○西村和司(武田) 荻野和大
(三菱京都) 真田佳典(京都九条) 小泉善厚(堀
川) 牛尾敏夫(愛生会山科) 相良郁夫(京都保
健衛生専門学校 ~14.5) 黒田久子(京都保健衛
生専門学校 14.6~)

●臨床工学技士部会

14年度 ◎福山和男(京都民医連中央) ○井上
武(医仁会武田総合) 酒井徳昭(第二岡本総合)
光村 勝(西陣) 仲田昌司(三菱京都)

●栄養士部会運営委員会

10年度 ◎赤尾 志(宇治徳洲会) ○林 優里
(宇治武田) 亀田清子(醍醐 ~10.7) 河本久美

各委員会委員名簿 (2010~2014)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

子(西陣) 橋本真由美(高雄) 近藤加奈子(長岡 10.9~) 平石まつえ(第二京都回生 10.9~)

11・12年度 ◎赤尾 志(宇治徳洲会) ○林優里(宇治武田 ~11.5) 平石まつえ(第二京都回生 ~12.1、向日回生 12.5~) 亀田清子(醍醐 ~10.7) 河本久美子(西陣 ~11.5) 橋本真由美(高雄 ~11.5) 近藤加奈子(長岡 10.9~) 今西真(京都博愛会 11.6~) 宅間仁勢(十条リハビリテーション 11.6~) 佐伯美和(第一岡本 11.6~) 熊田久美(なぎ辻 12.5~)

13・14年度 ◎赤尾 志(宇治徳洲会) ○平石まつえ(向日回生) 今西 真(京都博愛会~13.6) 熊田久美(なぎ辻) 近藤加奈子(長岡~13.5) 堤 仁勢(十条リハビリテーション) 佐伯美和(第一岡本) 佐々木由美(洛和会音羽 13.6~) 福島由理(宇治おうばく 13.6~) 松木さなえ(嵯峨野 14.6~)

●リハビリテーション部会運営委員会

10年度 ◎大塚 晃(武田病院グループ) ○橋本幸典(京都大原記念) 秋本喜英(武田) 石川恵津子(京都民医連第二中央 10.10~) 植村健吾(シミズ) 尾谷雅章(京都きづ川) 加藤里美(第二京都回生) 志藤良子(京都民医連第二中央 ~10.9) 田後裕之(第二岡本総合) 西村ひろみ(洛和会音羽) 山田典子(京都南)

11・12年度 ◎大塚 晃(武田病院グループ) ○橋本幸典(京都大原記念) ○山田典子(新京都南) 秋本喜英(武田) 石川恵津子(京都民医連第二中央) 植村健吾(シミズ) 織田泰匡(田辺中央 12.7~) 尾谷雅章(京都きづ川) 渡邊聡(第二京都回生 ~12.1) 田後裕之(第二岡本総合) 中田千代志(堀川) 西村ひろみ(洛和会音羽)

13・14年度 ◎大塚 晃(武田病院グループ) ○橋本幸典(京都大原記念) ○織田泰匡(田辺中央) ○山田典子(新京都南 ~13.5) 秋本喜英(医仁会武田) 井上大輔(京都南 13.6~) 植村健吾(シミズ) 尾谷雅章(京都きづ川) 岸本紀和(がくさい 13.9~) 田後裕之(第二岡本総合) 中田千代志(堀川) 西村ひろみ(洛和会音羽)

●府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会

11・12年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純

河端一也 大塚 晃 山田典子 植村健吾 田後裕之 中田千代志

13・14年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純 河端一也 大塚 晃 植村健吾 田後裕之 中田千代志

●創立50周年記念事業検討委員会

13・14年度 ◎清水鴻一郎 久野成人 富士原正人 武田隆久 岡本豊洋 富田哲也 岡田 純

●私病報編集委員会

10年度 ◎中野種樹(担当副会長) 相馬 靖(担当理事) 鈴木秀哉 白井秀朗(以上、事務長会派遣) 横尾重子 中澤美知子(以上、看護部長会派遣)

11・12年度 ◎中野種樹(担当副会長) 相馬 靖(担当理事) 鈴木秀哉(~11.5) 白井秀朗 荒木朝実(11.6~)(以上、事務長会派遣) 横尾重子 中澤美知子

13・14年度 ◎中野種樹(~13.5 担当副会長) ◎近藤泰正(14.6~ 担当幹事) 相馬 靖(~13.3 担当理事) 白井秀朗 荒木朝実(以上、事務長会派遣) 横尾重子(~14.5) 中澤美知子 松本旗江(14.6~)(以上、看護部長会派遣)

●病院医療制度検討委員会

10年度 ◎出射靖生 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久(以上、担当副会長) 伊藤邦治(西陣) 水落美知明(第二岡本総合)(以上、事務長会派遣) 寺口淳子(京都南) 海老成子(金井)(以上、看護部長会派遣)

11・12年度 ◎出射靖生(~12.1) 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久(以上、担当副会長) 伊藤邦治(~11.5) 水落美知明 山田正明(堀川 11.6~)(以上、事務長会派遣) 海老成子 寺口淳子(以上、看護部長会派遣)

13・14年度 ◎武田隆久 吉川順介(~13.5) 中野種樹(~13.5) 久野成人 富士原正人 松井道宣(~13.5) 岡本豊洋(13.6~) 富田哲也(13.6~) 岡田 純(13.6~)(以上、担当副会長) 水落美知明(~13.5) 山田正明 秋山 仁(学研都市 13.6~)(以上、事務長会派遣) 海老成子 寺口淳子(~13.5) 須川裕子(西京 13.6~)(以上、

看護部長会派遣)

●政策委員会

10年度 ◎真鍋克次郎 出射靖生 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久

11・12年度 ◎真鍋克次郎 出射靖生(～12.1) 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久

13・14年度 ◎真鍋克次郎(～13.5) ◎清水鴻一郎(13.6～) 吉川順介(～13.3) 中野種樹(～13.5) 久野成人 富士原正人 武田隆久 岡本豊洋(13.6～) 富田哲也(13.6～) 岡田 純(13.6～)

●看護人材確保支援事業検討委員会

12年度 ◎富士原正人 武田隆久 滋岡嘉弘(以上、担当副会長・理事) 北村智明(事務長会派遣) 澤井美智子(第二岡本総合) 吉田乃里子(武田病院グループ) 田中誠一(医療法人三幸会) 和田正也(医療法人清仁会) 京都府健康福祉部医療課

13・14年度 ◎富士原正人 武田隆久 中谷泰幸(以上、担当副会長・幹事) 北村智明(～14.3) 内田 寛(事務長会派遣 14.6～) 澤井美智子(第二岡本総合～14.7) 吉田乃里子 田中誠一 夜久慎也(医療法人清仁会) 京都府健康福祉部医療課

●きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

12年度 滋岡嘉弘(担当理事) 廣野義之(京都府老人福祉施設協議会) 山本美枝(京都市老人福祉施設協議会) 松本よしえ(京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一(京都知的障害者福祉施設協議会) 水巻良明(京都府社会福祉協議会) ◎垣内佐代子(京都府看護協会) 宮川佳子(ハローワーク京都西陣) 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

13・14年度 中谷泰幸(担当幹事) 中森哲二(京都府老人福祉施設協議会) 山本美枝(京都市老人福祉施設協議会) ◎松本よしえ(京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一(京都知的障害者福祉施設協議会) 足立隆司(京都府社会福祉

協議会) 垣内佐代子(京都府看護協会) 栩野圭太(京都府訪問看護ステーション協議会) 野々垣治幸(ハローワーク京都西陣) 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

●会費検討委員会

10年度 ◎真鍋克次郎 出射靖生 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久

11年度 ◎真鍋克次郎 出射靖生(～12.1) 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久

●公益法人制度改革検討委員会(11年度から「一般社団法人認可検討委員会」、12年度から「一般社団法人設立検討委員会」に名称変更)

10年度 ◎真鍋克次郎 出射靖生 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久

11・12年度 ◎真鍋克次郎 出射靖生(～12.1) 吉川順介 中野種樹 久野成人 富士原正人 松井道宣 武田隆久

●病院認知症対応力向上事業検討委員会

13年度 委員/◎武田隆久(医仁会武田総合) 富田哲也(富田) 有馬成紀(醍醐) 近藤泰正(堀川) 澤田親男(北山) 成本 迅(京都府立医科大学) 堀井いつ子(宇治おうばく) 杉森悟子(長岡) 白井壯一(宇治おうばく) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 川上尚子(いわくら) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府)

14年度 委員/◎武田隆久(医仁会武田総合) 富田哲也(富田) 有馬成紀(醍醐) 近藤泰正(堀川) 澤田親男(北山) 成本 迅(京都府立医科大学) 堀井いつ子(宇治おうばく) 杉森悟子(長岡) 白井壯一(宇治おうばく) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 保田美幸(いわくら) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府)

●メディワークセンター事業運営委員会

10年度 ◎谷 直介(担当理事 平成～22.5) 有馬成紀(担当理事 平成22.6～) ○滋岡嘉弘(担当理事) 運営委員 和田政美(事務長会代表)

各委員会委員名簿 (2010~2014)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

澤井美智子(看護部長会代表) 津崎桂子(事務局局長) 竹内 誠 藤田直毅(紹介責任者) 運営協力委員 妻谷多美代(薬剤師部会代表) 井上幹也(放射線技師部会代表) 林 雅弘(臨床検査部会代表) 亀田清子(栄養士部会代表 ~平成22.7) 近藤加奈子(栄養士部会代表 平成23.3~) 11・12年度 ◎有馬成紀(担当理事) ○滋岡嘉弘(担当理事) 運営委員 八木利之、中川正之(事務長会代表) 澤井美智子(看護部長会代表) 津崎桂子(事務局局長) 竹内 誠 藤田直毅(紹介責任者) 運営協力委員 妻谷多美代(薬剤師部会代表) 井上幹也(放射線技師部会代表 ~平成23.5) 岩崎和幸(放射線技師部会代表 平成23.6~) 林 雅弘(臨床検査部会代表) 近藤加奈子(栄養士部会代表)

13・14年度 ◎有馬成紀(担当理事) ○滋岡嘉弘(担当理事 ~平成25.5) 中井洋一(担当理事 平成25.6~) 運営委員 小嶋明彦(平成25.6~)、北庄司和之(平成25.6~)、八木利之、中川正之(~平成25.5)(事務長会代表) 澤井美智子(看護部長会代表~平成25.7) 桐畑宏子(看護部長会代表 平成26.6~) 津崎桂子(事務局局長) 竹内 誠 藤田直毅(紹介責任者) 運営協力委員 妻谷多美代(薬剤師部会代表) 岩崎和幸(放射線技師部会代表) 林 雅弘(臨床検査部会代表) 福島由理(栄養士部会代表 平成26.3~)

●診療報酬委員会

10年度 ◎富士原正人(京都ルネス) ○中谷泰幸(なぎ辻) 永井佑二(京都九条) 高田浩之(木津屋橋武田) 見野和子(久野) 乾 均(第二岡本総合) 佐山博哉(堀川) 田中 享(吉祥院) 寺田幸子(西陣) 早田昌史(京都桂) 東山和富(愛生会山科) 船津智広(京都九条) 増本隆弘(洛和会音羽)

11・12年度 ◎富士原正人(京都ルネス) ○中谷泰幸(なぎ辻) 永井祐二(京都九条) 見野和子(久野) 高田浩之(木津屋橋武田) 乾 均(第一岡本) 阪田 伸(堀川 平成~11.5)、田中享(吉祥院)、寺田幸子(西陣) 早田昌史(京都桂 ~11.5) 東山和富(愛生会山科) 船津智広(京都九条) 増本隆弘(洛和会音羽 ~平成22.9、

洛和会丸太町 平成22.10~)

13・14年度 ◎富士原正人(京都ルネス) ○中井洋一(京都桂) 見野和子(久野) 吉田恭博(比叡) 小中宏三(洛西ニュータウン) 勘 裕一(京都桂) 杉浦隆史(新京都南) 高田浩之(木津屋橋武田) 高尾 勝(吉祥院) 船津智広(京都九条) 増本隆弘(洛和会音羽) 松岡繁秀(宇治徳洲会) 山本さゆり(西陣)

●介護保険委員会

10年度 ◎久野成人(久野) ○出射靖生(京都回生) 清水保夫(シミズ) 茨木孝二(亀岡) 山田 剛(松ヶ崎記念) 石田 満(愛寿会同仁) 入場 繁(蘇生会総合) 富岡章恵(五木田) 長谷川寿子(京都博愛会) 山本みどり(西陣~10.7) 湯浅由美(西陣 10.9~) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 木下大作(長岡) 原田陽子(第二久野) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) オブザーバー/京都府 京都市 京都府医師会 清水 紘(嵯峨野)

11・12年度 ◎久野成人(久野) ○近藤泰正(堀川 12.9~) ○出射靖生(京都回生 ~12.1) ○茨木孝二(亀岡) 清水保夫(シミズ) 中川正之(なごみの里 12.5~) 山田 剛(松ヶ崎記念~11.7) 石田 満(愛寿会同仁) 入場 繁(蘇生会総合) 富岡章恵(五木田~11.11) 荒木貴美子(松ヶ崎記念 12.3~) 長谷川寿子(京都博愛会) 湯浅由美(西陣) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 木下大作(長岡) 澤井八千代(第二久野 11.6~) 原田陽子(第二久野~11.5) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) オブザーバー/京都府 京都市 京都府医師会 清水 紘(嵯峨野)

13・14年度 ◎久野成人(久野) ○清水 聰(京都南西) ○茨木孝二(亀岡) 中川正之(なごみの里) 石田 満(愛寿会同仁) 荒木貴美子(松ヶ崎記念) 長谷川寿子(京都博愛会) 湯浅由美(西陣) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 木下大作(長岡) 澤井八千代(第二久野) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) オブザーバー/京都府 京都市 京都府医師会 清水 紘(嵯峨野)

●介護サービス第三者評価

評価調査者/石田 満(愛寿会同仁) 泉 佐和(田辺中央) 五十棲吉之(医療法人清仁会) 磯部真理子(介護老人保健施設西の京) 稲岡秀陽(京都九条) 岩澤京子(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 檜原 良 河合英子 川添チエミ(訪問介護事業所さかの) 小泉成子 兒玉邦子(服部医院) 小中宏三(洛西ニュータウン) 齊藤史雄(京都南) 佐々木理江(居宅支援わかば) 柴田節子 杵岡則子(中村) 高月孝之(久御山南) 高橋美津子(嵯峨野病院上野橋デイサービスセンター) 田畑博子 辻 優子 土屋佳苗(第二久野) 坪田美也子(介護老人保健施設茶山のさと) 戸田光一(紫野診療所) 永野裕子(特別養護老人ホームヴィラ鳳凰) 中村政一(中村) 野原陽子(高折) 長谷川寿子(京都博愛会) 濱頭香里(京都南病院居宅介護支援事業所) 原 康子(田辺記念) 星 綾子(総合ケアステーションわかば) 増田 典 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) 夜久慎也(医療法人清仁会) 山岡由佳(特別養護老人ホームヴィラ鳳凰) 八幡じゅん(京都民医連第二中央) 吉岡篤宏(特別養護老人ホームヴィラ稲荷山)

評価審査委員/中野かつら(特別養護老人ホームサンフラワーガーデン) 八崎幸子(介護老人保健施設萌木の村) 長谷川賢一(特別養護老人ホームヴィラ山科)

●救急医療検討委員会

10年度 ◎武田隆久(武田) 清水幸夫(シミズ) 石丸庸介(田辺中央) 安田冬彦(洛和会音羽) 北村智明(愛生会山科) 山本勝美(京都南) 蛭原桂子(三菱京都) 大山清美(大島)

11・12年度 ◎武田隆久(武田) 清水幸夫(シミズ) 石丸庸介(田辺中央) 安田冬彦(洛和会音羽) 北村智明(愛生会山科) 山本勝美(京都南) 蛭原桂子(三菱京都) 大山清美(大島)

13・14年度 ◎武田隆久(武田) 清水幸夫(シミズ) 石丸庸介(田辺中央) 安田冬彦(洛和会音羽) 水落美知明(第二岡本総合 平成25.6~) 北村智明(愛生会山科 ~平成26.5) 岡田周一(京都市きづ川 平成26.6~) 山本勝美(京都南 ~平

成25.5) 蛭原桂子(三菱京都 ~平成26.1) 南京子(新京都南 平成26.2~) 大山清美(大島)

●感染症対策委員会

10年度 ◎清水 聡(京都南) 土井章一(京都桂) 甲斐純子(蘇生会総合) 大滝久枝(第一岡本) 真澄八恵子(京都大橋) 小川恵美(京都民医連中央)

11・12年度 ◎清水 聡(京都南) 土井章一(京都桂) 甲斐純子(蘇生会総合) 大滝久枝(第一岡本) 真澄八恵子(京都大橋) 相良郁夫(京都保健衛生専門学校)

13・14年度 ◎清水 聡(京都南) ◎藤澤明生(賀茂) 土井章一(京都桂) 甲斐純子(蘇生会総合) 真澄八恵子(京都大橋) 竹内能美(男山) 相良郁夫(京都保健衛生専門学校 ~14.6) 黒田久子(京都保健衛生専門学校 14.5~)

●院内感染対策推進事業運営委員会

10年度 ◎松井道宣 ○清水 聡(以上、担当役員) 土井章一(京都桂) 甲斐純子(蘇生会総合) 大滝久枝(第一岡本) 真澄八恵子(京都大橋総合) 小川恵美(京都民医連中央) (以上、感染症対策委員会派遣) オブザーバー/一山 智(京都大学大学院医学研究科) 京都府 京都市

*2010(平成22)年度での事業受託終了により任期満了

●院内感染対策推進事業相談支援部会

10年度 一山 智 藤田直久(京都府立医科大学) 清水恒広(京都市立) 小坂直史(京都府立医科大学附属) 竹田和也(舞鶴共済) 夏目君幸(京都通信) 野路加奈子(京都南) 林田真由美(ICN) 山田久美子(京都市きづ川) 吉田乃里子(武田病院グループ) 小野 保(京都第二赤十字) 林 彰彦(京都市立) 樋口武史(京都大学医学部附属)

*2010(平成22)年度での事業受託終了により任期満了

●医療安全対策委員会

10年度 ◎武田隆久(医仁会武田総合) 岡田純(脳神経リハビリ北大路 平成22.6~) 山田正明(堀川) 蒲田 史(宇治) 益野秀樹(久野) 志垣隆一(宇治徳洲会) 真田佳典(京都九条)

橋本真由美 (高雄) 植村健吾 (シミズ)

11・12年度 ◎武田隆久 (医仁会武田総合) 岡田純 (脳神経リハビリ北大路) 福島伸之 (ほうゆう) 蒲田 史 (宇治) 益野秀樹 (久野) 井上幹也 (三菱京都) 真田佳典 (京都九条) 佐伯美和 (第一岡本) 植村健吾 (シミズ)

13・14年度 ◎小森直之 (なぎ辻) 武田隆久 (医仁会武田総合) 山田正明 (堀川) 川上智子 (第二岡本総合) 益野秀樹 (久野) 渡里 弘 (京都九条) 牛尾敏夫 (愛生会山科) 佐伯美和 (第一岡本) 植村健吾 (シミズ)

●保健医療管理者養成講座運営委員会

10年度 ◎吉川順介 (吉川) 岡本豊洋 (第二岡本総合) 近藤泰正 (堀川) 富田哲也 (富田) 浅田 淳 田口健治 (以上、事務長会派遣) 西岡和子 (以上、看護部長会派遣) 今井隆久 白井秀朗 (以上、保健医療管理士会) 佐藤真喜子 (京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子 (京都私立病院協会事務局長)

11・12年度 ◎吉川順介 (吉川) 岡本豊洋 (第二岡本総合) 近藤泰正 (堀川) 富田哲也 (富田) 浅田 淳 田口健治 (~12.5) 小嶋明彦 (12.9~) (以上、事務長会派遣) 西岡和子 (以上、看護部長会派遣) 今井隆久 白井秀朗 (以上、保健医療管理士会) 佐藤真喜子 (京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子 (京都私立病院協会事務局長)

13・14年度 ◎吉川順介 (吉川~13.3) ◎岡田純 (脳神経リハビリ北大路 14.4~) 近藤泰正 (堀川) 浅田 淳 小嶋明彦 (~13.5) 西海和成 (13.6~) (以上、事務長会派遣) 西岡和子 (以上、看護部長会派遣) 今井隆久 白井秀朗 (~13.5) 山田剛 (13.6~) (以上、保健医療管理士会) 佐藤真喜子 (京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子 (京都私立病院協会事務局長)

●京都病院学会

第45回 (2010年) 【学会長】吉川順介 (吉川) 【副学会長】久野成人 (久野) 中島正継 (京都第二赤十字) 【実行委員長】富士原正人 (京都ルネス) 【副実行委員長】野口雅滋 (京都桂) 【理事】富田哲也 (富田) 近藤泰正 (堀川) 河端一也 (新

河端) 岡本豊洋 (第二岡本総合) 向原純雄 (京都市立 ~2010年3月) 内藤和世 (京都市立) 中嶋俊彰 (済生会京都府) 三木真司 (三菱京都 2010年4月~) 【監事】出射靖生 (京都回生) 能見伸八郎 (社会保険京都) 【実行委員】石田彰 (吉川) 田淵宏政 (京都第二赤十字) 加藤泰子 (京都南西) 海老成子 (金井) 渡辺友理子 (京都第二赤十字) 中司明美 (京都桂) 田中孝洋 (京都博愛会) 益野秀樹 (久野) 豊山浩祥 (京都桂) 井上雄介 (三菱京都) 松本恵子 (三菱京都) 新井 喬 (宇治徳洲会) 麻田博之 (蘇生会総合) 岡島規至 (京都桂) 岡むつ美 (京都保健衛生専門学校) 神崎秀嗣 (京都保健衛生専門学校) 武藤輝子 (京都中央看護専門学校) 川添チエミ (嵯峨野)

第46回 (2011年) 【学会長】中島正継 (京都第二赤十字) 【副学会長】野口雅滋 (京都桂) 久野成人 (久野) 【実行委員長】内藤和世 (京都市立) 【副実行委員長】富士原正人 (京都ルネス) 【理事】中嶋俊彰 (済生会京都府) 三木真司 (三菱京都) 依田建吾 (京都第一赤十字) 岡本豊洋 (第二岡本総合) 近藤泰正 (堀川) 富田哲也 (富田) 河端一也 (新河端) 岡田 純 (脳神経リハビリ北大路) 【監事】能見伸八郎 (社会保険京都) 吉川順介 (吉川) 【実行委員】田淵宏政 (京都第二赤十字) 中川正己 (久野) 渡辺友理子 (京都第二赤十字) 平野ひとみ (京都桂) 海老成子 (金井) 大山清美 (大島) 田中孝洋 (京都博愛会) 益野秀樹 (久野) 青山絹子 (第二岡本総合) 宇田厚子 (洛和会音羽) 富安広幸 (社会保険京都) 新井 喬 (宇治徳洲会) 黒木裕士 (京都大学大学院医学研究科) 岡島規至 (京都桂) 岡むつ美 (京都保健衛生専門学校) 小西靖志 (京都保健衛生専門学校) 上谷美幸 (京都中央看護保健専門学校)

第47回 (2012年) 【学会長】久野成人 (久野) 【副学会長】富士原正人 (京都ルネス) 野口雅滋 (京都桂) 【実行委員長】岡田 純 (脳神経リハビリ北大路) 【副実行委員長】内藤和世 (京都市立) 【理事】岡本豊洋 (第二岡本総合) 近藤泰正 (堀川) 富田哲也 (富田) 河端一也 (新河端) 中

嶋俊彰(済生会京都府) 三木真司(三菱京都)
 依田建吾(京都第一赤十字) 【監事】吉川順介(吉川) 日下部虎夫(京都第二赤十字) 【実行委員】
 中川正己(久野) 篠田浩之(京都桂) 大山清美(大島) 矢田貴子(堀川) 下山佐知子(京都市立)
 平野ひとみ(京都桂) 田中孝洋(京都博愛会)
 國仲加世子(京都九条) 青山絹子(第二岡本総合)
 田仲達也(洛和会音羽) 中西輝子(京都大原記念)
 新井 喬(宇治徳洲会) 黒木裕士(京都大学大学院医学研究科) 岡島規至(京都桂) 志藤良子(介護老人保健施設茶山のさと) 田中眞里子(京都保健衛生専門学校) 小西靖志(京都保健衛生専門学校) 山本絵奈(京都中央看護保健大学校)
 第48回(2013年) 【学会長】野口雅滋(京都桂) 【副学会長】内藤和世(京都市立) 富士原正人(京都ルネス) 【実行委員長】中嶋俊彰(済生会京都府) 【副実行委員長】武田隆久(武田) 【理事】三木真司(三菱京都) 依田建吾(京都第一赤十字) 山下俊幸(京都府立洛南) 富田哲也(富田) 近藤泰正(堀川) 岡本豊洋(第二岡本総合) 岡田純(脳神経リハビリ北大路) 清水 聡(京都南) 【監事】日下部虎夫(京都第二赤十字) 久野成人(久野) 【実行委員】篠田浩之(京都桂) 山口浩二(京都ルネス) 安田幸子(京都桂) 吉田真奈里(京都市立) 矢田貴子(堀川) 長谷川寿子(京都博愛会) 小林啓治(武田) 中西昭人(愛寿会同仁) 青山絹子(第二岡本総合) 佐々木祐也(西陣) 平石宏行(京都桂) 新井 喬(宇治徳洲会) 黒木裕士(京都大学大学院医学研究科) 岡島規至(京都桂) 久保陽介(京都桂) 谷本千亜紀(京都保健衛生専門学校) 黒田久子(京都保健衛生専門学校) 篠谷洋司(京都中央看護保健大学校)
 第49回(2014年) 【学会長】富士原正人(京都ルネス) 【副学会長】岡本豊洋(第二岡本総合) 内藤和世(京都市立) 【実行委員長】武田隆久(武田) 【副実行委員長】中嶋俊彰(済生会京都府) 【理事】富田哲也(富田) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路) 近藤泰正(堀川) 清水 聡(京都南) 三木真司(三菱京都) 依田建吾(京都第一赤十字) 山下俊幸(京都府立洛南) 日下部虎夫(京都第二赤十字) 【監事】野口雅滋(京都桂)

久野成人(久野) 【実行委員】山口浩二(京都ルネス) 小田真澄(京都市立) 長谷川寿子(京都博愛会) 林千鶴子(京都桂) 吉田真奈里(京都市立) 眞壁五月(済生会京都府) 小林啓治(武田) 鈴木あや(京都九条) 藤崎 智(京都民医連中央) 伊澤浩輝(シミズ) 四方達二(京都南) 新井 喬(宇治徳洲会) 黒木裕士(京都大学大学院医学研究科) 岡島規至(京都桂) 久保陽介(京都桂) 谷本千亜紀(京都保健衛生専門学校) 黒田久子(京都保健衛生専門学校) 辻野睦子(京都中央看護保健大学校)

●環境問題委員会

10年度 ◎松井道宣(京都九条) 中野種樹(長岡) 滝川和信(岩倉) 渡邊高志(金井) 高橋鈴子(相馬) 矢田貴子(堀川) 西村和司(武田) 原田修(第二岡本総合) 林 優里(宇治武田)

11・12年度 ◎松井道宣(京都九条) 中野種樹(長岡) 市場真澄(いわくら 平成23.10~) 滝川和信(いわくら ~平成23.9) 渡邊高志(金井) 高橋鈴子(相馬) 矢田貴子(堀川) 西村和司(武田) 茶谷和真(田辺中央) 今西 真(京都博愛会 平成23.7~) 林 優里(宇治武田 ~平成23.5)

13・14年度 ◎岡本豊洋(第二岡本総合) 松井道宣(京都九条) 市場真澄(いわくら) 渡邊高志(金井) 高橋鈴子(相馬) 矢田貴子(堀川) 西村和司(武田) 茶谷和真(田辺中央) 平石まつえ(向日回生)

●病院機能向上委員会

10年度 ◎中野種樹(長岡) 岡本豊洋(第二岡本) 中井洋一(京都桂) 内田 寛(京都民医連中央) 増井 榮(医仁会武田) 矢田貴子(堀川)

11・12年度 ◎中野種樹(長岡) 岡本豊洋(第二岡本) 秋山 仁(学研都市) 内田 寛(京都民医連中央) 宝輪克博(宇治武田) 水島由紀(武田病院グループ) 矢田貴子(堀川)

13・14年度 富士原正人(京都ルネス) 岡本豊洋(第二岡本) 内田 寛(京都民医連中央) 林起予則(新京都南) 宝輪克博(宇治武田) 水島由紀(武田病院グループ) 齋藤文代(宇治徳洲会)

各委員会委員名簿 (2010~2014)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

●会員親睦ゴルフコンペ実行委員会

14年度 ◎富士原正人(担当副会長) 茨木孝二
宝輪克博 八木利之 山田正明(以上、事務長会
派遣)

●病院対抗野球大会実行委員会

10年度 ◎命苦雄司(堀川) ○角尾高寛(なぎ辻)
福武弘之(京都桂) 並川照行(京都民医連中央)
大橋誠介(武田病院健診センター) 山本政利(西
陣)

11年度 ◎福武弘之(京都桂) ○大橋誠介(武
田病院健診センター) 並川照行(京都民医連中
央) 角尾高寛(なぎ辻) 山本政利(西陣) 命
苦雄司(堀川)

12年度 ◎並川照行(京都民医連中央) ○北本
雄大(洛和会音羽) 加茂有紀浩(いわくら) 高
橋慎太郎(第二岡本) 大橋誠介(武田病院健診
センター) 命苦雄司(堀川)

13年度 ◎大橋誠介(武田病院健診センター)
○命苦雄司(堀川) 加茂有紀浩(いわくら) 並
川照行(京都民医連中央) 高橋慎太郎(第二岡
本総合) 北本雄大(洛和会音羽)

14年度 ◎北本雄大(洛和会音羽記念) ○加茂
有紀浩(いわくら) 柳澤紀明(三菱京都) 辻野
敏則(京都南) 福武弘之(京都桂) 小越一則(京
都九条)

●病院対抗女子バレーボール大会

10年度 ◎木村恭子(京都下鴨) 岡田英子(医
仁会武田総合) 片岡泳子(蘇生会総合) 小松
勝(京都大橋総合) 福島亜紀(京都民医連中央)

11年度 ◎安東寧浩(宇治徳洲会) 江川大地(京
都大原記念) 木村恭子(京都下鴨) 桑原明恵(千
春会) 佐藤光代(愛生会山科)

12年度 ◎安東寧浩(宇治徳洲会) 江川大地(京
都大原記念) 木村恭子(京都下鴨) 桑原明恵(千
春会) 佐藤光代(愛生会山科)

13年度 ◎江川大地(京都大原記念) 安東寧浩
(宇治徳洲会) 加藤知子(西陣) 木村恭子(京
都下鴨) 林 英行(大島)

14年度 ◎加藤知子(西陣) 木村恭子(京都下鴨)
安東寧浩(宇治徳洲会) 江川大地(京都大原記念)
林 英行(大島)

●病院対抗フットサル大会

10年度 ◎柏原 謙(京都桂) 太田大地(京都
回生) 槻本直也(桃仁会) 中田裕人(武田)
松田竜也(岩倉)

11・12年度 ◎金田豊司(洛陽病院 ~12.1) 朴
容成(西京都) 大木達雄(医仁会武田総合) 外
濱曜平(蘇生会総合) 中林俊晴(西陣) 松浦健
太郎(京都回生)

13・14年度 ◎中林俊晴(西陣) 篠田紀一郎
(川越) 大木達雄(医仁会武田総合) 外濱曜平
(蘇生会総合 ~14.6) 井口 聡(蘇生会総合 14.7
~) 松浦健太郎(京都回生)

京都私立病院協会
創立50周年記念誌

協賛企業一覧

(企業名五十音順)

アストラゼネカ 株式会社

株式会社 池上器械

株式会社 エフアンドケイ

株式会社 Kist

株式会社 京都銀行

京都中央信用金庫

京都府病院協同組合

京都府病院厚生年金基金

株式会社 公益社

神医協興産 株式会社

株式会社 セレマ

株式会社 竹中工務店

為国印刷 株式会社

テルモ 株式会社

東京海上日動火災保険 株式会社

東芝メディカルシステムズ 株式会社

株式会社 内藤建築事務所

日本化薬 株式会社

日本ジェネリック 株式会社

日本調剤 株式会社

東住吉マルタマフーズ 株式会社

光アスコン 株式会社

フクダ電子京滋販売 株式会社

株式会社 増田医科器械

ワタキューセイモア 株式会社

| | | | | |
|--|---|---|--|---|
|  <p>All for one 患者さん第一主義。</p> |  <p>Best in the class 各分野で、 最良の医薬品を 届けたい。</p> |  <p>CSR Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)。</p> |  <p>Doctor ドクターの “ベストパートナー” になるために。</p> |  <p>Evidence 科学的根拠に基づいて、 医薬品と医療情報を 提供します。</p> |
|  <p>First in the class さまざまな分野で、 はじめての 医薬品を届けたい。</p> |  <p>Global 世界の医療に 貢献している グローバル企業です。</p> |  <p>Hospital 病院にとって、 “かかせない存在” であり続けたい。</p> |  <p>Imagine 想像から創造へ。</p> |  <p>Just 望まれることに、 正確に応えたい。</p> |
|  <p>Kids 子どもたちの 健康と幸せを願って。</p> |  <p>Library 研究・治験データが 豊富にあります。</p> |  <p>MR 医薬品情報担当者。 提供と提案。 それがアストラゼネカのMR。</p> |  <p>Nobel アストラゼネカの 研究者には ノーベル賞学者がいます。</p> |  <p>Oncology オンコロジー(がん)の 分野で、日本の リーディングカンパニーです。</p> |
|  <p>Primary care 脂質異常症などの 生活習慣病をはじめとする アストラゼネカの専門分野。</p> |  <p>QOL 患者さんの クオリティ・オブ・ライフに 貢献します。</p> |  <p>Relationship 医療に、人に、社会に、 関係している 企業でありたい。</p> |  <p>Spirit 熱意を持ってすべてに 取り組みます。</p> |  <p>Technology よりよい医薬品づくりの ために最先端技術を 駆使しています。</p> |
|  <p>Unique ユニークな発想で 研究開発に 取り組んでいます。</p> |  <p>Vision 医療の リーディングカンパニーを 目指しています。</p> |  <p>Why? 新たな発見は「なぜ？」 と問いかける姿勢から。</p> |  <p>X 治療法が見つからない 病気など未知なる 領域に貢献したい。</p> |  <p>Yellow-card 生活習慣病の予防に、 ベストをつくします。</p> |
|  <p>Zero 世界中の病気が ゼロになる日まで。</p> | | | | |

医療の「A」から「Z」まで。

AstraZeneca

ア ス ト ラ ゼ ネ カ

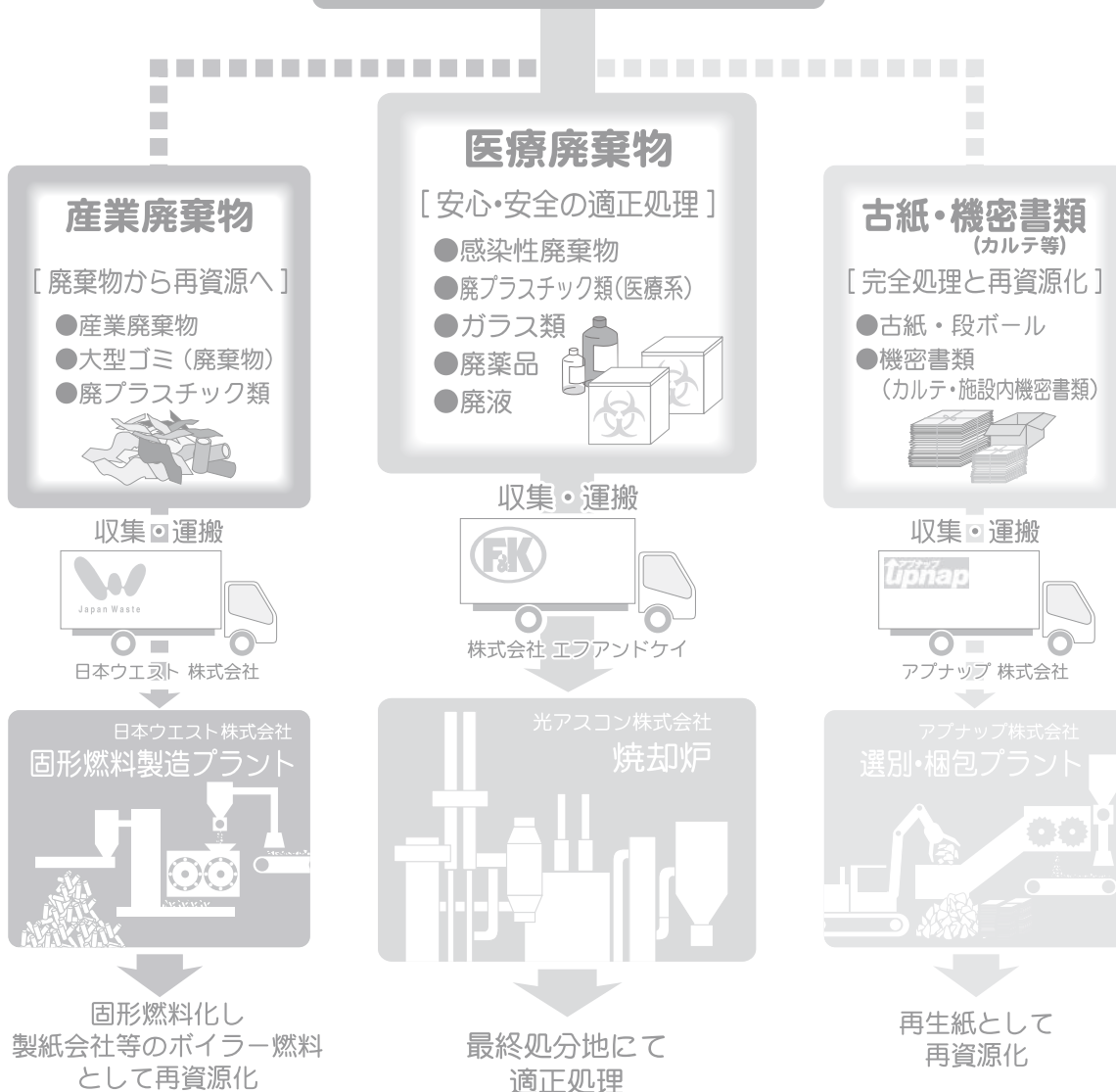
病気の予防と治療のために革新的で優れた医薬品を提供すること。
私たちは、すべての医療に、すべての患者さんに貢献していきます。

医療廃棄物のことならエフアンドケイ 実績 25 年！

「 廃棄物のトータルサポート 」

[優良認定産廃処理業者・ISO 14001 認証取得]

病院施設



株式会社 エフアンドケイ

〒612-8245 京都市伏見区横大路下三栖宮ノ後80番地
TEL075-604-6668 FAX075-602-1138

— 京都府病院協同組合指定業者 —

まずは気兼ねなくご相談を。



0120-59-9000

※産業廃棄物の総合的で適正な処理・処分システムをご提供します。気軽にご相談下さい。

<http://www.f-and-k.com>

E-mail: fandk@f-and-k.com

より良い医療と介護のために 多角的なサービスでサポートします

- 購買事業 医療機器・医療用消耗品・厨房設備・厨房用品・その他設備工事
事務機器・事務用品・白衣・リネン・家電・その他日用消耗品
- 融資事業 提携融資・公的融資の斡旋
自動車ローン・機器ローン
- レンタル事業 白衣・事務服・寝具・リネン・食器
メンテナンス付きカーテン
- 保険事業 生命保険募集及び団体取扱い
病院賠償責任保険・自動車保険・火災保険・傷害保険等
- ビルメンテナンス事業 防災設備・空調設備・浄化槽・エレベータ等の保守管理
感染性廃棄物の処理・害虫、ハト等の防除・清掃

京都府病院協同組合

〒601-8035 京都市南区東九条南松田町43-2

TEL 075-671-8711 (代表)

FAX 075-671-8780 ☎0120-30-8780 (FAX)

基金加入で『ゆとり』をプラス!

“ゆとりある老後”と
“業界の発展”は共通の願い!



確かな
保障

病院厚生年金基金は、京都私立病院協会の共同事業で、終身年金を支給する税制上もっともすぐれた企業年金制度です。

事業主と従業員、また病院どうしが助け合い、支え合って豊かな老後をサポートしています。



京都府病院厚生年金基金

京都市下京区四条通東洞院東入ル立売西町60
(日本生命四条ビル7F) ☎(075)255-1312
<http://www.kyoto-byoin-kikin.or.jp>

寝台自動車の ご用命は



(運輸局認可)

365日24時間搬送・まごころのご奉仕

公益社団法人 京都府看護協会御指定

京都府病院協同組合御指定



公益社

寝台車部へ

本社 (075)221-1000

宇治 (0774)20-0242

<http://www.koekisha-kyoto.com>

葬儀式場

公益社 北プライトホール



京都市北区紫野宮西町34

TEL 075-414-0420

- 紫明通堀川東入ル北側
- 堀川鞍馬口バス停下車
徒歩約3分

公益社 中央プライトホール



京都市東山区五条橋東三丁目
390

TEL 075-551-5555

- 五条通大和大路東北角
- 京阪清水五条駅より東へ
徒歩約5分

公益社 南プライトホール



京都市南区西九条池ノ内町60

TEL 075-662-0042

- 堀川通八条下ル西側
- JR京都駅・近鉄京都駅
より西へ徒歩約5分

公益社 西プライトホール



京都市右京区西院西溝崎町14

TEL 075-322-0042

- 五条通西大路西入ル南側
- 中ノ橋五条バス停下車
徒歩約5分

公益社 山科プライトホール



京都市山科区東野中井ノ上町
12-18

TEL 075-595-0042

- 五条通外環状線東入ル南側
- 地下鉄東野駅より徒歩約3分

公益社 宇治プライトホール



宇治市榎島町本屋敷102-1

TEL 0774-20-0042

- 国道24号線 京都文教大学前
- 近鉄向島駅より徒歩約15分

公益社 大津プライトホール



大津市朝日が丘一丁目12-5

TEL 077-523-0042

- JR大津駅南口より徒歩5分
- 名神・大津インターで
降り1号線を西へ約300m

公益社 烏丸プライトホール



京都市下京区烏丸通松原上ル
因幡堂町728 (因幡薬師)

TEL 075-351-7724

- 烏丸通高辻南入東入
- 地下鉄四条駅・阪急烏丸駅
より徒歩約5分

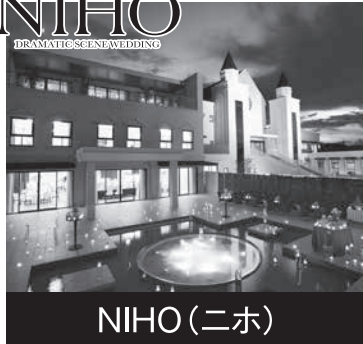
素敵なお二人の素敵なウェディング。

長年の実績を誇るマリアージュグループが華やかな舞台で主役となられるお二人をお手伝いします。



オリエンタル京都 朱雀邸

京都市中京区西ノ京中御門東町134



NIHO (ニホ)

滋賀県大津市御殿浜15-8



リバー スイート 京都鴨川迎賓館

京都市中京区木屋町三条上ル上大阪町525



0120-70-1101

ウェディングプランナーによる
トータルプロデュース!
☎075-693-7933迄

まずはお気軽に
お電話を!!

婚礼専用

携帯モバイルでお得なクーポン情報を要チェック!!
携帯URL <http://cerema.net>



葬祭専用

携帯モバイルでお得なクーポン情報を要チェック!!
携帯URL <http://cerema.net/funeral/>



永年の信用と実績により24時間営業にて御奉仕する安心のグリーンナンバー

寝台自動車のご用命は セラマ寝台自動車サービスへ

近畿運輸局免許 / 近運貨二・第754号



天神川ホール

社団法人京都府看護協会指定 京都府病院協同組合指定

株式会社 **セラマ 玉泉院**

大型社葬から、各種団体葬儀にも対応
近畿圏最大約500台収容駐車場完備



お 供 養 1 1 0 番
0120-094-110

昼夜を問わず
御一報くだされば
係員がお伺い致します。



パソコンからは <http://www.cerema.co.jp/>

竹中工務店

守る、
創る、
思いやる
ビルへ。



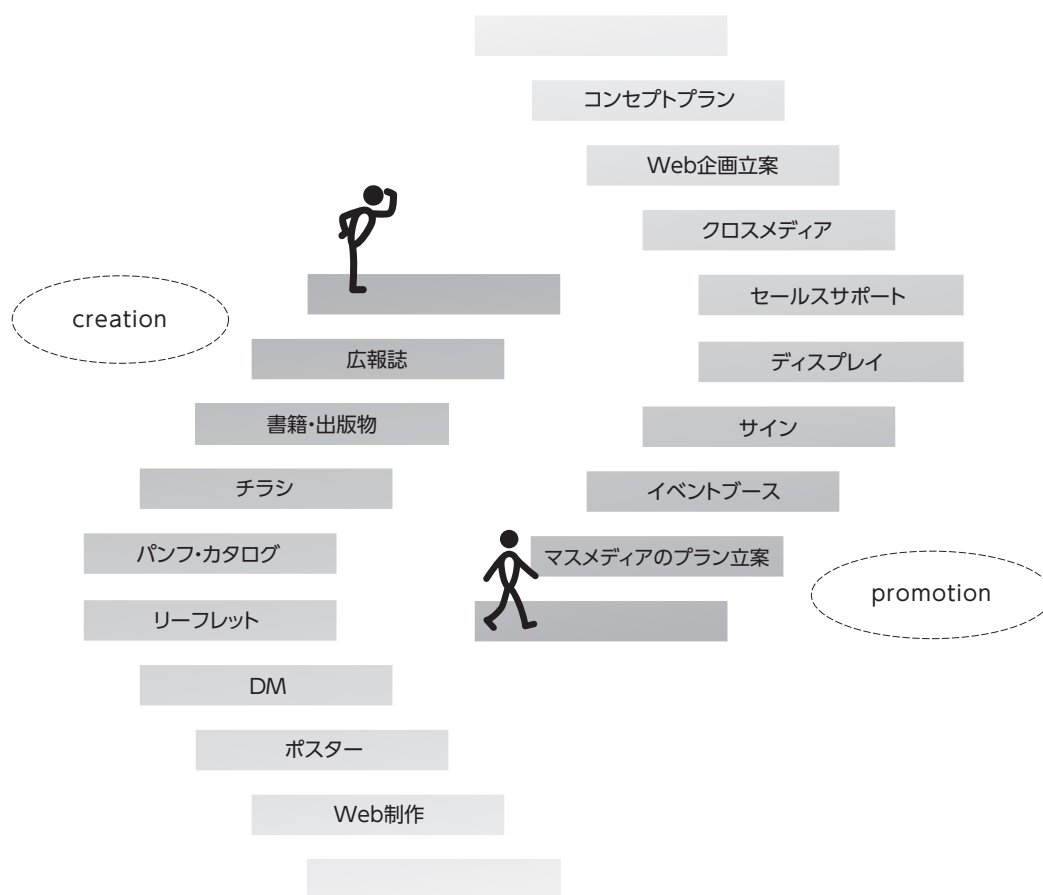
野坂徹夫：画

災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに 未来へつなぐ
 **TAKENAKA**

Inspiration for you

あなたのためにできること



プラスからはじまる。

T-PLUS
T A M E K U N I

T-PLUS/為国印刷株式会社

〒604-8457 京都市中京区西ノ京馬代町6-16 TEL 075-462-7889 FAX 075-464-3923 E-mail : info@tamekuni.co.jp
<http://www.t-plus-promo.com>

TOSHIBA
Leading Innovation >>>



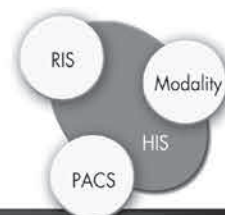
Best fit for you.

最先端のイメージング技術、臨床アプリケーションに、ITとネットワーク技術を統合。東芝メディカルシステムズは、グループの総合力を活かした高品質・高効率な医療ソリューションで人々にベストフィットな商品を提供しています。



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
<http://www.toshiba-medical.co.jp>



The latest diagnostic imaging technology.



地球にやさしい
環境づくり

光アスコン株式会社



私たちのモットーは 地球をきれいにする事です

現在、オゾン層の破壊による地球の温暖化、そして海洋汚染、土壌汚染など私たちを取りまく自然環境は大きな危機にさらされています。中でも、廃棄物の問題は私たちのもっとも身近な所で起こっている環境問題であり、環境破壊の原点でもあると言えるのではないのでしょうか。光アスコン・クリーンセンターは、地域社会の環境保護を第一に考え「地球をきれいに」をモットーに、産業廃棄物を安全且つ適正に処理する中間処理施設として、その減量化・無害化を実現する事により、人が安心して暮らすことのできる豊かな環境づくりをめざしてまいります。



ISO14001認証取得



中間処理

●産業廃棄物処分業許可品目

- [焼却] 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず
- [破碎] 金属くず、ガラスくず、がれき類

●特別管理産業廃棄物処分業許可品目

- [焼却] 廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、汚泥

[産業廃棄物処分業許可 (焼却・破碎・圧縮固化) 6521034460号] [特別管理産業廃棄物処分業許可 (焼却) 6571034460号]

[クリーンセンター]

〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町78

TEL. 075-601-2711 (代表) FAX. 075-601-2188

<http://www.hikari-asukon.jp>

私たちの社章「ひまわり」にこめられた思いを胸に
医療ご施設のあらゆるサポートを
お約束いたします。



ひまわり



にこめられた3つの“こころ”

常に上を見続ける“向上心”

Aspiration

常にベストを尽くしお客様の期待に100%
応えるため社員全員のチームワークで行動
します。

困難に立ち向かう“折れない心”

Resolution

問題に対して逃げずに向き合っているか、
諦めていないか、情熱をもって奮闘します。

周りを照らす“明るい心”

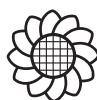
Communication

地域社会に根ざした暖かいコミュニケーション
によりきめ細かいサービスに努めて参ります。
元気で光輝なひまわりのように。

すべては

“Because of your life”

株式会社 池上器械は、医療機器・光学機器、その他諸設備全般の販売を主とした総合代理店です。



株式会社 池上器械

〒601-8182 京都市南区上鳥羽北島田町109番地2

TEL(075)671-8357

FAX(075)671-8382 www.ikegamikikai.com/

24時間
緊急体制



株式会社 Kist

本 社 〒612-8252 京都市伏見区横大路一本木19番地
京都工場 〒612-8284 京都市伏見区横大路畔ノ内町50番地の8
TEL 075(602)7311 (代表) FAX 075(611)4385

大阪営業所 〒577-0006 東大阪市楠根1丁目8番20号
TEL 06(6748)8743 FAX 06(6748)8748

なが——い、おつきあい。



貯める、運用する、借り入れる、積み立てる、備える、管理する…
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで皆様を応援します。
お気軽にご相談ください。

飾らない銀行

 **京都銀行**

<http://www.kyotobank.co.jp/>



みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫があります。



京都

中央信用金庫

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

☎ 075 (223) 2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

www.chushin.co.jp

安心と信頼の
神医協興産株式会社
営業内容

- ★医療用寝具リース
- ★医療用病衣リース
- ★医療用防水シーツ
- ★診察台カバー

医療関連サービスマーク認定

〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町106番地

電話 078-411-0367 ファックス 078-411-0368

E-mail shinikyokousan@kobe-ishikyo.or.jp

TERUMO

テルモは、ユニークな輝く技術で
人にやさしい医療を実現し、
医療を受ける人・支える人、双方の信頼に応えます。



テルモ株式会社 www.terumo.co.jp



地球の未来にできること。
マングローブ「海の森」づくりは、
その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGO*をパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来にかける保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。

*「マングローブ植林行動計画」「財団法人オイスカ」(1999年度～)「国際マングローブ生態系協会」(2009年度～)

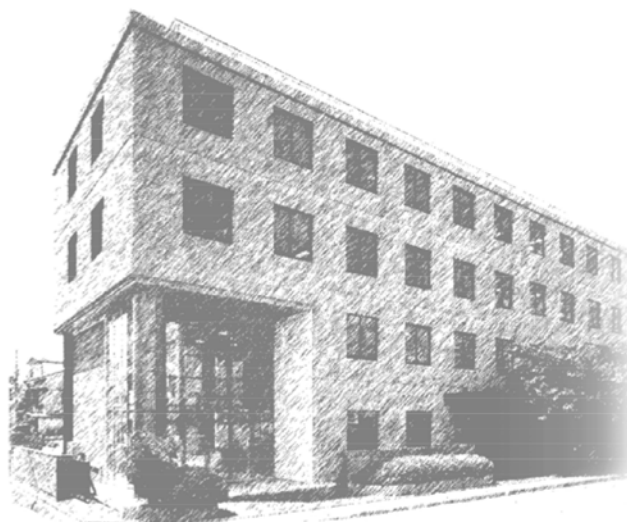


東京海上日動

TOKIO MARINE
Quality: 東京海上グループ

京都支店 営業課：京都市下京区四条通麩屋町西入ル立売東町22 〒600-8570
お問合せ先(TEL)：075-241-1156 <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

NAITO ARCHITECTS
NAITO ARCHITECTS



創業70年を迎えた設計活動の歴史において、私たちは『いのちと生活を支える環境づくり』をその使命と考え、建築からまちづくりまでの幅広いフィールドでの創造に携わってきました。そのひとつひとつが社会活動であり幅広い環境デザインの実践となっています。

設計活動においては、医療や福祉分野に展開される“ヘルスケアデザイン”をメインフィールドとし、行政や教育、その他の分野への広がりをも“ライフサポートデザイン”として広げています。

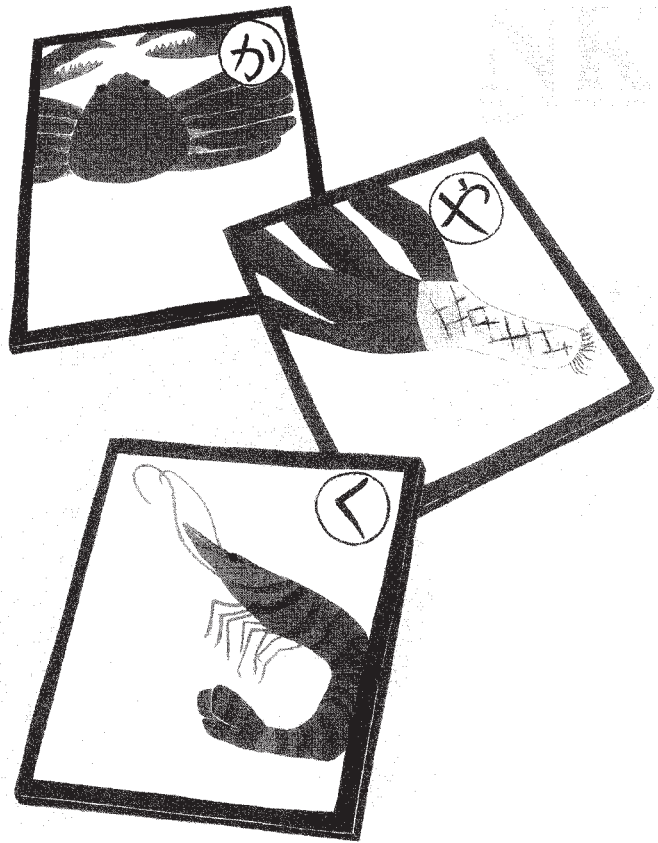
建築物の企画・設計・監理のほかに、医業からまちづくりまでのコンサルタント業務全般を視野に収め、さらにはグループ会社との連携の中で建物竣工後を視野に入れたトータルコーディネート業務を行っています。



株式会社 内藤建築事務所

本社 京都市左京区田中大堰町182番地
TEL. 075-781-4111 FAX. 075-701-2423
<http://www.naito-archi.co.jp>

事務所 東京・静岡・名古屋・大阪
奈良・高知・福岡・鹿児島
グループ会社 (株)内藤総合計画
(株)コストレード



2016年の創立100周年を見据え、
私たちは挑戦し続けます

私たちは火薬事業を発足した後、
化学・医薬品分野を核とした事業展開を図ってきました。
1963年にはデミング賞実施賞を受賞し、
今現在のがん治療関連領域のスペシャリティーファーマーとして、
がん治療に貢献するための研究開発に腐心しています。
「火薬」から「がん関連治療薬」へ、歴史を積み重ねながら、
私たちは更に多くの患者さんに貢献できるように日々挑戦しています。

※本ページはDaiichi Sankyo Co., Ltd. (東京証券取引所 1部上場)の登録商標です。©2016 Daiichi Sankyo Co., Ltd. All rights reserved. 本ページの著作権は、株式会社第一三共が保有しています。

日本化薬株式会社
東京都千代田区富士見一丁目11番2号
<http://www.nipponkayaku.co.jp/>

顔いっぱい笑顔がひろがる、そんな「おいしいしあわせ」を届けたい。
マルタマフーズは医療現場と高齢社会の健康づくりに貢献します。

近畿一円で多くの病院や福祉施設などの
食事サービスを受託運営しております。
食材選定から配送・調理まで、独自の
トータルシステムで対応。感謝をこめて、
より安全でより健康な体づくりに貢献する
総合フードサービス企業を目指します。

大根と鶏肉の旨煮

常食

ソフト食



食材の色彩をそのままにソフト食をご提供いたします

美味しく楽しく幸せに！

いつまでも美味しい食事を楽しんでいただきたい。私たちは「ソフトミール研究会」を立ち上げ、
安全に美味しく召し上がれる料理の調理技術向上のため研鑽を続けています。

また「京滋摂食・嚥下を考える会」の協力企業として、各方面の先生のご指導のもと、定期的に
試食会や講習会を開催しております。



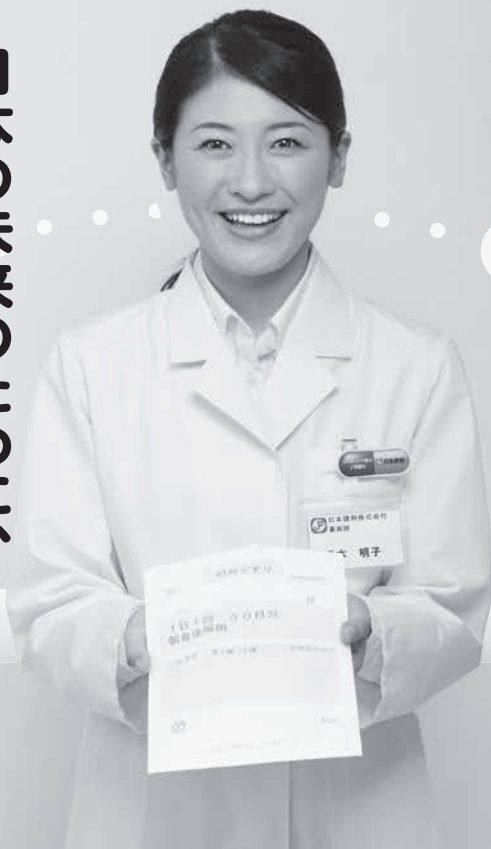
マルタマフーズグループ

東住吉マルタマフーズ株式会社

大阪市東住吉区今林4丁目2番16号 TEL:06-6751-1421 FAX:06-6754-3720

(日本メディカル給食協会 会員)(京都府病院協同組合 指定業者)

日本の未来のために、
私たちができること。



患者さまの医療費負担を軽減する、
ジェネリック医薬品。

日本調剤は、
その普及に積極的に取り組み、
ローコストで良質な
医療サービスを提供しています。

ジェネリック薬の
ご相談は

 日本調剤

 日本調剤株式会社

東京都千代田区丸の内1-9-1
グラントウキョウノースタワー 37階
TEL.03-6810-0800(代表)
<http://www.nicho.co.jp>



患者さまの声にお応えする

製薬会社として。

優れた医薬品を、もっと広く、もっと身近に。私たちはジェネリック医薬品の
普及活動を通して日本の医療環境の発展に寄与してまいります。

 日本ジェネリック株式会社 www.nihon-generic.co.jp/

〒100-6739 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー39階
お客さま相談室  0120-893-170

多機能心電計
(解析機能付き)

FCP-7541

医療機器認証番号:
217ADBZX00001000

成人用肺機能分析装置 デジタル脳波システム
FUDAC-77 **コメット CMXL-E**

医療機器承認番号:
21100BZZ00700000

医療機器承認番号:
21600BZY00240000

(アストロメド社製)

総合診断支援ネットワークシステム

Hi-MEDION

HIGH ENHANCED MEDICAL EXAMINATION
AND DIAGNOSIS ORGANIZED NETWORK SYSTEMS



心電図ファイリング
システム

**MOBEAM
EFS-8800**

ホルター心電図解析装置

SCM-8000System

医療機器認証番号:
221ADBZX00105000

超音波画像診断装置

**UF-760AG+
PaoLus+™**

医療機器認証番号:
223ADBZX00025000

検査室の
トータルサポートシステム
生活習慣病検査、脳神経検査もフクダ電子で

**FUKUDA
DENSHI**

本社 / 〒601-8121 京都府京都市南区上烏羽大物町15 TEL (075)681-3191(代)
お客様窓口… ☎ (03)5802-6600 / 受付時間:月~金曜日(祝祭日、休日を除く)9:00~18:00
<http://www.fukuda.co.jp/>

フクダ電子京滋販売株式会社

●滋賀営業所 〒520-3046 滋賀県栗東市大橋4-6-40 TEL(077)553-1617(代)

全てはお客様のために!

現場を見つめ、最適の商品を。
未来を見つめ、最新の商品を。
医療機器から関連情報サービスまで、
お届けするのがMASUDAの仕事です。

- 医療現場とメーカーを
医療システム&情報で結ぶ。
- 信頼の基本は、豊富な品揃えと
的確・迅速な対応。
- 最先端の分析機器・理化学機器で
研究現場をバックアップ。

医療機器・理化学機器の総合商社

 **株式会社 増田医科器械**

本社 ● 〒612-8443
京都市伏見区竹田薬屋町50番地
TEL (075) 612-7111 FAX (075) 623-7131
<http://www.masudaika.co.jp/>
E-mail ● info@masudaika.co.jp

滋賀支店 舞鶴支店 福井営業所
敦賀営業所 京丹後営業所
大阪営業所 東大阪営業所

医療・福祉のスマート経営に、 アプリケーションは自由自在。

多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。

医療・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション ワタキューグループの[包括委託サービス] (セイモアシステム)

包括的に一元的に医療経営・福祉事業経営をサポートする[セイモアシステム]は、
ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株) / リネンサプライ・販売・総合サポート
- 日清医療食品(株) / 給食受託事業・在宅配食サービス事業
- 綿久リネン(株) / ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- (株)フロンティア / 調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- (株)メディカル・プラネット / 人材紹介・派遣・研修事業
- 古久根建設(株) / 総合建設業



健康と快適の明日を考える

ワタキューセイモア株式会社

www.watakyu.co.jp

近畿支店 / 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL.0774-82-5101

京都私立病院協会・創立50周年記念誌 2010-2014

2015年5月1日発行

発行者 一般社団法人 京都私立病院協会
〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地 COCON烏丸8階
TEL(075)354-8838 FAX(075)354-8802 <http://www.khosp.or.jp>

制作 T-PLUS/為国印刷株式会社
〒604-8457 京都市中京区西ノ京馬代町6-16
TEL(075)462-7889 FAX(075)464-3923 <http://www.t-plus-promo.com>

